

Foxit[®]



User Manual

Foxit[®] J-Reader

For Windows

Microsoft[®] Partner

Gold Independent Software Vendor (ISV)

©2013 Foxit Corporation. All rights reserved.

Copyright © 2013 Foxit Corporation. All Rights Reserved.

No part of this document can be reproduced, transferred, distributed or stored in any format without the prior written permission of Foxit.

Anti-Grain Geometry - Version 6.0

Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (<http://www.antigrain.com>)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies. This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

目次

目次.....	III
Foxit J-Reader ソフトウェア使用許諾	1
第一章 - 概要	6
Foxit J-Reader 概要.....	6
Foxit J-Reader のアドオンプログラム	6
Foxit J-Reader のプラグイン	8
第二章 - はじめに	10
Foxit J-Reader のインストール	10
Foxit J-Reader のアップデート	14
アンインストール	15
ツールバーモード	15
ワークエリア	19
環境設定とプロパティの表示.....	26
ナビゲーションペインについて	35
ショートカットキーのカスタマイズ.....	36
第三章 - PDF の閲覧	38
PDF ファイルを開く、保存する、閉じる	38
ドキュメントの閲覧.....	41
テキスト検索.....	56
動画やサウンドの再生	59
日本語などアジアの言語を含む PDF の処理.....	59
Windows でのサムネール表示	60
第四章 - PDF ドキュメントの操作	61
選択とコピー.....	61
レイヤの操作.....	63
オブジェクトの計測.....	64
ツールバーの設定	67
定規とガイド.....	67
元に戻すとやり直し.....	68
ドキュメントの共有.....	69
PDF の作成.....	73
PDF の署名.....	75
PDF ファイルへのスタンプ	83
セキュリティの管理.....	88
第五章 - 注釈	91
注釈ツール	91
注釈追加のためのツール選択	91
テキスト選択ツール.....	96
描画マークアップツール	96
タイプライタツール.....	99
注釈を使用する	105

第 6 章 - フォーム	114
概要	114
PDF フォームへの入力	115
フォームに注釈を追加する	118
フォームデータの読み込みと書き出し	118
第 7 章 - 読み込みと書き出し	119
注釈データの読み込みと書き出し	119
フォームデータの読み込みと書き出し	120
第 8 章 - PDF の編集	121
しおりの追加	121
リンクの追加	127
ファイルを添付	130
画像を配置	134
マルチメディアの追加	141
第九章 - 印刷	146
PDF ドキュメントの印刷方法	146
ページの一部を印刷する	146
印刷ダイアログ	146
第十章 - 付録	150
キーボードショートカット	150
コマンドライン	153
お問い合わせ	154

Foxit J-Reader ソフトウェア使用許諾

本ソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、株式会社 FoxitJapan（以下「当社」といいます）が米国法人である FoxitCorporation（以下「FoxitCorporation」といいます）が開発し、権利を有し、当社に使用許諾の権限を付与した本ソフトウェア（第 1.1 条に定義される）をご利用されるお客様と当社との間の法的な契約書です。お客様が本契約に記載された条件に同意する場合に限って、本ソフトウェアを使用する権利が許諾されます。お客様が本契約に記載された条件に同意されない場合、当社は本ソフトウェアをお客様に使用許諾いたしません。その場合、お客様は、本ソフトウェアをインストール又は使用（第 1.2 条に定義される）しないで下さい。

[インストール]又は[同意する]を選択して次に進む前に、本契約に記載された諸条件を注意深くお読み下さい。お客様が [インストール] 又は[同意する]を選択して次に進むことによって、お客様は本契約を読んで理解し、かつ本契約の諸条件に拘束されることに同意したものと扱われます。

第 1 条（定義）

本契約において使用される用語の意義は、以下の通りとします。

1.1 「本ソフトウェア」とは、①デスクトップ及びサーバ・ソフトウェア・アプリケーション用のコンピュータ・プログラム（ドライバその他のモジュールを含む）（以下「本プログラム」といいます）並びに②説明資料及びサポート用文書（以下「ドキュメント」といいます）を意味します。当社がお客様に提供する本ソフトウェアのアップデート及びアップグレードも、別の使用許諾契約の対象とならない限り、本ソフトウェアに含まれるものとします。

1.2 「使用」とは、インストール、複製、ダウンロード、アクセスその他の方法で、本ソフトウェアを使うことを意味します。

第 2 条（使用権の許諾）

当社は、お客様に、本契約に記載された諸条件に従って、以下に記載する非独占的で譲渡不能な本ソフトウェアの日本国内における使用権を許諾します。

2.1 シングル・ユース永久ライセンス

お客様は、1人の使用者に対し、その者のみが使用する1台のコンピュータに本ソフトウェアをインストールすることを許可することができます。当社の書面による明確な同意がない限り、リモート・アクセスすることはできません。

2.2 シングル・ユース期間ライセンス

使用期間を除き、上記シングル・ユース永久ライセンスと同じ条件となります。当初使用期間が満了した場合には、使用権が更新されている場合を除き、コンピュータから本ソフトウェアをアン・インストールしなければなりません。

第 3 条（制限）

3.1 お客様は、適用される法により明示的に許される場合を除き、リバース・エンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブルその他本ソフトウェアのソースコードの解読を試みることができません。お客様は、本ソフトウェアを貸与、リース、移転し又は第三者

のために本ソフトウェアを運営・管理することができません。本ソフトウェアは、1つの統一された製品であり、その構成部分を複数のコンピュータで使用するために分離することができません。本ソフトウェアには無断複製を防ぐための技術的保護手段が講じられていることや本ソフトウェアのオリジナル・メディアを使用することが必要とされていることがあります。無断複製することや技術的保護手段を回避することは違法です。当社の事前の書面による許可のない限り、お客様又は第三者が本ソフトウェアを販売することはできません。本契約で明示的に許諾されたものを除き、本ソフトウェアに関する全ての権利は、FoxitCorporation に留保されています。

3.2 無償版のソフトウェア

無償版のソフトウェアについては営利目的で使用することはできません。また、許可なく、メディアに保存して、またはサイト上から配布することはできません。

3.3 第三者のソフトウェア

本ソフトウェアには、当社が正当にサブライセンス権を許諾された第三者のソフトウェアが含まれている場合があります。その場合、第三者のソフトウェアは、著作権その他の法律によって保護されます。

3.4 RMS Plug-in

お客様は当該製品の使用について、AD RMS 暗号化と復号化の双方に対し、料金の支払いが必要です。詳細は当社メール・アドレス (fj@foxitsoftware.com) までお問い合わせください。

3.5 DocuSign

当該機能が含まれる製品について、200ユーザ以上で使用されるお客様は、その製品のメンテナンス・サービスの参加が必要です。メンテナンス・サービスについては第4条を参照してください。詳細は当社メール・アドレス (fj@foxitsoftware.com) までお問い合わせください。

第4条 (サポート及びメンテナンス条項)

当社は、お客様に対し、本ソフトウェアの使用権を無償で許諾するため、当社は、お客様に対し、原則として、サポート及びメンテナンス・サービスを提供しません。

但し、お客様が希望し、かつ所定の対価を支払った場合、当社は、お客様に対し、以下の内容のサポート及びメンテナンス・サービスを提供します。

4.1 メンテナンス期間

当社は、お客様に対し、本契約に記載された諸条件に従って、メンテナンス（以下に定義します）を提供します。但し、お客様が第4.4条に記載されたメンテナンス料を支払う場合に限ります。メンテナンス期間は、両当事者で書面により合意した場合を除き、本ソフトウェアの使用を開始した日から1年間（以下「当初サポート及びメンテナンス期間」といいます）で、その後1年毎に更新されます。メンテナンスの更新をしなかった場合、お客様は、継続しているサポート及びメンテナンス及び将来のバージョンの提供を受けるためには、新しいライセンスを購入する必要があります。

4.2 メンテナンス・サービス

当社は、メンテナンス料の支払を条件に、本契約の期間中、お客様に対し、以下のサポート及びメンテナンス（以下併せて「メンテナンス」といいます）を提供します。

4.2.1 サポート

当社は、お客様に対し、本ソフトウェアの現行バージョンについて電子メール及びブクシミリによるサポートを提供します。お客様は、本ソフトウェアに関する質問又は問

題点を、サポート用電子メール・アドレス（support@foxitsoftware.com 又は fj@foxitsoftware.com）又はファクシミリ（03-6721-2020）により、当社に通知してください。当社は、速やかに、お客様の質問や問題点について調査します。お客様は、当社に対し、係る調査を援助するために及び全ての問題点が解決されたことを確認するために、十分な情報を提供することに同意します。当社は、回答期限を保証しませんが、当社の休日を除き24時間以内に電子メールかファクシミリで回答するよう誠実に努力します。

4.2.2 メンテナンス

当社は、お客様に対し、追加料金なしで、当社が一般的に利用できるようになった本ソフトウェアの改良版、アップグレード版または修正版を提供します。かかる改良版、アップグレード版及び修正版は、本契約上、本ソフトウェアの一部となるものとします。

4.2.3 お客様は、当社が本契約に基づき提供するメンテナンスが現行バージョン及びその直前のバージョンに限定されるものであることを認識し同意します。

4.3 免責

当社がメンテナンスを提供する義務は、お客様が本ソフトウェアを適切に使用しかつ本契約を完全に遵守していることを条件とします。更に、当社は、以下のいずれかが原因でメンテナンスが必要になった場合、メンテナンスを提供する義務を負いません。

(a)お客様が本ソフトウェアの供されるシステム条件を超えて本ソフトウェアを操作した場合

(b)お客様又は第三者が本ソフトウェアを改変し又は改変しようとした場合

(c)当社が推奨した本ソフトウェアの変更を怠った又は拒絶した場合

4.4 対価

当社が提供するメンテナンス・サービスの対価について、お客様は、当社又はその代理人に対し、請求書、受領書、購入注文書その他の注文書類に記載された当初サポート及びメンテナンス期間に対する料金（以下「メンテナンス料」といいます）を支払うものとします。お客様は、当初サポート期間終了時又はその後のサポート及びメンテナンス期間終了時に、翌年のメンテナンス・サービスへの参加を更新することができます。但し、お客様が(a)当社に支払うべき支払を全て行っていること、及び(b)その時に継続しているメンテナンス期間の満了の30日以上前にお客様が解約しない限り、当社又はその代理人に対しその時に継続しているメンテナンス期間終了前に当社又はその代理人が請求する更新後の料金を支払うことを条件とします。更新期間に対するメンテナンス料は、直前のメンテナンス期間に対するメンテナンス料に消費者物価指数を限度とするパーセンテージによる増額を加えた額とします。加えて、お客様が直前のメンテナンス期間満了後10日以内に当社に支払わなかった場合には、メンテナンスは、翌メンテナンス期間に継続されないものとします。

4.5 適用除外

β版の本ソフトウェアについては、メンテナンス・サービス（第4.2条）及び免責（第4.3条）のみ適用されます。

第5条（支払条件）

本契約に明示された場合を除き、本契約に基づき支払われる料金その他の金員は、取り消しできず、かつ返還されないものとします。当事者間で別途合意しない限り、お客様は、請求書の日付から30日以内に、全ての料金その他の金員を支払うものとします。支払を遅延した場合には、未払額について支払期日から月1.5%の割合による遅延損害金を支払

うものとし、お客様は、請求額に消費税を付加して支払うものとし、

第6条（データ使用の同意）

当社がお客様に対しメンテナンスを提供する場合、お客様は、本ソフトウェアに関するメンテナンス・サービスの一環として、当社又はその関連会社がお客様の提供する情報を収集し使用することに同意します。また、お客様は、本契約を締結することにより、当社がお客様の名前、メール・アドレスその他の情報を含め、お客様に関する個人情報（個人情報の保護に関する法律第2条第1項と同義）を収集し、保有することができることに同意することになります。当社は、お客様の個人情報を、本契約に基づく権利を行使し義務を履行するため、及びお客様との取引を適切かつ円滑に履行するために使用します。

第7条（知的財産権）

本ソフトウェア（お客様が作成したコピーを含む）に関するあらゆる権利、権原は、**FoxitCorporation** に帰属しています。本ソフトウェア（お客様が作成したコピーを含む）に関するあらゆる著作権、トレード・シークレット、特許、商標その他の知的財産権（申請、登録、更新する権利を含む）は、**FoxitCorporation** に帰属しています。本契約で明記されたものを除き、お客様は、本ソフトウェアの知的財産権を許諾されていません。

第8条（輸出規制）

お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国に起源するものであることを認めます。お客様は、日本国の輸出に関する法令その他の規制に加え、アメリカ合衆国の輸出に関する法令その他の規制も遵守することに同意します。

第9条（無保証）

本ソフトウェアは、現状有姿で提供され、当社及び**FoxitCorporation** は、本ソフトウェアの使用又は性能に関し、いかなる保証もしません。当社及び**FoxitCorporation** は、本ソフトウェアを使用することにより得られる結果又はパフォーマンスに関し、いかなる保証もしません。当社及び**FoxitCorporation** は、明示又は黙示を問わず、法律上のものであると慣習その他のものであるとを問わず、第三者の権利の非侵害性、商品性、特定目的適合性を含む一切の保証、表明を明示的に放棄します。

第10条（責任の制限）

当社及び**FoxitCorporation** は、自己の故意又は重大な過失から生じた直接の結果として現実に生じた通常の損害に限り責任を負います。当社及び**FoxitCorporation** の本契約の履行に関する損害賠償の累計総額は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為その他請求原因如何にかかわらず、お客様が本契約に基づき当社に支払った金額又は金1万円のいずれか高い方を限度とします。なお、第9条及び第10条の規定は、法律で最大限認められる限度で適用されます。

第11条（解約等）

お客様は、当社が要求した場合、要求のあった日から30日以内に、お客様が要求のあった日時点で本契約に従って本ソフトウェアを使用していることを証明するに足る書類を当社に提出することに同意します。

お客様が、本契約に違反した場合、当社は、何らの催告をすることなく本契約を解約する

ことができるものとします。

本契約が解約された場合、お客様は、本ソフトウェアの使用を直ちに止めるとともに、本ソフトウェアの全てのコピーを直ちに廃棄しなければなりません。加えて、お客様は、本ソフトウェアをインストールしたサーバ、コンピュータ及びターミナルから本ソフトウェアを消去しなければなりません。

本契約が終了した場合でも、第7条、第9条、第10条及び第12条の規定は、なおも有効に存続します。

第12条（一般条項）

本契約は、日本法に準拠し、日本法に従い解釈されます。法令に基づき又は裁判所の判断により、本契約のいずれかの条項が執行不能又は無効とされる場合、かかる執行不能又は無効は、本契約を全体として執行不能又は無効とするものではなく、執行不能又は無効とされた条項は、法令又は裁判所の判断に矛盾しない範囲で、当該条項の目的を最大限達成するように変更及び解釈されるものとします。本契約のいかなる条項の修正も、書面により、かつ当社の権限あるものが署名又は記名押印しない限り、その効力を生じません。本契約に定めのない事項及び本契約の条項に疑義又は紛争が生じた場合、両当事者間で誠意を持って協議し解決を図るものとします。万一協議が調わず訴訟の必要が生じた場合、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

第一章 - 概要

Foxit J-Reader 概要

Foxit J-Reader へようこそ！ - このソフトウェアを選択したユーザ様の正しいご判断に敬意を表します。

Foxit J-Reader (以下「Foxit J-Reader」といいます。) は、PDF 文書の閲覧、印刷用のソフトウェアです。起動速度が速く (1、2 秒程度)、インストールも簡単です。Zip 形式のファイルをダウンロードし、セットアップするとすぐに実行することができます。

Foxit J-Reader は、PDF 文書を閲覧するための基本機能に加え、注釈の挿入、操作の取り消しとやり直し、PDF 文書をテキスト形式で保存、テキストビューワからテキストのコピー、そして電子署名の検証など、様々な先進的な機能を備えています。

Foxit J-Reader のアドオンプログラム

Foxit J-Reader には個別のアドオンプログラムが提供されており、必要に応じた機能をダウンロードすることができます。これらのアドオンはクリティカル・アドオンとアドバンスド・アドオンに分かれており、アップデートマネージャを使用してダウンロードできます。また、Foxit の Web サイトからもダウンロード可能です (<http://www.foxitsoftware.com/pdf/reader/addons.php>)。前者は無償、後者は有料のものがあります。

クリティカル・アドオン

クリティカル・アドオンはフリーのプログラムで、最適な表示と最適な実行に不可欠なコンポーネントです。例えば、ユーザーが日本語を含む PDF ドキュメントを開いた場合、Foxit Reader は『Eastern Asian Language Support』をダウンロードするか尋ねます。このとき、[キャンセル] を選択するとユーザーは該当 PDF ドキュメントを開くことができませんが、一部の文字が正しく表示されません。なお、Foxit J-Reader については、デフォルトで Eastern Asian Language Support がインストールされています。

Foxit J-Reader の無償クリティカル・アドオン

名称	機能概要	サイズ	備考
JPEG2000/JBIG Decoder	このアドオンは JPEG2000 および JBIG2 形式のイメージデータ処理に必要です。このモジュールがインストールされていない場合、上記形式のイメージを表示することができません。	169KB	Download 無償
Eastern Asian Language Support	このモジュールは PDF ファイル内の、日本語を含む東アジアの言語を表示するために必要です。このモジュールがない場合、日本語等の東アジア言語は正しく表示されません。	2.10MB	Download 日本語版にはインストール済みです
JavaScript Support	このアドオンは、多くのインタラクティブフォームで JavaScript を実行するために使用します。このアドオンをインストールしない場合、インタラクティブフォームの記入はできますが、フィールド値の検証と再計算のような、いくつかの自動化されたタスクを実行できません。	1.05MB	Download 無償

ノート: クリティカル・アドオンの手動インストールは、アドオンプログラムを解凍して Foxit J-Reader をインストールしたディレクトリに保存することで行います。ヘルプ > アップデートのインストール より実行します。

参照 ["Foxit J-Reader のアップデート"](#)

アドバンスド・アドオン

アドバンスド・アドオンには、それぞれ多くの固有機能があります。

Foxit J-Reader のアドバンスド・アドオン

名称	機能概要	サイズ	備考
Foxit Toolbar for Browser	このアドオンは IE と Firefox 向けの無償のツールバーです。Foxit に関する最新ニュースの配信や、ブラウザから直接 Foxit 製品をアップグレードする機能を提供します。いつでもどこでも Web 検索が可能で、様々なツール、ガジェットへのアクセスも提供します。	1.01MB	Download 無償

Firefox Plugin	Foxit Firefox Plugin は Web ブラウザ『Firefox』に Foxit Reader をインストールします。この無償アドオンにより、PDF ドキュメントの表示、閲覧操作、編集、印刷をブラウザで実行できるようになります。	1.19MB	Download 無償
Spell Checker	フォームに英語を入力する場合やタイプライタ機能で英語テキストを入力する場合、綴りに間違いがあると、このツールが波線で強調表示して間違いを指摘します。スペルミスした単語の上で右クリックすると、正しい単語の候補が表示されます。ディクショナリをダウンロードするには こちら をクリックしてください。	833 KB	Download 日本語版にはインストール済みです

ヒント:

1. .fzip ファイルのインストールについて

クリティカル、およびアドバンスド・アドオンを手動でインストールするには、Foxit J-Reader を起動し、メニューより ヘルプ > アップデートのインストール > ダウンロードした.fzip ファイルを参照、選択して [開く] ボタンをクリックしてください。終了したら [OK] をクリックしてインストールを完了してください。

2. Spell Checker 用ディクショナリのインストール

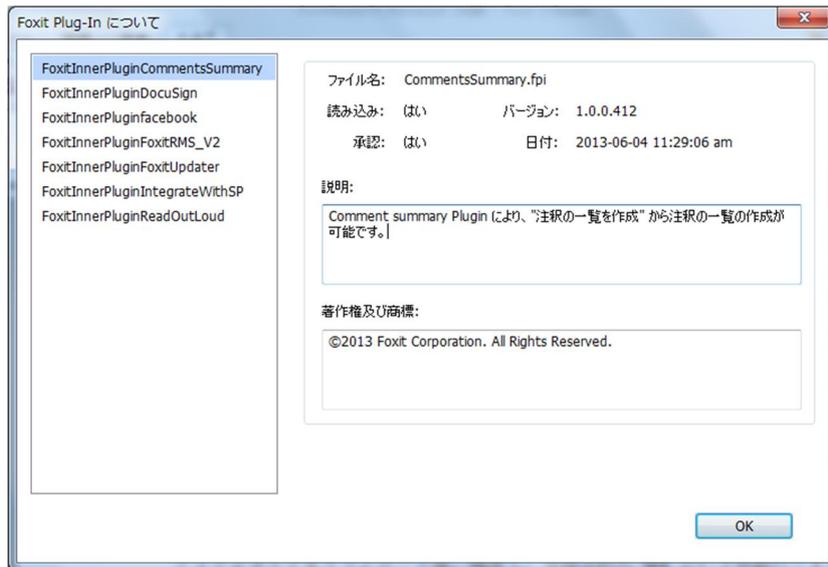
ディクショナリをダウンロード後、解凍し、生成された“lex”という名前のフォルダを、Foxit J-Reader のインストールフォルダにコピーしてください (32bit 環境のデフォルトインストール先: C:\Program Files\Foxit Software\Foxit J-Reader)。

Foxit J-Reader のプラグイン

Foxit J-Reader にプラグインマネージャ機能が追加されました。名称、バージョン、日時、概要、著作権及び商標を含む、インストールされているプラグイン情報の一覧を表示できます。

プラグイン関連情報を表示するには、“ヘルプ” をクリックし、“製品” リボンにある

“Foxit Plug-Ins について”  をクリックしてください。



第二章 - はじめに

この章では、インストール、ワークエリア、ツールバーモード、アンインストールなど、Foxit J-Reader の概要について説明します。

Foxit J-Reader のインストール

Windows システム要件

Foxit J-Reader は以下の環境で正常に動作します。もしお使いのコンピュータがこの要件を満たさない場合、Foxit J-Reader を正しく使用することはできません。

オペレーティングシステム

- Windows 7(32-bit & 64-bit)
- Windows Vista® Home Basic、Home Premium、Business、Ultimate、Enterprise の Service Pack 1 以降 (32-bit & 64-bit)
- Microsoft® Windows® XP Home、Professional、Tablet PC Edition の Service Pack 2 または 3 (32-bit & 64-bit)
- Active Directory Rights Management Service、および SharePoint 統合機能を利用する場合、Windows 7 または Windows Vista の Service Pack2 (SP2)が必要

より快適に使用するための推奨環境

- 1.3 GHz 以上のプロセッサ
- 64 MB RAM (128 MB RAM 以上を推奨)
- 52 MB 以上のハードディスク空き領域
- 800x600 以上の画面解像度

インストールの方法

下記の Foxit の Web サイトにアクセスして、Foxit J-Reader の最新バージョンをダウンロードしてください。Zip ファイルでの配布です：

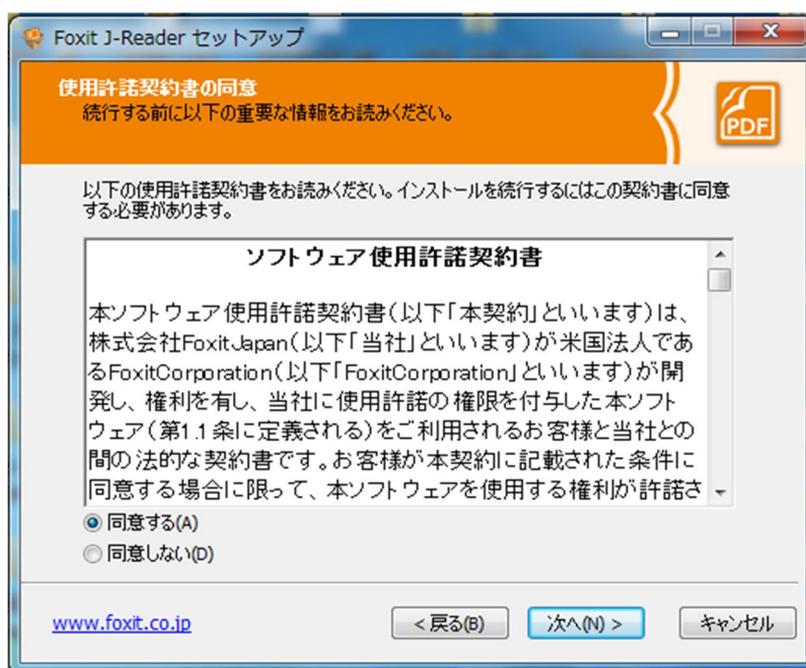
<http://www.foxit.co.jp/downloads/index.php>

Zip ファイルを解凍して EXE 形式の Foxit J-Reader のセットアップファイルを実行し、以下の操作を行ってください。：

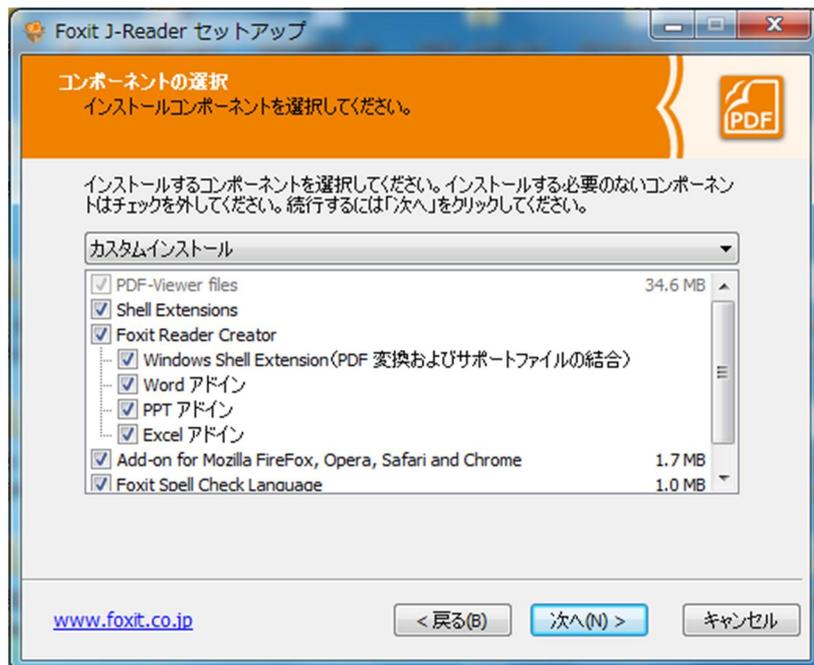
- セットアップファイルをダブルクリックすると、セットアップウィザード画面が開きます。**[次へ]**ボタンをクリックして先に進んでください。



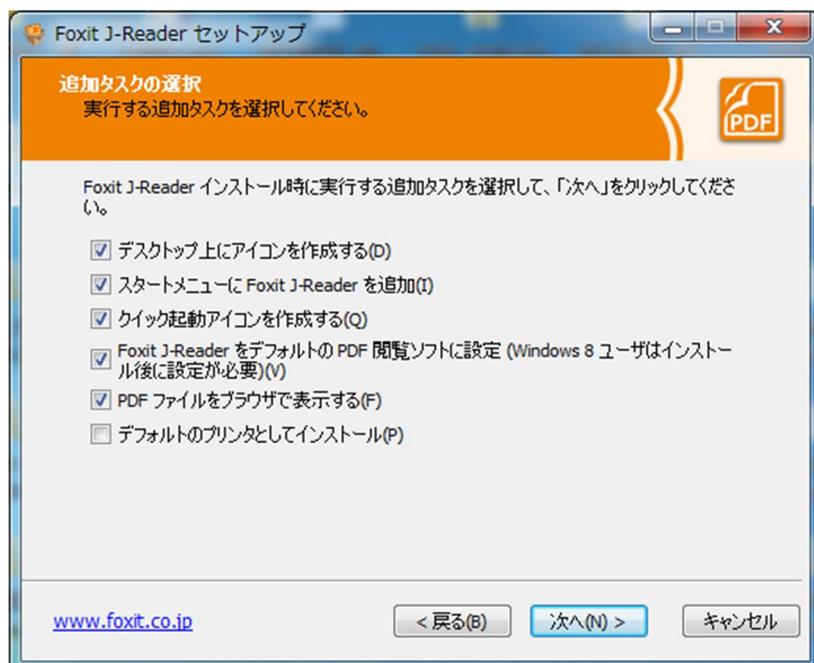
- ソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。Foxit J-Reader とそのコンポーネントは著作権により保護されており、ライセンスの同意事項に同意しない場合は、先に進めません。よく読んで、同意される場合は**[次へ]**、そうでない場合は**[キャンセル]**を選ぶことでインストールを終了できます。



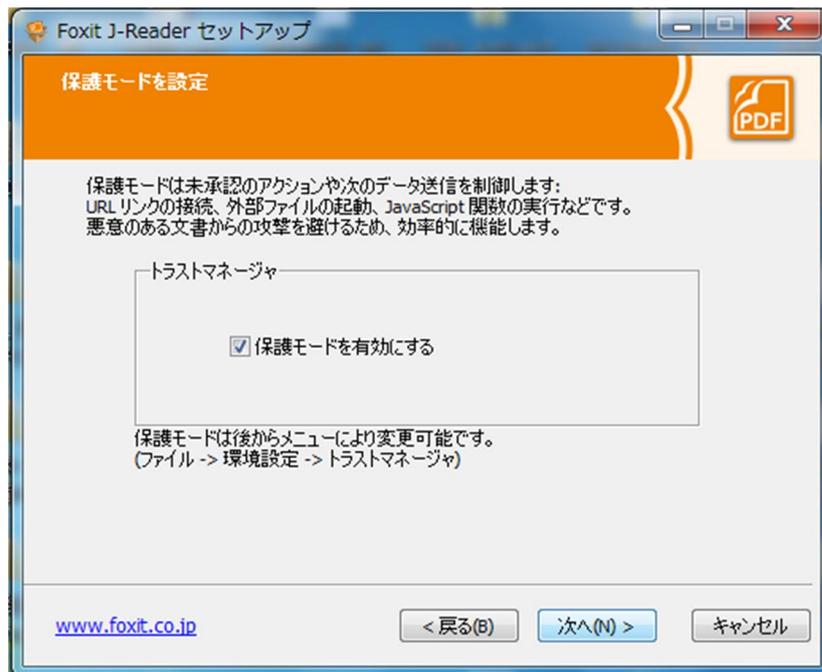
- Foxit J-Reader は通常(32bit 環境では)、デフォルトパス：C:\Program Files\Foxit Software\Foxit J-Reader にインストールされます。インストール場所を変更する場合は、“参照”ボタンをクリックして、パスを変更してください。
- フルインストールとカスタムインストールを選択できます。カスタムインストールでは、オプションをチェックして任意のコンポーネントを選択可能です。



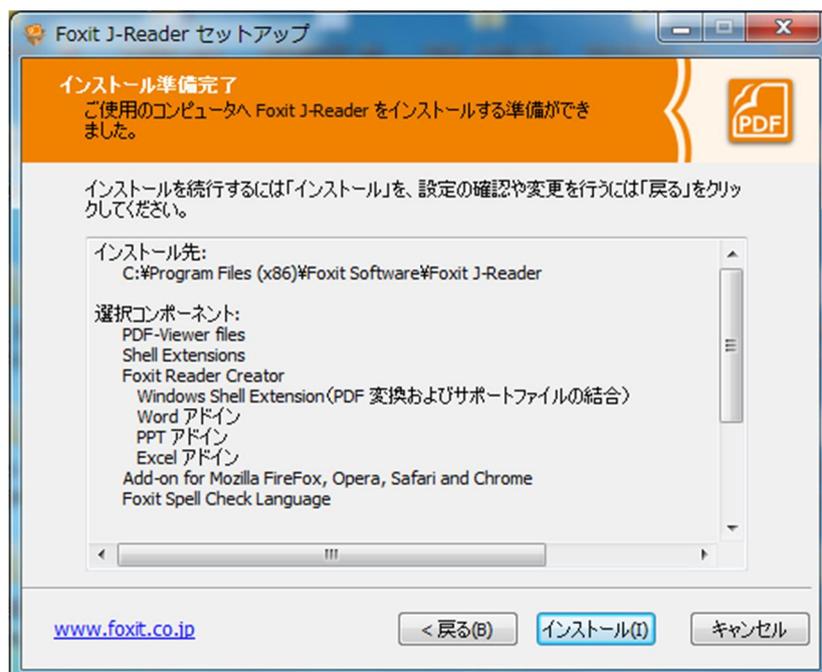
- Foxit J-Reader をインストールするときに実行する追加タスクを選択できます。



- インストール時に保護モードを設定する場合は、[保護モードを有効にする]のオプションをチェックしてください。



- 選択したインストール設定を確認できます。[インストール]をクリックしてください。設定を変更する場合は[戻る]をクリックしてください。



Foxit J-Reader のアップデート

Foxit のファイルやアドオンの更新には、何種類かの方法があります。いくつかの更新ファイルは、PDF ドキュメントを開くことによりアップデートが開始され、有効になります。例えば、日本語を含む PDF ドキュメントを開く際に Foxit J-Reader は、東アジアの言語サポートのためのコンポーネントをダウンロードするかどうか尋ねます。また、ヘルプメニューからのみダウンロード可能な更新ファイルや、手動でインストールしなければならない更新ファイルもあります。いずれにせよ、すべての更新ファイルは Foxit の Web サイトから直接ダウンロードすることができます。

ヘルプメニューからのアップデート

1. メニューより、ヘルプ > アップデートの有無をチェック...、と操作します。
2. 左のカラムから更新モジュールを選択し、[Add]をクリックして右のカラムに移動します。この画面では使用環境に適した更新モジュールのみ表示されます。
3. [Install]をクリックします。

Foxit アップデータの使用について

1. ファイルタブ > 環境設定 > アップデータ
2. ご要望に応じた適切なオプションにチェックしてください。
 - 自動的にアップデートをインストールする (パッチのみ): 新しい更新があった場合、自動的に更新ファイルをダウンロードして、インストールフォルダのファイルを置き換えます。
 - アップデートを自動的にダウンロードするが、インストールするときは指定する (デフォルト): 新しい更新があった場合、自動的に更新ファイルをダウンロードして、メッセージを表示します。ユーザーはインストールするかどうかを選択して実行します。デフォルトではこのオプションにチェックされています。
 - アップデートのダウンロードやインストールを自動的に行わない: 自動で更新ファイルをダウンロードしたりインストールしたりしません。
3. [OK]をクリックします。

Foxit の Web サイトからのアップデート

1. クリックして <http://www.foxitsoftware.com/pdf/reader/addons.php> をブラウザで開きます。
2. アップデートしたいアドオンプログラムを選択し、ダウンロードしてください。
3. アドオンプログラムをインストールすると、Foxit J-Reader のインストールフォルダに保存されます。
4. 更新ファイルを有効にするには、Foxit J-Reader を再起動してください。

ノート: 新しいバージョンではアップグレード後、カスタマイズ、設定、適用内容を保存することができます。

アンインストール

アンインストールの方法

下記のいずれかの方法を実行してください:

- スタート > すべてのプログラム > Foxit J-Reader > アンインストール
- スタート > コントロールパネル > プログラムと機能、と操作し、Foxit J-Reader を選択してアンインストール。
- Foxit J-Reader のインストールフォルダにある unins000.exe をダブルクリック。

ツールバーモード

Foxit J-Reader には 2 つのツールバーモードがあります: クラシックツールバーモードとリボン表示モードです。ユーザの嗜好に合わせた異なる PDF ハンドリングを提供します。

クラシックモード

クラシックモードは、以前の Foxit Reader (J-Reader 含む) のバージョンで採用していたインターフェース表示です。クラシックツールバーモードでは、メニューの下にツールが配置されます。ユーザは対応するメニューをクリックすることで、ツールを選択して利用できます。シンプルかつ、すっきりとした表示で場所を取らないため、その分ドキュメントを大きく表示できます。



図 1 クラシックツールバーモード概観

リボンモード

Foxit は項目別のリボンインターフェースにツールをまとめ、新しいハンドリングをご用意しました。それがリボンモードです。Foxit J-Reader の改善点の中でもひととき目立つリボンモードは Microsoft Office 2013 (Office 15) スタイルをベースに開発され、ユーザに直感的で慣れ親しまれた操作性を提供します。このモードでは、グループとタスク

によってツールが配置されています。この新しいインターフェースには次の主な特徴があります。

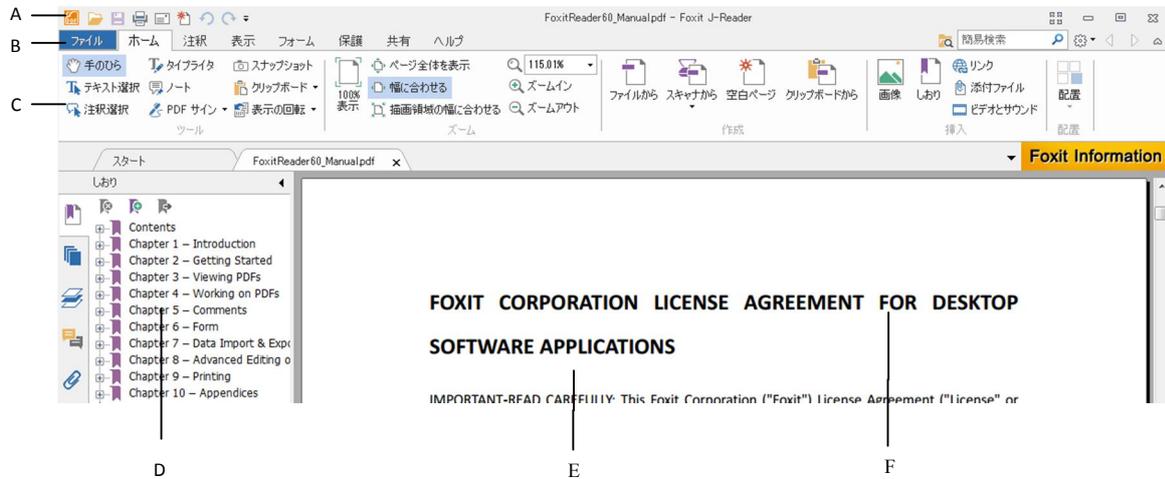


図 2 リボンモードのユーザインターフェース

A. クイックアクセスツールバー **B.** メニュー **C.** リボン **D.** ナビゲーションペイン (しおりパネル表示) **E.** ステータスバー **F.** ドキュメントペイン

上図のように、Foxit J-Reader のリボンモードは通常、クイックアクセスツールバー、メニューバー、リボンバーの 3 つのツールバーで構成されます。

- **クイックアクセスバー:** 開く、上書き保存、印刷など基本的なツールを表示します。よく使用するツールにすぐアクセスできるよう、ツールの追加、置き換えが可能です。
- **メニューバー:** Foxit J-Reader の主なメニューを表示します。ファイル、ホーム、注釈、表示、フォーム、セキュリティ、共有、ヘルプに分類されます。
- **リボンバー:** ツールが機能に応じたグループにカテゴリ化して配置されています。

メニューバーについて

ファイルメニュー

ファイルメニューより、開く、PDF 作成、上書き保存、名前を付けて保存、閉じる、印刷、終了など、J-Reader の最も主要なタスクに、すばやくアクセスすることができます。また、このメニューから文書のプロパティの表示、環境設定、最近使用したファイルの一覧を利用することができます。

フォームメニュー

フォームメニューには、フォームデータ関連ツールがあります。フォームデータの読み込みと書き出し、フォームのリセット、データのメール送信ができます。

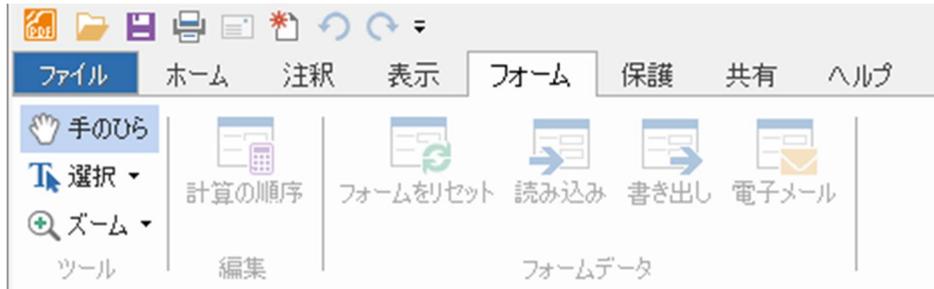


図 7 フォームメニュー

セキュリティメニュー

セキュリティメニューには、署名ツールと署名検証ツールが含まれます。これらのツールを使用して、文書に電子署名を追加したり、署名を検証したりすることができます。



図 8 セキュリティメニュー

共有メニュー

共有メニューには、文書の **Evernote** への送信や、**Facebook** での共有、電子メールでの送信ツールがあります。他にもこのメニューには、**SharePoint** サーバ上の **PDF** ファイルをシームレスにチェックイン/チェックアウトできる、**SharePoint** サービスがあります。



図 9 共有メニュー

ヘルプメニュー

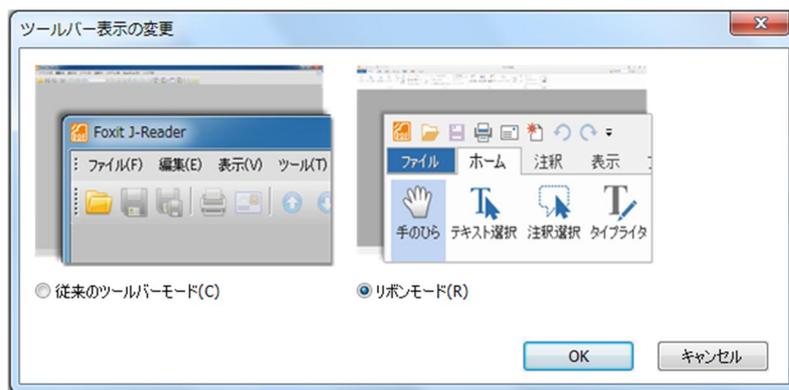
ヘルプメニューはエラーレポート、ユーザマニュアル、コマンドラインヘルプを利用できる、ヘルプツールで構成されています。またこのメニューで、アップデートの有無のチェック、デフォルトの PDF 閲覧ソフトの設定、FoxitJapan ホームページへのリンク、インストールされているプラグインの確認を行うことができます。



図 10 ヘルプメニュー

ツールバーモードの変更

- ▶ クラシックツールバーモードからリボンモードへ変更するには、表示 > UI オプション > ツールバーモードの変更 > リボンモード > OK、と操作します。
- ▶ リボンモードからクラシックツールバーモードへ変更するには、ファイル > UI オプション > ツールバーモードの変更 > クラシックツールバーモード > OK、と操作します。



ノート：設定は Foxit J-Reader の再起動後に有効になります。

ワークエリア

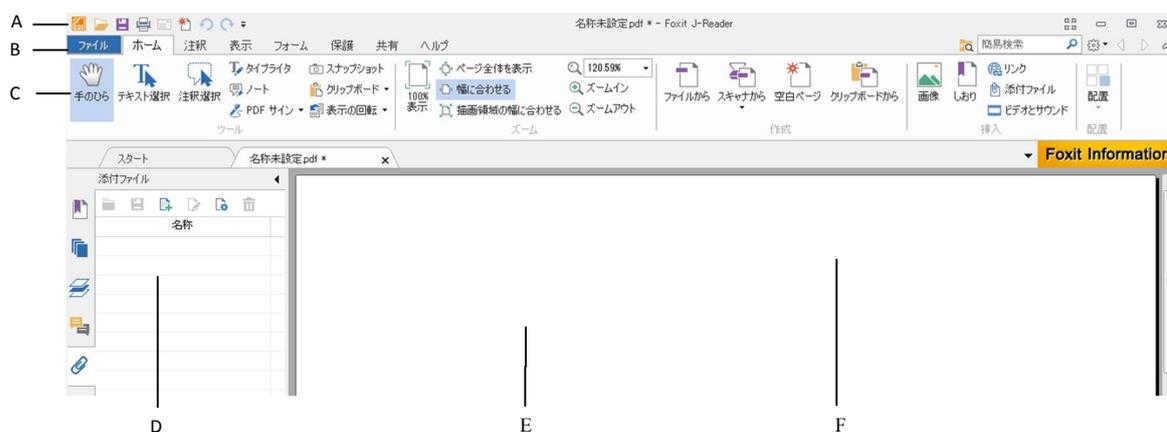
Foxit J-Reader は二つの異なる方法で開くことができます：一つは単独で開く方法。もう一つは Web ブラウザ内で開く方法です。関連付けられているワークエリアは起動方法により多少異なります。

Foxit J-Reader のワークエリアは PDF 文書を表示するドキュメントペインと、ウィンドウの左側にある表示中のドキュメントの閲覧を支援するナビゲーションペインで構成さ

れます。ウィンドウの上部と下部にあるツールバーは、ツールバー、メニューバーそしてステータスバーで、異なる機能を提供します。

単独で開いた場合のワークエリア

- デスクトップにある **Foxit J-Reader** アイコンをダブルクリックして起動します。
- ファイル > 開く、と操作し、任意の **PDF** を選択して [開く] ボタンをクリックします。

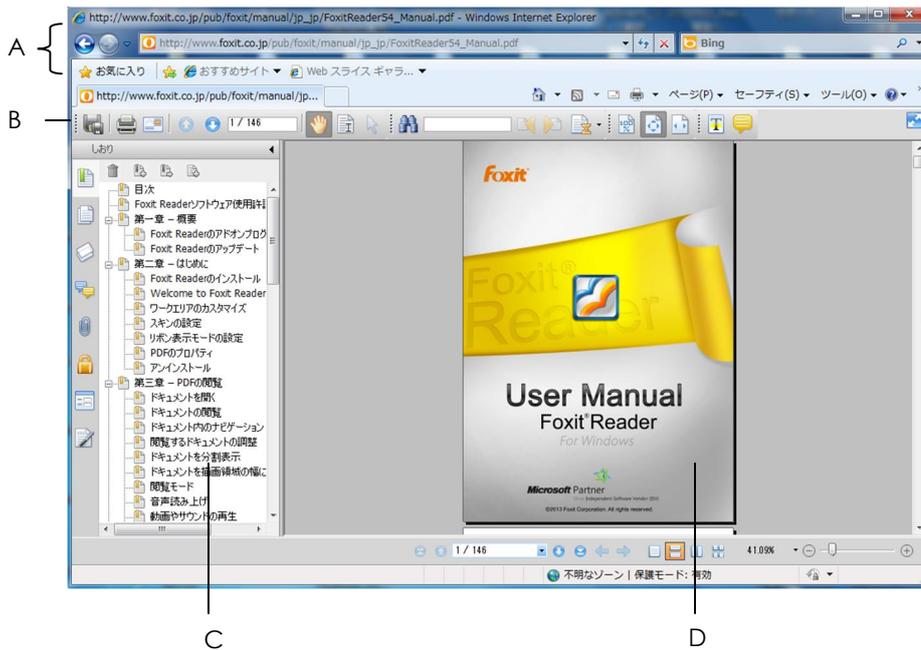


リボンモードのユーザインターフェース

- A.** クイックアクセスツールバー **B.** メニュー **C.** リボン **D.** ナビゲートペイン (添付パネルを表示) **E.** ステータスバー **F.** ドキュメントペイン

Web ブラウザ内で開いた場合のワークエリア

- Web ブラウザを起動します。
- インターネット上にある任意の **PDF** を選び、リンクをクリックします。
- **Foxit J-Reader** が Web ブラウザの中に開き、その中に **PDF** 文書が開きます。



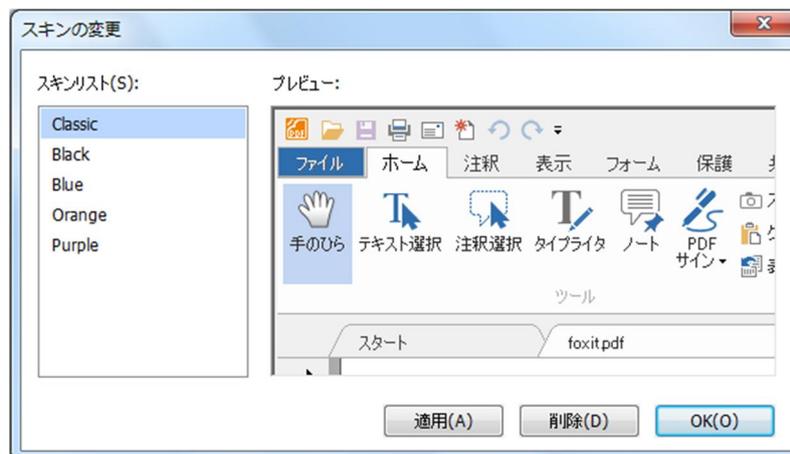
Web ブラウザ内を開いた Foxit J-Reader

- A. Web ブラウザのメニューバーとボタン
- B. Foxit J-Reader のツールバー
- C. ナビゲーションペイン(しおりパネルを表示)
- D. ドキュメントペイン

スキンの設定

Foxit J-Reader はソフトウェアの見た目を変えられるよう、5 種類のスキンを提供しています。

Foxit J-Reader の外観を設定する場合は、ファイル > UI オプション > スキンの変更、と操作してください:



ワークエリアのカスタマイズ

Foxit J-Reader に精通していれば、作業環境を変更することが出来ます。Foxit J-Reader のポテンシャルについて知れば知るほど、その機能、ツールそしてオプションを有効に利用することができます。

Foxit J-Reader には、最初に感じられるよりもはるかに多くの機能が用意されています。Foxit J-Reader は、ツールや環境設定の方法のすべてを表示していませんが、ユーザが経験を積むに従って、それぞれのワークエリアを調整して表示し、徐々により多くの機能を使用できるように想定しています。

Foxit J-Reader には、2つのモードがあります：クラシックツールバーモードとリボンモードはユーザインターフェースが多少違いがあります。従って、ワークエリアのカスタマイズもそれに依って異なります。

クラシックツールバーモードでのワークエリアのカスタマイズ

クラシックツールバーモードでは、メニューバーとツールバーの表示/非表示を選択できます。また、このモードではツールバーの固定と移動が可能です。詳細は以下の説明を参照してください。

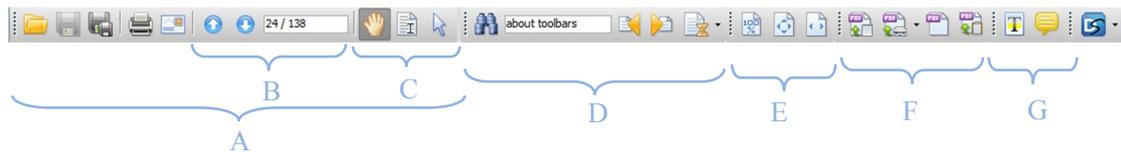
- **メニューバー**

一般的には、メニューバーは表示しておく方が操作する上で有効です。しかしながら、より広いスペースを好むユーザもいます。一時的にメニューバーを取り除くには、メニューより、表示 > メニューバー のチェックを外してください。

非表示にしたメニューバーを再表示するには、ツールバー上で右クリックして、メニューバーにチェックをつけてください。

- **ツールバー**

Foxit J-Reader は、ユーザのニーズや作業スタイルに応じてツールバーの表示を変更することができます。ツールバーに表示されているボタンの追加や削除を行って、頻繁に使用するコマンドだけを表示することも可能です。詳細な方法については以下の説明を参照してください。ツールバーに表示されているボタンの追加や削除を行って、頻繁に使用するコマンドだけを表示することも可能です。詳細な方法については以下の説明を参照してください。



デフォルトのツールバー表示

- A.** 標準ツールバー **B:** ページナビゲーションツール **C.** 選択ツール
D. 検索ツールバー **E.** 表示ツールバー **F.** 変換ツールバー **G.** 注釈ツールバー

どのツールバーもフロート・固定のどちらでも使用できます。固定したツールバーは、ツールバーエリアに表示され、フロート化したツールバーは、画面内の任意の場所に移動することができます。

1. ツールバーの表示/非表示

- ✧ すべてのツールバーを非表示にするにはメニューより、表示 > ツールバー > ツールバーを非表示、と操作するか、またはキーボードでホットキーの **F8** を押下します。
- ✧ すべてのツールバーを表示するにはメニューより、表示 > ツールバー > ツールバーを表示、と操作するか、またはホットキーの **F8** を押下します。
- ✧ 個別のツールバーを表示するにはメニューより、表示 > ツールバー と操作し、表示するツールバー名にチェックします。
- ✧ ツールバーを非表示にするには、次のいずれかを行ってください：
 - A.** ツールバーの上で右クリックするか、またはメニューより、表示 > ツールバー と操作し、非表示にしたいツールバーのチェックを外します。
 - B.** 非表示にしたいツールバーの左端をドラッグして、ドキュメントペインに移動します。次にバーの右上にある "閉じる" ボタンをクリックします。
- ✧ ツールバーの表示内容を変更する場合はメニューより、編集 > UI オプション > ツールバーのカスタマイズ、と操作して開いたダイアログ上で対象項目を選択、あるいは選択解除を行ってください。ツールバー名の隣にあるチェックマークが、現在の表示状態を示しています。

2. ツールバーの固定

ツールバーエリアに配置されたツールバーを、動かないよう固定することができます。この機能は、ユーザがメニューを誤ってドラッグし、別の位置に移動させることを防ぐのに非常に有効です。

ツールバーの固定とその解除は、ツールバーを右クリックして、すべてのツールバーの固定 / 固定解除 を選択してください。

3. ツールバーの移動

- ✧ ツールバーエリアに固定されているツールバーの配置を変更するには、[グラバーバー]を使用して、ツールバーエリア内の移動先までドラッグします。
- ✧ 固定のツールバーをフロートするには、[グラバーバー]をドラッグして、ツールバーエリアから外に移動します。
- ✧ フローティングツールバーを移動する場合は、そのバーのタイトルをドラッグして画面上の任意の位置に移動します。
- ✧ フローティングツールバーをツールバーエリアに固定するには、バーのタイトルをダブルクリックするか、バーのタイトルをドラッグしてツールバーエリア内に移動します。
- ✧ 複数のフローティングツールバーをすべてツールバーエリアに移動するには、メニューより、表示 > ツールバー > ツールバーをリセット、と操作します。

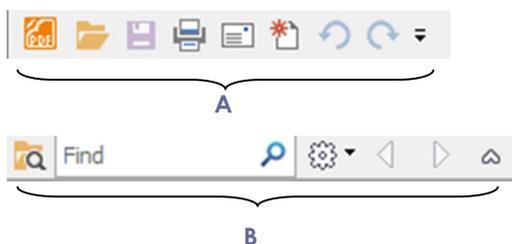
ノート: ツールバーをドラッグするには、ツールバー左端にある[グラバーバー]  をドラッグします。

リボンモードでのワークエリアのカスタマイズ

リボンモードでは、タスクに応じてツールがグループ化されています。このモードでのインターフェースは通常、クイックアクセスツールバー、メニューバー、リボンに別れています。

● ツールバー

通常、リボンモードのツールバーは、クイックアクセスツールバー、検索ツールバーなどが含まれます。



A: クイックアクセスツールバー B: 検索ツールバー

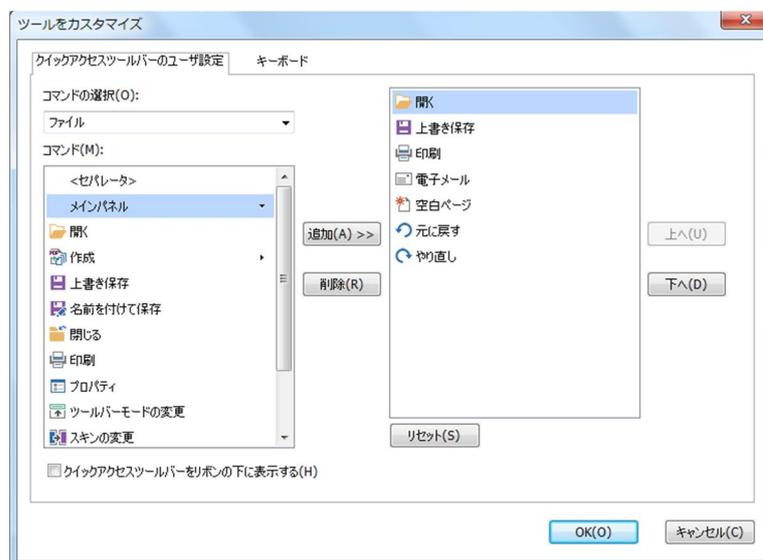
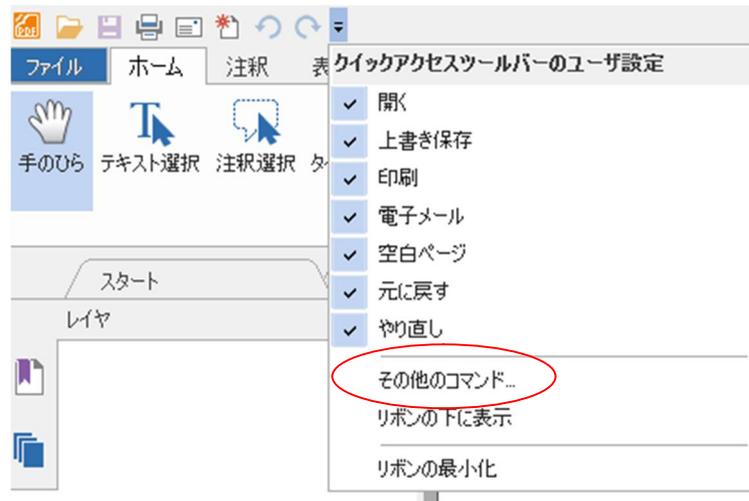
1. クイックアクセスツールバーの追加

クイックアクセスツールバーにはユーザがブックマークしたツールがすべて表示されます。クイックアクセスツールバーにはツールを追加することができるので、コンテンツの閲覧や検索を簡単に行うことができます。これはすべてのツールを管理、調整するための

もう一つの方法です。

クイックアクセスツールバーに追加するには、次の手順を実行してください：

- ▶ クイックアクセスツールバー右端のボタン  をクリックすると下図のように表示されます。その他のコマンド... を選択します。



- ▶ クイックアクセスツールバーに表示したいツール、またはセパレータを選択し、ツールバーのリストに追加してください。【上へ】または【下へ】ボタンでツールの順序を調整し、OK をクリックします。

ツールバーをデフォルトの設定に戻すには、クイックアクセスツールバーの  をクリックして **その他のコマンド** を選択し、ダイアログ上の **【リセット】** をクリックしてください。

2. リボンモードでのツールバー操作

- リボンを最小化/展開するには、右上に表示される  または  をクリックしてください。
- もしリボンを最小化した後でツールを使用したい場合は、メニューのタブをクリックすることで、リボンのツールを選択することができます。ツールの使用中は、自動的に再び最小化されます。

環境設定とプロパティの表示

環境設定

Foxit J-Reader はカスタマイズが可能ですが、カスタマイズできる機能の中には見つけることが難しいものもあります。しかしこの説明を読んだ後は、環境設定がいかに有効で、いかに簡単に操作できるか理解いただけるでしょう。

Foxit J-Reader の環境設定は、ファイル > 環境設定 を選択してください。

ノート：環境設定では矢印キー、または Tab キーで別の設定項目に移動できます。

カラー設定

文書のカラーオプション

- A. 文書の表示カラーを調整：文書の色を変更する場合は、他のオプションをチェックしてください。
- B. Windows のカラースキームを使用：文書の色が Windows のカラースキームに応じた設定で表示されます。
- C. カスタムカラー：ページ背景とテキストの色を設定できます。
- D. 黒または白のコンテンツのみを変更：白黒のテキストのみが変更されます。カラーのテキストは変更されません。

注釈の設定

- A. ポップアップの不透明度：注釈ツールのポップアップノートの不透明度を設定します。
- B. 作成者：注釈の作成者を設定します(通常、システムのデフォルト名が使用されます)。
- C. 鉛筆の設定：鉛筆ツールの環境設定です。

PDF 作成の設定

PDF 作成の設定では、作成される PDF のページサイズを設定できます。

- A. サイズ設定: リストから PDF の用紙サイズと向きを選択して設定します。
- B. カスタム: 作成される PDF のページサイズをカスタマイズします。単位を選択し、希望するページの幅と高さを設定します。

文書の設定

環境設定の [文書] ダイアログでは、PDF 文書の閲覧方法を設定できます。

● 開き方の設定

1. 複数のインスタンスを許可: PDF ファイルをダブルクリックして開くたびに、新しいウィンドウで Foxit J-Reader を起動します。
2. メニューバー、ツールバーの非表示を許可: メニューバーとツールバーの非表示設定を可能にします。このオプションはデフォルトでチェックされています。
3. 文書がフルスクリーンモードを要求時に警告: フルスクリーンモードで開く設定がされている PDF を開こうとすると、操作確認のためメッセージボックスが表示されます。
4. ブラウザ表示のデフォルトを閲覧モードに設定: Web ブラウザで表示する場合、自動的に閲覧モードで PDF を開きます。
5. Foxit J-Reader で PDF を表示するときのモード: Foxit J-Reader で PDF を開くとき、通常表示、閲覧モード、フルスクリーンモードのどれで開くかを設定します。

● 閉じ方の設定

すべてのタブを閉じる前に確認メッセージを表示: 複数の PDF ドキュメントを開いている状態で Foxit J-Reader のウィンドウを閉じるとき、本当にすべてのタブを閉じるか確認のメッセージを開きます。これはユーザーが表示中のドキュメントだけを閉じようとしたとき、誤ってすべてを閉じてしまうことがないようにする機能です。

● 単位

ステータスバーや印刷ダイアログに使用する単位を設定します。

ファイルの関連付けの設定

このオプションにより、デフォルトのPDF閲覧ソフトの設定ができます。

● Foxit J-ReaderをデフォルトのPDF閲覧ソフトに設定:

1. Foxit J-Readerを起動するとき常に確認する: デフォルトのPDF閲覧ソフトが Foxit J-Readerでない場合、Foxit J-Readerを起動するたび、デフォルトのPDF閲覧ソフトの設定を促すメッセージボックスを表示します。
2. ブラウザでのPDF表示を含める: 閲覧ソフトに設定するときに、プラグインを使用して、PDFをブラウザ内で表示するよう設定します。
3. PDFファイルのプレビュー表示対応を含める: 閲覧ソフトに設定するときに、プラグインを使用して、PDFのエクスプローラのプレビュー表示ができるよう設定します。
4. PDFファイルのサムネイル表示を含める: 閲覧ソフトに設定するときに、PDFファ

- イルをサムネール表示するように設定します。
5. デフォルトのPDF閲覧ソフトに設定: **Foxit J-Reader**をデフォルトのPDF閲覧ソフトに設定します。
 6. ファイルの関連付けを復元: 以前にデフォルトのPDF閲覧ソフトとして関連付けられていたアプリケーションを、デフォルトに設定します。

フォームの設定

[フォーム] タブでは、インタラクティブフォームの表示に関する設定を行います。

- 文書メッセージバーを常に非表示: インタラクティブフォームを開いた際、ツールバー下に表示される [文書メッセージバー] について表示する/しないを設定します。
- すべてのフィールドをハイライト表示: すべてのフィールドをハイライト表示するか、特定のフィールドだけをハイライト表示にするかを設定します。また、カラーパネルをクリックして、そのフィールドのハイライトの色を任意に変更できます。
- オートコンプリートを有効にする: インタラクティブフォーム入力時、先頭部分を入力すると、以前入力した単語に基づいて予測された入力内容があらかじめ表示されません。
- 電子メール: フォームデータを電子メールで送信する際の、デフォルトの件名と内容を設定できます。

フルスクリーンモードの設定

- フルスクリーンモードのナビゲーション
 - A. フルスクリーンモード時の、スクロールバー、ステータスバー、タブバー、ナビゲーションパネル、メニューバーの表示/非表示を設定します。
 - B. 終了ボタンを表示 - フルスクリーンモードでの終了ボタンの表示/非表示を設定します。
 - C. 一度に1ページずつ表示 - フルスクリーンモードにおいて、一度に1ページだけを表示します。
 - D. 左クリックで次のページ、右クリックで前のページを表示 - マウスのクリックによるページの移動を可能にします。同時にスペースキー、**Shift+スペースキー**によるページの移動、および矢印キーによる移動も可能になります。

- フルスクリーンモードの表示

背景色 - パネルをクリックしてフルスクリーンモードの際の背景色を設定します。

- フルスクリーンモードの効果

Foxit J-Readerは、フルスクリーンモードでのページ効果をサポートしています。**11種類**のページ切り替え時の効果があります: スプリット、ブラインド、ボックス、ワイプ、ディゾルブ、グリッタ、フライ、プッシュ、カバー、アンカバー、フェード。また、効果の方向を設定できます。

- A. すべての効果を見捨てる: チェックをつけた場合、フルスクリーンモードでのページ

効果を表示しません。

- B. デフォルトの効果 - ページ切り替え時の効果を選択します。
- C. 方向 - ページ効果の方向を設定します。

一般の設定

[一般] タブでは、ツールバー、スナップショット、印刷、テキストリンク、タブバー等について設定します。

● 基本ツール

- A. スナップショット画像に固定解像度を使用 - スナップショットツールでイメージをキャプチャした際の解像度を設定します。初期値は72ピクセルに設定されています。
- B. URLからリンクを作成 - PDFドキュメント内のテキストリンクを検出し、クリックできない状態をクリックできる状態に変換します。
- C. システムトレイに最小化 - Foxit J-Readerのアイコンをシステムトレイに格納することにより、タスクバーのスペースを節約できます。このオプションを選択すると、Foxit J-Readerを最小化したとき、Foxit J-Readerのアイコンをシステムトレイに格納します。
- D. スクリーンワードキャプチャリング - このオプションを選択すると、マウスを使用してPDFドキュメント内の単語をキャプチャできるようになります。辞書ソフトを使用している場合は、そのまま翻訳することが出来ます。
- E. テキスト上でカーソルを変える - このオプションを選択すると、テキスト選択可能なコンテンツ上にカーソルを移動したとき、手のひらツールがテキスト選択ツールに変化します。

● プリンタ

テキストを画像として印刷(代替フォントを無視) - テキストフォントを画像として出力するため、印刷されたフォントはテキストフォントと完全に一致します。プリンタフォントが置き換えられ、自動的に高速な印刷になります。

● タブバー

最大タブサイズ - タブサイズの最大値を設定します。

● メニューとステータスバー

- A. メニューを他のバーと分ける - このオプションはデフォルトでチェックされています。
- B. ステータスバーを自動的に隠す - PDFを開いたとき、ステータスバーを自動で隠します。カーソルがページ下部にあるときのみ、ステータスバーがフローティング表示されます。

● アプリケーションの起動

- A. スタートページを表示: チェックするとFoxit J-Reader起動時にスタートページを表示します。

- B. インフォメーションの表示: チェックするとインフォメーションバーを表示します。

履歴の設定

- **履歴**

- A. アプリケーションを起動したときに前回のセッションを復元: 最後に使用したセクションを自動的にオープンするか設定します。
- B. 文書を再び開くときに前回のビュー設定を復元: ドキュメントを開く際に、自動的に最後に開いていたビューの設定を使用するか設定します。
- C. 履歴にリストする最大数: 最近開いたドキュメントとしてリストする文書名の最大数を設定します。初期値は**50**です。
- D. 最近使用したファイルにリストする最大数: “最近使用したファイル” に表示する文書の最大数を設定します。初期値は**4**です。

ノート: Foxit J-Readerは、[履歴にリストする最大数] や、[最近使用したファイルにリストにする最大数] を**0**に設定することが可能です。

インターネット検索

- インターネット検索のポップアップバーを非表示にし、ドラッグによる検索を許可する: テキスト選択したとき表示されるインターネット検索のポップアップバーを表示しないようにする場合に、このオプションを選択します。
- ドラッグによるインターネット検索を使用不能にして、ポップアップバーを使用する: このオプションを選択すると、選択したテキストをドラッグしてインターネット検索することができなくなります。

ページ表示の設定

環境設定ダイアログの [ページ表示] タブには以下のような機能があります:

- ページ表示
 - A. デフォルトのページレイアウト: 以下のレイアウトでPDFを表示できます:
 - a) 単一ページ表示 — 一度に**1**ページ表示します。他のページの一部が表示されることはありません。
 - b) スクロールを有効にする — **1**ページ分の幅で、ページを縦に連続して表示します。
 - c) 見開きページ表示 — **2**ページずつ横に並べて表示します。それ以外のページの一部が表示されることはありません
 - d) 見開きページでスクロール — 横に**2**ページ並べた状態で縦に連続表示します。

参照 [“ページ表示の変更”](#)

- B. 透明グリッドを表示: 透明のオブジェクトの背景にグリッドを表示します。
- C. カスタムの見開きページ: 見開き表示の際に表示するページ数のデフォルト値は2ページですが、任意でページ数を設定することができます。
- D. カスタムの余白: 見開きページ、あるいは見開きページでスクロール表示のときの余白を設定します。余白のデフォルト値は8ピクセルです。
- E. テキストのスムージング: 使用しているモニタに合わせて文字表示を最適化します。
- F. 論理ページ番号を使用: 論理ページ番号でPDFファイルを開きます。

- 倍率

デフォルトズーム: PDFドキュメントを最初に開いたときの表示倍率を設定します。PDFドキュメントの設定が、デフォルト値として使用され、この値を変更するとドキュメントの設定も変更されます。

- '指定の場所へ移動' アクションを実行するとき、現在のズームが変更されることを禁止: チェックすることで、'指定の場所へ移動' でのズーム変更を禁止します。

参照 ["ドキュメントの表示倍率を変える"](#)

読み上げの設定

- ページあるいは文書

この設定は、スクリーンリーダーに対して一度に送るドキュメントの量を決定します。PDFにタグが設定されていないとき、Foxit J-Readerはドキュメントを解析し、構成を読み込もうとしますが、大きいサイズのドキュメントの場合、大変時間がかかります。一回のドキュメント解析を小規模で済ませるため、Foxit J-Readerを現在表示されているページだけ読むように設定する必要があるかもしれません。この設定は、ドキュメントのサイズと複雑さ、スクリーンリーダーの機能に大きく依存するためのものです。

- A. 現在表示されているページのみを読み上げる - このオプションは画面を拡大して閲覧する場合に適しています。ドキュメントを表示していない部分にはリソースを割かないため、パフォーマンスが向上します。Foxit J-Readerは現在表示しているPDFのページだけをメモリバッファに送るので、支援機能も現在表示しているページに対してのみ行います。次のページが表示され、Foxit J-Readerがそのページ情報をメモリバッファに送るまでは、他のページに対して支援機能を利用することはできません。そのため、このオプションを選択するとFoxit J-Readerのナビゲーション機能を使用する必要がある場合でも、ドキュメント内のページからページへのナビゲーション支援を利用できません。また、現在表示されているページだけを読み上げる場合、環境設定でデフォルトページレイアウトを単一ページに設定する必要があります。
- B. 文書全体を読み上げる - このオプションは、スクリーンリーダーに独自のナビゲーションや検索機能がある場合や、Foxit J-Readerのツールより使いやすと思われるスクリーンリーダーを使用する場合などに適しています。
- C. 文書の場合、現在表示されているページのみを読み上げる - 初期設定ではこのオプションが選択されており、長文や複雑な構成のPDFドキュメントにスクリーンリーダーを使用する場合に適しています。全体のサイズが小さなドキュメントに対してはす

べてメモリバッファに送ることを許可し、サイズの大きなドキュメントに対してはページごとに送る設定に戻します。

- **大きな文書の最低ページ数**

“大きな文書の場合、現在表示されているページのみを読み上げる” オプションを選択した場合、この値を設定することができます。

電子署名の設定

- 文書を開いたときに署名を検証するか設定します。

読み上げ設定

- ボリューム：音声読み上げの音量を設定します。
- デフォルトの音声を使用：チェックすると、コンテンツをデフォルトの言語、またはコンボボックスから選択できる希望の言語で読み上げます。
- デフォルトのスピーチ属性を使用：チェックするとデフォルトの、またはコンボボックスで設定できるピッチと速度で読み上げます。
- 注釈を読み上げる：チェックすると、音声読み上げ実行時にアプリケーションで注釈も読み上げることができます。

スペルチェックの設定

- スペルチェックを有効にする：スペルミスを防ぐ、スペルチェック機能を有効にします。

トラストマネージャの設定

[“トラストマネージャ”](#) を参照してください。

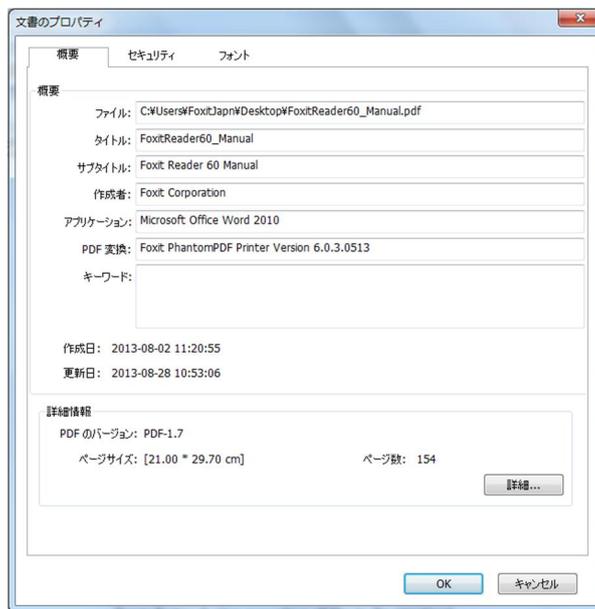
アップデートの設定

- 自動的にアップデートをインストールする(パッチのみ)：新しい更新があれば自動的にダウンロードし、インストールフォルダ内のファイルを新規更新分と置き換えます。
- アップデートを自動的にダウンロードするが、インストールするときは指定する(デフォルト)：新しい更新があればダウンロードを行い、インストールするかどうか確認のメッセージが表示されます。初期設定ではこのオプションがチェックされています。
- アップデートのダウンロードやインストールを自動的に行わない：自動では更新のダウンロードもインストールも行いません。

PDF のプロパティ

[文書のプロパティ] ダイアログは、ファイルの保存場所、タイトル、サブタイトル、作成者、使用されているフォント、セキュリティ等、ドキュメントに関する情報を提供します。また、このダイアログは別のアプリケーションによって設定された属性も表示します。

PDF ドキュメントのプロパティを参照するには、メニューバーより、ファイル > プロパティ…と操作します。PDF ドキュメントに関連する情報を、以下のように取得することができます：



【文書のプロパティ】ダイアログの【概要】タブ

概要

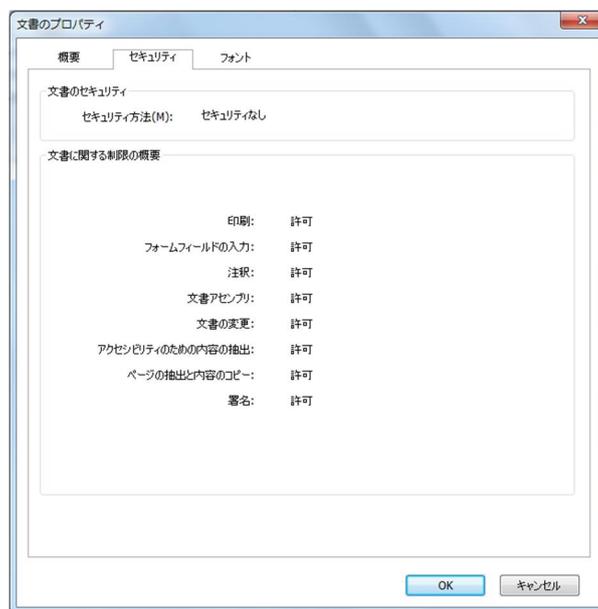
[概要] タブには、PDF ドキュメントに関する基本的な情報がいくつか表示されます。タイトル、作者、サブタイトル、およびキーワードは、オリジナルのアプリケーションで文書を作成した作者により設定されることが多いです。

- ファイル — ドキュメントの保存場所
- タイトル — ドキュメントの表題
- サブタイトル — ドキュメントの主要な考え方やポイント、主題
- 作成者 — ドキュメントの作者
- アプリケーション — オリジナルの文書を作成する際に使用したアプリケーション
- PDF 変換 — オリジナルの文書を PDF に変換したアプリケーション、もしくはドライバの名称
- キーワード — 作者の判断による、内部の内容を明らかにする単語
- 作成日 — ドキュメントが作成された日付と時刻
- 更新日 — ドキュメントが最後に作成された日付と時刻

- 詳細情報 —詳細情報エリアには、PDF のバージョン、ページサイズ、およびページ数が表示されます

セキュリティ

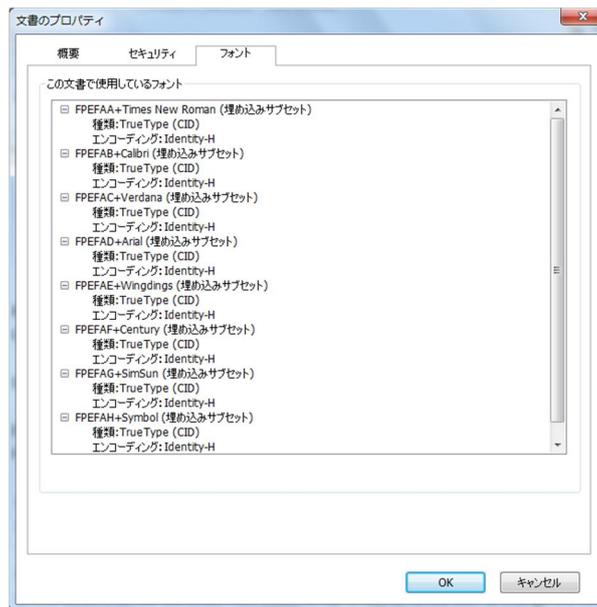
[セキュリティ] タブには、該当 PDF に対して変更できる内容や使用できる機能が表示されています。また、パスワードで保護されている場合や、証明書、セキュリティポリシーが付加されている場合は、その情報が表示されます。Foxit J-Reader でセキュリティの設定を変更する事はできません。



【文書のプロパティ】ダイアログの【セキュリティ】タブ

フォント

[フォント] タブにはオリジナルのドキュメントで使用されているフォントとフォントタイプが表示されます。また、フォントを表示するためのエコーディングも表示されます。



【文書のプロパティ】ダイアログの【フォント】タブ

ナビゲーションペインについて

ドキュメントペインの左にあるナビゲーションペインには、いくつかの異なるナビゲーションパネルが表示されます。レイヤ、添付ファイル、ページサムネール、注釈、しおり、などのパネルがあります。PDF ファイルを開いていない時には、これらのパネルは有効にはなりません。

ナビゲーションペインの左側にあるボタンを使用すると、しおり 、ページサムネール

、レイヤ  など、様々なパネルへ簡単にアクセスできます。

- ナビゲーションペインを表示するには、表示メニュー > 表示設定 > ナビゲーションパネル > ナビゲーションパネルを表示、と操作するか、または **F4** を押下します。
- ナビゲーションパネルを開くには、ナビゲーションペインの左にある各パネルのボタンをクリックするか、または表示メニュー > 表示設定 > ナビゲーションパネル > [ナビゲーションパネル名] と操作します。
- ナビゲーションペインを閉じるには、表示メニュー > 表示設定 > ナビゲーションパネル > ナビゲーションパネルを非表示、と操作するか、**F4** を押下、またはパネルを右クリックしてナビゲーションパネルの非表示を選択します。

ヒント: ナビゲーションパネルの右上のボタン  をクリックすることにより、ナビゲーションパネルの表示と非表示の切替ができます。

ナビゲーションペインのアレンジ

ナビゲーションパネルは、ツールバーと同じように、ナビゲーションペインに固定することや、フローティングウィンドウとして自由に配置することができます。不要であれば、パネルを隠したり、閉じたりすることもできます。また、ナビゲーションパネルの幅の調整も容易にできます。

1. ナビゲーションペインでのパネルの表示

デフォルトでは、すべてのパネルはそれぞれのボタンと一緒に、ナビゲーションペインの左に固定されています。

以下のいずれかの操作を行なって下さい：

- ナビゲーションペイン左側の、表示するパネルに対応したボタンを選択します。
- メニューバーより、表示 > ナビゲーションパネル > [パネル名] を選択します。

2. ナビゲーションペインの表示エリアの変更

- ナビゲーションペインの表示エリアを変更するには、右の境界線をドラッグして幅を調整します。
- ナビゲーションペインの最大化、最初化を行うには、ナビゲーションペインの右上のボタン  をクリックします。

3. ナビゲーションパネルの固定とフローティング表示

- ナビゲーションパネルをフローティングウィンドウにするには、それぞれのパネルボタンをドラッグして、ドキュメントペインに移動してください。
- フローティングウィンドウのパネルを移動するには、パネルボタンをドラッグして、好みの位置に移動してください。
- フローティングパネルを固定するには、タイトルバーをダブルクリックしてください。
- 2つのフローティングパネルをグループ化するには、ひとつのタイトルバーをもう一方のタイトルバーにドラッグします。
- すべてのパネルを固定するには、表示メニュー > 表示設定 > ナビゲーションパネル > すべてのパネルをたたむ、と操作します。

ショートカットキーのカスタマイズ

キーボードを使用する習慣は個人により異なります。また、どのキーが使い易いかについても個人によって異なります。Foxit J-Reader は、個人の習慣に従ってショートカット

キーをカスタマイズをすることができるようになっており、操作性が向上することが可能です。

ショートカットキーのカスタマイズは、以下の操作で行なって下さい：

- クイックアクセスツールバーのボタン  をクリック > その他のコマンド、を選択します。[ツールをカスタマイズ] ダイアログで [キーボード] タブを選択します。
- [カテゴリ] 一覧でツールのカテゴリを選び、[コマンド] 一覧でコマンドを選択します。
- キーボードの入力エリアにカーソルを移動し、キーボードで好みのキーを押下し、次に [割り当て] ボタンをクリックします。変更する場合は置き換えたいキーを入力して設定しなおしてください。リセットする場合は、[すべてリセット] ボタンをクリックして、デフォルトの設定に戻します。

ノート：すでに割り当てられているショートカットキーは、再割り当てすることはできません。入力タブの下のメッセージは、ショートカットキーが別のコマンドによって使用されているかどうかが表示されます。

第三章 – PDF の閲覧

Foxit J-Reader をインストールすると、簡単に PDF ドキュメントを開いて閲覧することができます。PDF ドキュメントを開いた後、ドキュメントの表示状態の調整、ドキュメント内のテキスト検索、Email に添付して送付等の操作が可能です。

PDF ファイルを開く、保存する、閉じる

ドキュメントを開く

Foxit J-Reader は、デスクトップから単独で起動して PDF ドキュメントを閲覧することも出来ますし、Web ブラウザ内で動作する事も出来ます。

Foxit J-ReaderでPDFファイルを開く

Foxit J-Readerウィンドウのスタートページから起動

Foxit J-Readerを開いたとき、設定されていればスタートページが表示されて起動します。Foxitの製品紹介が表示されます。

スタートページを表示したくない場合は、ファイルメニュー > 環境設定 > 一般 > アプリケーションの起動 にある [スタートページの表示] のチェックを外してください。

Foxit J-ReaderでPDFドキュメントを開く

以下のいずれかの操作を行います:

- ファイルメニュー > 開く、と操作するか、クイックアクセスツールバーの [開く] ボタン  をクリックします。次に [ファイルを開く] ダイアログで、PDFドキュメントのファイル名を選び、[開く] ボタンをクリックします。PDFドキュメントは通常、.pdfという拡張子を持ったファイルになっています。
- PDFファイルをドラッグして、Foxit J-Readerのウインドウ中でドロップします。

ノート: Foxit J-Readerは、一度に複数のPDFドキュメントを開くことができます。一度に複数のファイルを開いた場合、各ファイルに対応するタブをクリックすると、閲覧するPDFドキュメントを切り替えることができます。PDFを一つだけ表示しているときは、タブは表示されません。

PDFドキュメントをデスクトップ、もしくは他のアプリケーションから開く

Foxit J-ReaderをPDFドキュメントのデフォルトの閲覧ソフトに設定している場合、以下のアプリケーションでPDFドキュメントを開くことができます：

- **Emailアプリケーション：**ほとんどのメールソフトで、メールに添付されているPDFドキュメントをダブルクリックして開くことができます。
- **Webアプリケーション：**Webブラウザ内でPDFファイルへのリンクをクリックすることにより、PDFドキュメントを開くことができます。
- **ファイルシステム：**ファイルシステムの中でPDFファイルをダブルクリックすると開くことができます。

ノート：Foxit J-Readerのウインドウの右下に、開いているドキュメントのページサイズが表示されます。例えば **145.27%** のようなイメージです。ページサイズの単位を変更する場合は [“単位”](#) を参照してください。

セキュリティで保護されたPDFドキュメントを開く

セキュリティ機能で保護されたPDFを受け取った時、そのドキュメントを開くためにパスワードが必要になる場合があります。また、保護されたドキュメントの中には、印刷、編集、コピー等が行えないように制限が加えられたものもあります。

- パスワードで保護されたPDFドキュメントを開く場合、パスワードを入力するように要求されます。
- 保護されたPDFに対してコピーや編集を試みた場合、該当機能やツールは無効となっており、グレーアウトしていることで確認できます。

Foxit J-Readerで最近開いたドキュメントの参照

[ファイル] のプルダウンメニューを開いて、最近開いたドキュメントのリストを簡単に参照する事が出来ます。Foxit J-Readerは、最近開いたPDFドキュメントのリストを表示します。リストから選択して、最近開いたドキュメントを参照できます。

ノート：最近使用したファイルのリストの数を変更するには、[“履歴の設定”](#) を参照してください。

PDFドキュメントの保存

Foxit J-ReaderはPDFドキュメントを保存する際に、さらに強力な機能を提供しています。PDFドキュメントを保存するために、追加ライセンス等は必要ありません。ファイルのセキュリティ設定で許可されていれば、PDFドキュメントに追加したコメントやフォー

ムフィールドを保存することができ、PDFドキュメントをテキスト形式で保存することも可能です。

PDFのコピーを保存

- ファイルメニュー > 名前を付けて保存、と操作します。
- [名前を付けて保存]ダイアログで、ファイル名と保存先のフォルダを入力し、[保存] ボタンをクリックします。

注釈やフォームの情報を保存

以下のいずれかの操作を実行します：

- ファイルメニュー > 上書き保存、と操作します。
- ファイルメニュー > 名前を付けて保存 > 保存先を選択し、ファイル名を入力 > 保存の対象として [文書と注釈] を選択 > [保存] ボタンをクリック、と操作します。

PDFをテキストファイルとして保存

- ファイルメニュー > 名前を付けて保存...と操作します。
- [名前を付けて保存]ダイアログの[ファイルの種類]より、[TXT ファイル(*.txt)] を選択します。
- 保存する範囲を選択します：
 - A. 文書全体を保存 - ドキュメント全体をテキストファイルで保存します。
 - B. 現在のページを保存 - 現在表示しているページだけをテキストファイルで保存します。
 - C. 範囲内のページを保存 - テキストファイルとして保存する範囲を指定できます。
 - D. ファイル名と保存先のフォルダを指定し、[保存] ボタンをクリックします。

ドキュメントを閉じる

PDF ドキュメントを閉じるためには、以下のいずれかの操作を行います：

- ファイルメニュー > 閉じる、と操作します。
- ショートカットキーの **Ctrl + W** を押下します。

Foxit J-Reader の終了

Foxit J-Reader の終了は、以下のいずれかの操作で行います：

- ファイルメニュー > 終了、と操作します。

- Foxit J-Reader ウィンドウの終了ボタン  をクリックします。
- ショートカットキーの Ctrl + Q を押下します。

ドキュメントの閲覧

複数タブ表示と複数ウィンドウ表示

Foxit J-Reader は PDF ドキュメントを参照する方法として、以下の方法を提供しています：マルチタブモード、シングルドキュメントモードです。

マルチタブモード

マルチタブモードでは、一つの Foxit J-Reader の中で複数の PDF ドキュメントを開くことができます。すでに PDF ドキュメントを開いている状態で、別の PDF ファイルをダブルクリックした時、そのファイルは同じウィンドウ内に開きます。

新しいタブを開く

新しいタブを開くには、PDF ファイルをダブルクリックするか、ファイルメニュー > 開く…と操作する、または Foxit J-Reader のツールバーで [開く] ボタン  をクリックします。

タブを閉じる

現在表示しているタブを閉じるには、以下のいずれかの操作を行ってください：

- タブの右端にある [閉じる] ボタン  をクリックします。
- タブをダブルクリックします。
- タブ上でマウスの中央のボタンをクリックします。
- タブを右クリックし、ポップアップメニューの、タブを閉じる、他のタブをすべて閉じる、左のタブを閉じる、右のタブを閉じる、のいずれかを選択します。
- ファイル > 閉じる、と操作します。

すべてのタブを同時に閉じるには、Foxit J-Reader のウィンドウの右上にある [閉じる] ボタン  をクリックする、またはタブバーの上で右クリックし [すべてのタブを閉じる] を選択する、もしくは ファイルメニュー > 終了、と操作します。

シングルドキュメントモード

シングルドキュメントモードでは、Foxit J-Readerが複数起動されます。ユーザが新し

いPDFドキュメントを開くためにPDFファイルをダブルクリックする都度、Foxit J-Readerは新しいウインドウを開きます。このモードは、異なるドキュメントを横に並べて参照する際に便利です。

- シングルドキュメントモードにするには、ファイルメニュー > 環境設定 > [文書] を選択、と操作し、次に [開き方の設定] 配下の [複数のインスタンスを許可] オプションを選択、と操作します。
- シングルドキュメントモードを無効にするには、ファイルメニュー > 環境設定 > [文書] を選択、と操作し、次に [開き方の設定] 配下の [複数のインスタンスを許可] オプションの選択解除、と操作します。

テキストビューワと閲覧モード

テキストビューワ

Foxit J-Reader のテキストビューワを使用すると、あらゆる PDF ドキュメントをテキストのみで表示することが出来ます。テキストビューワで見ることにより、イメージや表の間に分散しているテキストが再利用しやすくなります。テキストビューワの動作はメモ帳に似ていますが、ユーザーのニーズに応じて設定の調整も可能です。

テキストビューワモードに変更

以下のいずれかの操作を行います:

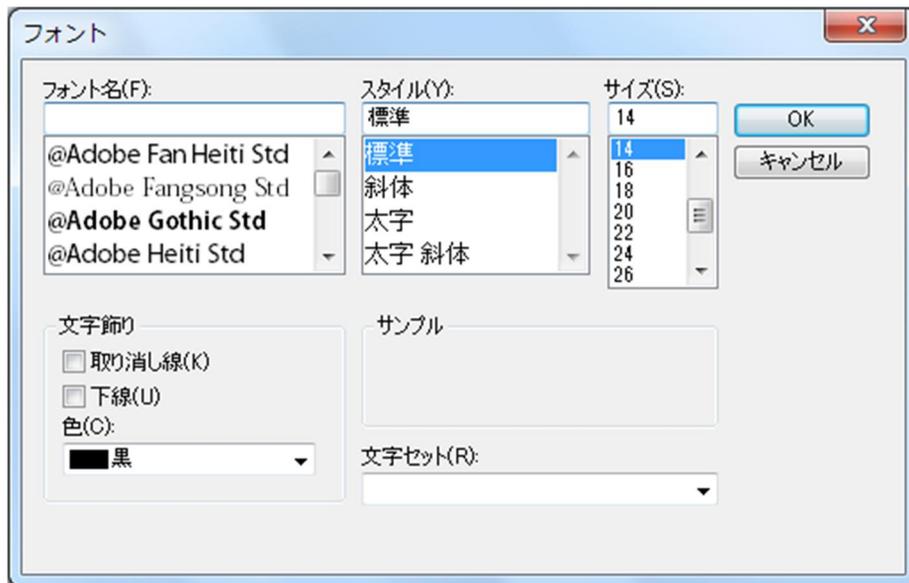
- テキストビューワアイコン  をクリックします。
- ショートカットキーの **Ctrl+6** を押下します。

テキストビューワのカスタマイズ

テキストビューワを起動すると、テキストビューワに関連するツール以外は使用できません。また、右クリックで設定メニューが表示されるようになります。このテキストビューワの設定メニューは、通常の状態では表示されません。テキストビューワを起動した状態で、右クリックすることで選択できます。

1. テキストビューワモードのフォントを変更

- テキストエリアで右クリックし、ポップアップメニューより、フォント設定 > フォント... と操作します。
- [フォント] ダイアログで、フォント名、スタイル、サイズ、文字飾り、色、および文字セットを設定します。最適な表示は **Courier New** です。



ノート: [フォント] ダイアログを使用すると、テキストビューワで使用できるフォントの属性を全て変更することが出来ます。また、テキストエリアのポップアップメニューで、色の変更、および通常、ボールド、イタリックの切り替えが出来ます。

2. 通常とボールドの切り替え

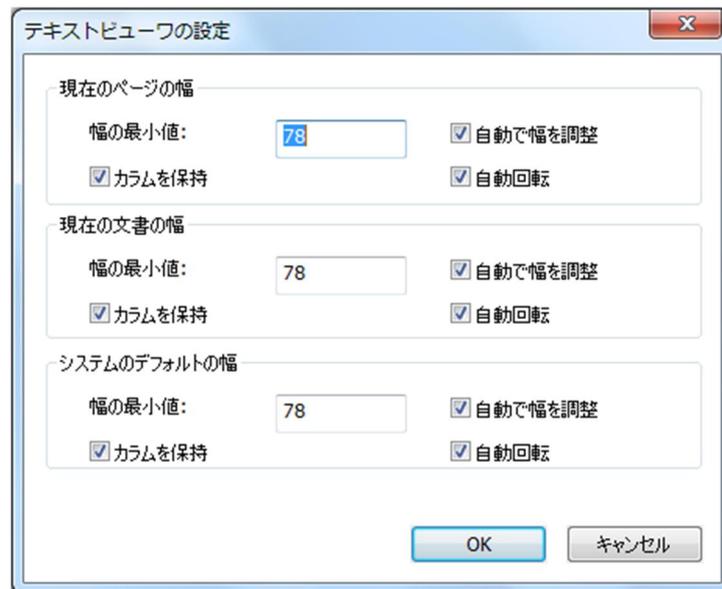
テキスト上で右クリックして、ポップアップメニューより、フォント設定 > ボールド、と操作します。

3. 通常とイタリックの切り替え

テキスト上で右クリックして、ポップアップメニューより、フォント設定 > イタリック、と操作します。

4. テキストビューワの環境設定

- テキスト上で右クリックし、ポップアップメニューの [設定...] を選択します。
- [テキストビューワの設定] ダイアログが開きます。



- テキストビューワの設定：
 - A. ページの幅を3つの異なるレベルで設定：[現在のページの幅]、[現在の文書の幅]、および [システムのデフォルトの幅]
 - B. 幅の最小値 - このフィールドの有効値は0 - 1024で、デフォルト値は78です。
 - C. カラムを保持 - PDF テーブルやテキストカラムについて、[カラムを保持] を選択すると、テキストビューワモードで列を適切に維持できます。デフォルト値は選択されています。
 - D. 自動で幅を調整 - PDF テーブルやテキストカラムについて、[自動で幅を調整] を選択すると、テキスト間の幅が適切な値に自動設定されます。デフォルト値は選択されています。
 - E. 自動回転 - [自動回転] にチェックすると、プリンタの方向と矛盾の無いようページを回転します。デフォルト設定では選択されています。

テキストビューワモードのナビゲーション

1. 次のページ、または前のページに移動

以下のいずれかの操作を行います：

- 表示メニューのアイコン ▶ または ◀ をクリックします。
- ステータスバーの [前のページ] アイコン ◀ または [次のページ] アイコン ▶ をクリックします。
- ドキュメントペインにカーソルを移動し、左の矢印キーを押下すると前のページに戻り、右の矢印キーを押下すると次のページに進みます。
- スペースキー、または Shift + スペースキーで、次のページ、または前のページ

に移動します。

2. 先頭のページ、または最後のページに移動

以下のいずれかの操作を行います：

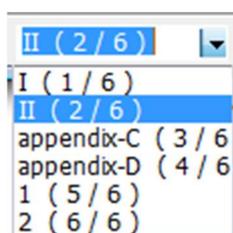
- 表示メニューのアイコン ◀ または ▶ をクリックします。
- ステータスバーの [最初のページ] アイコン ◀◀ または [最後のページ] アイコン ▶▶ をクリックします。
- Homeキーを押下すると先頭のページに移動し、Endキーを押下すると最後のページに移動します。

3. 特定のページに移動

以下のいずれかの操作を行います：

- 表示メニュー > ページ移動アイコン ◀◀ 78 ▶▶ に指定のページを入力 > Enterを押下します。
- ステータスバーの[現在のページ番号] ボックス 5 (5 / 147) に移動先のページ番号を入力し、Enterを押下します。

ノート：開いているPDFドキュメントが論理的なページ番号を含んでいる場合、Foxit J-Readerは [現在のページ番号] ボックスに論理的なページ番号を表示できます。



ドキュメントの表示倍率の変更

表示メニュー > ズーム > ズームイン/ズームアウト、と操作するか、または表示メニュー > ズーム配下のメニューより表示倍率を選択します。

テキストビューワモードでのテキストの検索

テキスト検索は以下の操作で行います：

- ショートカットキー **Ctrl + F** を押下します。
- 検索ボックスにテキストを入力します。
- 検索に条件を付けるためオプションを選択します：
 - A. 完全に一致する語のみ — 単語単位で全体が一致するものを検索します。例えば、“Read” を検索する場合、“Reader” はヒットしません。
 - B. 大文字と小文字を区別 — 大文字と小文字を別の文字として、検索します。例えば “text” を検索している時、“TEXT” や “Text” はヒットしません。
 - C. しおりを含める — 検索対象にしおりを含めます。
 - D. 注釈を含める — 検索対象に注釈内容を含めます。
- **Press Enter** を押下すると、Foxit J-Reader は最初にヒットした検索語句のページにジャンプします。検索語句は、ハイライト表示されます。
- さらに **Enter** を繰り返し押下すると、続けて次の検索結果を表示します。

閲覧モード

閲覧モードとは、ナビゲーションペイン、ツールバー、ステータスバーを含むインターフェースを隠して PDF を表示させることで、ドキュメントの表示領域を最大化する機能です。ドキュメントペインを拡大し、閲覧に必要なメニューバーを表示しないことで、閲覧スペースの無駄を省きます。

閲覧モードでドキュメントを表示するには、以下より一つを選んで実行してください：

- 表示メニュー > 閲覧モードアイコン  をクリックする。
- ショートカットキー “Ctrl + H” を押下する。
- ドキュメントペインを右クリックして閲覧モードを選択する。

閲覧モードでは、ページ下部に簡易ツールバーがフロート表示されます。上書き保存、印刷、拡大/縮小など、基本的な機能で構成されたツールバーです。ページ下部にマウスカーソルを移動するとフロート表示され、利用することができます。

複数の PDF ファイルを開いている場合は、キーボードの “Ctrl + Tab” を押下することで、閲覧モードであっても他のドキュメントの表示に切り替えることができます。

音声読み上げ

音声読み上げは、テキストを音声に変換する (Text-to-Speech: TTS) ツールです。注釈テキストや、画像の代替テキスト、入力フォームを含む PDF 内のテキストを、声に出して読み上げます。この機能を使えばページを読まずに情報を得ることができるので、眼精疲労を効果的に緩和したり、該当コンテンツを聞きながら、他の事に目を向けたりすることが可能です。

音声読み上げを使用するには、以下の一つを実行してください：

- 通常モードでは、ツールバー領域で右クリック > 読み上げ を選択、またはメニ

ユーより、表示 > 音声読み上げ、と操作します。

- リボン表示の場合、表示メニュー > 読み上げツール  > 現在のページのみ読み上げ、または 文書の最後まで読み上げ と操作します。

読み上げの設定

ファイルメニュー > 環境設定 > 読み上げ、と操作します。

ページあるいは文書：

1. 現在表示されているページのみを読み上げる - アプリケーションウィンドウに表示されているページを読み上げます。
2. 文書全体を読み上げる - ドキュメントをページ順に読み上げます。
3. 大きな文書の場合、現在表示されているページのみを読み上げる - 大きな PDF を開いたときは、アプリケーションウィンドウに表示されているページのみ読み上げます。
4. 大きな文書の最低ページ数 -最低ページ数を設定します。ページ数が設定数を超えている場合、そのドキュメントは “大きな文書” として扱われます。

音声読み上げの動作

読み上げでは、[文書の最後まで読み上げ]、[現在のページのみ読み上げ]、[一時停止]、[停止]、[速度アップ]、[速度ダウン]、[ボリュームアップ]、[ボリュームダウン]を含む、簡単な読み上げのコントロールが用意されています。

ドキュメントを読み上げるには、以下の手順を実行してください：

- 表示メニュー > 支援リボンにある、読み上げツール  を選択します。
- 読み上げツールのドロップダウンメニューにて、ボリュームアップ/ボリュームダウンより読み上げの音量を調整します。
- 速度アップ/速度ダウンをクリックして読み上げ速度を調整します。
- ドロップダウンメニューの一時停止、またはツールバーの停止をクリックして、読み上げを停止/一時停止することができます。

音声読み上げでは、ご使用のシステムにインストールされている利用可能な合成音声を使用します。SAPI 5 対応のテキスト読み上げ (TTS) ツールや言語のアプリケーションがインストールされていれば、それらを選択して PDF ファイルを読み上げることが可能です。

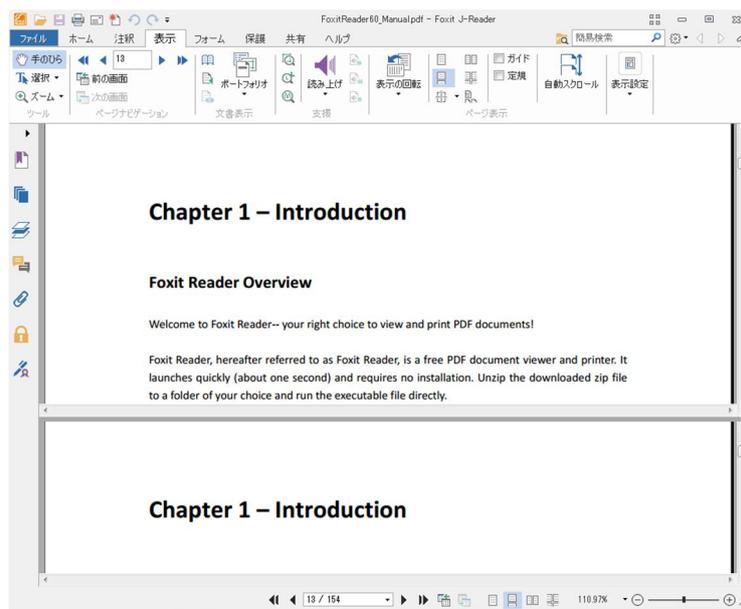
ノート：読み上げ機能はスクリーンリーダーとは別種のもので、また OS によっては対応できない場合があります。

ドキュメントを分割表示

分割表示機能により、ドキュメントペイン上でPDF文書を2つのペイン(分割)、または4つのペイン(スプレッドシート分割)に分割して閲覧することができます。

- 分割表示を使用すると、スクロール動作、ズームレベルの変更、そして他のペインの表示と無関係に別のページへ移動することが可能です。

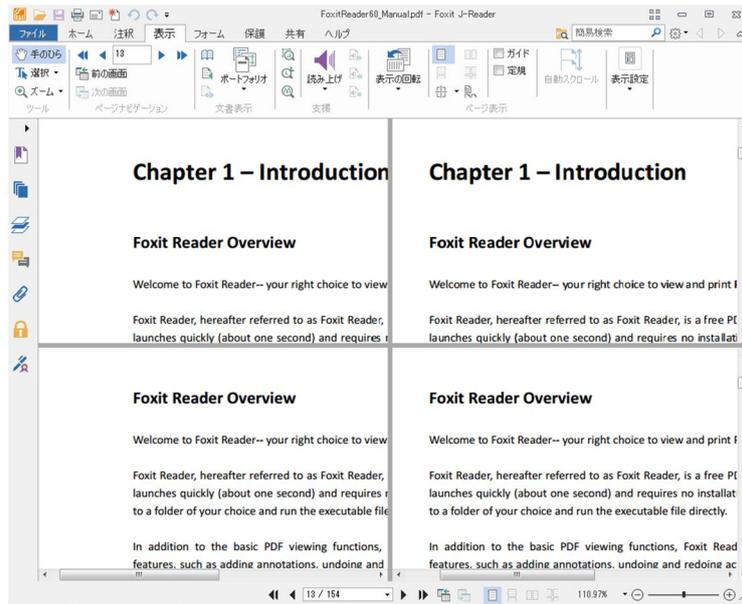
分割表示を使用するには、表示メニュー > ページ表示リボン > 分割ツール  > 分割、と操作してください。



- スプレッドシート分割を使用すれば、縦または横の見出しを表示させたまま、大きなスプレッドシートや表をスクロールさせることができます。この表示モードでは、一つのペインでズームレベルを変更すると、同時に他のペインのズームレベルも同様に変更されます。また、画面のスクロールも他のペイン間で調整されます。

ノート：下段のペイン上で、同一ページ内で縦方向へスクロールした場合、上段の2ペインはスクロールしません。しかし次のページへスクロールすると、上段のペインは次ページの同じ表示箇所へスキップします。横方向へスクロールした場合は、同列のペインが同様にスクロールします。隣の列はスクロールしません。

スプレッドシート分割を使用するには、表示メニュー > ページ表示リボン > 分割ツール  > スプレッドシート分割、と操作してください。



フルスクリーンモードとウィンドウサイズへの調整

フルスクリーンモード

フルスクリーンモードにすると、Foxit J-Readerのドキュメントペインが画面全体に表示され、メニューバー、ツールバー、ステータスバー、およびナビゲーションペインは非表示となります。マウスポインタはリンクのクリックが出来るよう、操作可能な状態を保ちます。

1. フルスクリーンモードに関する設定は、["フルスクリーンモードの設定"](#) を参照してください。
2. フルスクリーンモードにするには、以下のいずれかの操作を行ってください：
 - ツールバーの右側にあるフルスクリーンボタン  をクリックします。
 - ショートカットキーF11を押下します。
 - ドキュメントペインで右クリックして、フルスクリーンモードを選択します。
3. フルスクリーンモードでの表示状態を調整するには、ドキュメントを右クリックし、表示されるポップアップメニューを使用します。

ノート: この機能は、[環境設定] ダイアログで、[\[左クリックで次のページ、右クリックで前のページを表示\]](#) オプションを選択していない場合に有効です。

4. フルスクリーンモードを終了する場合：
 - Esc キー、またはショートカットキーF11を押下します。

ウィンドウサイズへの調整

以下の4つの方法から選択することができます:

- ドキュメントペインに完全に収まるようにページをリサイズするには、表示メニュー > ズーム > ページ全体を表示、と操作するか、またはドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの [ページ全体を表示] を選択します。
- ウィンドウの幅に合わせるようにリサイズするには、表示メニュー > ズーム > 幅に合わせる、と操作するか、もしくはドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの [幅に合わせる] を選択します。この操作を行うと、ページの一部が画面内に入りきらない場合もあります。
- ドキュメントの実際のサイズに合わせるには、表示メニュー > ズーム > 100%表示、と操作するか、もしくはドキュメントペインで右クリックし、ポップアップメニューの [100%表示] を選択します。
- ドキュメントを描画領域の幅に合わせるには、表示メニュー > ズーム > 描画領域の幅に合わせる、と操作します。

閲覧するドキュメントの調整

Foxit J-Reader は PDF ドキュメントの表示状態を調整するツールを、複数提供しています。例えば、ズームイン、ズームアウトのようなシンプルなものから、ページレイアウトの設定やページの向きを変更するような、もう少し高度なツールまであります。他のセッティングに関しては ["環境設定"](#) を参照ください。

ドキュメントの向きを変える

回転ツールを使用することにより、ドキュメントの向きを簡単に縦向き/横向きに変更することが出来ます。

- 表示メニュー > ページ表示リボンの [回転表示] をクリック > [左回転]、[右回転] を選択し、クリックします。

ノート: 画面表示は90° 単位に変更することが出来ますが、画面表示上の変更であり実際のドキュメントの向きは変更されません。また、変更結果を保存する事もできません。

ドキュメントの表示倍率を変える

以下のいずれかの操作を行います:

1. 表示メニュー > ズーム > ズームイン/ズームアウト、と操作します。

2. ステータスバー上の表示倍率エリア  にて、倍率を決定します。

3. 表示メニュー > ズーム > ドロップダウンメニューより表示倍率を選択します。

4. ドキュメントペンで右クリック > ズームイン/ズームアウトを選択します。

5. ルーペツールを使用:

- 表示メニュー、支援リボンの [ルーペツール]  を選択します。
- ドキュメント内の参照したい部分にルーペツールを移動すると、拡大/縮小したオブジェクトが、 [ルーペツール] ダイアログ内に表示されます。
- (オプション) [ルーペツール] ダイアログ内の [ロック] オプションにチェックし、ドキュメント内の参照する部分や周辺をクリックすると、赤い色の四角形がドキュメント内に表示され、ルーペツールに表示されているエリアを示します。この四角形をドラッグするか、リサイズすることにより、ルーペツールの表示範囲や表示倍率を変更できます。
- ルーペツールの倍率を変換するために、ズームテキストボックスに直接値を入力するか、ルーペツールダイアログボックス内のスライダーをドラッグして表示倍率を選ぶことができます。

6. 拡大鏡を使用:

Foxit J-Readerを使用すると、PDFドキュメントの任意のエリアを、簡単に拡大して表示することが出来ます。この機能は視力に障害のある方に特に有効です。



- 表示メニュー、支援リボンの [拡大鏡]  を選択します。
- 参照したい位置に拡大鏡を移動します。
- 拡大鏡と魚眼レンズを切り替えるには、マウスの左ボタンをクリックします。
- 拡大鏡のサイズを変更するには、マウスの右ボタンをクリックします。
- 拡大鏡を終了するには、他のツールを選択するか、ESCキーを押下する、もしくはその状態から直接手のひらツールを選択します。

ページ表示の変更

ページ表示の変更は、ドキュメントのレイアウトを見るためにズームアウトした場合などに特に有効です。Foxit J-Readerは以下のようなページレイアウトを提供しています：

- 単一ページ表示 - ドキュメントペインの中に、一度に1ページだけを表示します。
- スクロールを有効にする - ドキュメントペインの中で、縦方向に連続してページを表示します。
- 見開きページ表示 - ドキュメントペインの中に横に並べて2ページを表示します。
- 見開きページでスクロール - 2ページを横に並べ、縦に連続して表示します。
- 見開きページ表示で表紙を表示 - 見開きページ表示で、表紙ページを単独表示します。

このモードでは、ドキュメントが2ページ以上ある場合、[見開きページ] または [見開きページでスクロール] で表示の際に、先頭ページをドキュメントペインの右側に単独で表示することができます。

先頭ページだけを右側に単独で表示するには、[見開きページ] または [見開きページでスクロール] で表示中に、表示メニュー > ページ表示リボンの、見開きページ

表示で表紙を表示  を選択してください。

ページ表示の設定は以下の操作をおこなってください：

- 表示メニューで任意のページ表示モードを選択します。
- ステータスバーの [単一ページ] ボタン 、[スクロールを有効にする] ボタン 、
[見開きページ] ボタン 、[見開きページでスクロール] ボタン  をクリックします。

ドキュメント内のナビゲーション

Foxit J-ReaderはPDFドキュメント内をナビゲーションするために、ユーザの使いやすさを考えたコントロールを提供しています。ユーザは、ページ送りやナビゲーションツールを使用してPDFドキュメント内をナビゲーションする事が出来ます。

ドキュメントのスクロール

1. ドキュメント内をナビゲーションする

以下のいずれかの操作を行ってください：

- **マウスまたはキーボードによる操作**

マウスホイールをスクロールするか、上下の矢印キーを押してドキュメント内をナビゲートします。

- **自動スクロール**

自動スクロールは、ユーザがマウス操作やキーボード操作を行わずドキュメントを閲覧できるようにする機能です。スクロールのスピードを簡単に変更することができます。

A. 表示メニューより、ツールバーにある自動スクロール  をクリックします。

B. 以下のいずれかの操作を行います：

- 自動スクロールのスピードを変えるには、上下の矢印キーを使用します。上方向にスクロールしている場合、遅くするには上向きの矢印キー、早くするには下向きの矢印キーを押下します。下方向にスクロールしている場合は、それぞれ逆の操作を行います。

- 自動スクロールの方向を変えるには、マイナスキー (-) を押下します。

- 次のページ、あるいは前のページにジャンプするには、**Space** (スペースキー) または、**Shift + Space** (スペースキー) を押下します。

- 自動スクロールを終了するには、再度自動スクロール  をクリックします。

- 自動スクロールを一時停止するには、**Space** (スペースキー) を押下します。

ヒント1: 自動スクロールを行うには、手のひらツール  をクリックし、マウスのセンターボタン、もしくはホイールマウスボタンを押下して、マウスをスクロールする方向に移動します。

ヒント2: 手のひらツール  モードに戻るには、**Space** (スペースキー) を押下します。

2. 前後のページに移動する

以下のいずれかの操作を行います：

- 表示メニューより [前のページ] アイコン 、または [次のページ] アイコン 

をクリック、もしくはステータスバーの  または  をクリックします。

- カーソルをドキュメントペインに置き、キーボードの **Page Up** キー、あるいは **Page Down** キーを押下します。

- カーソルをドキュメントペインに置き、左右の矢印キーを押下します。

- **Space** (スペースキー) を押下すると次のページに移動し、**Shift + Space** キーの押下で前のページに移動します。

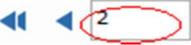
3. 先頭のページまたは最後のページに移動する

以下のいずれかの操作を行います:

- 表示メニューより [最初のページ] アイコン  または [最後のページ] アイコン  をクリック、もしくはステータスバーの  または  をクリックします。
- HomeキーあるいはEndキーを押下します。

4. 特定のページに移動する

以下のいずれかの操作を行います:

- 表示メニューにある、[現在のページ番号] ボックス  に移動先のページ番号を入力し、Enterキーを押下します。
- ステータスバーの [現在のページ番号] ボックス  にて、移動先の番号を入力、または選択して、Enterキーを押下します。

ノート: 開いているドキュメントに論理的なページ番号がふられている場合、Foxit J-Reader は、 [現在のページ番号] ボックスにそのページを表示します。

5. 閲覧したページのトレース

- 直前に参照したページに移動するには、ステータスバーの前の画面ボタン  、直後に参照したページに移動するには、次の画面ボタン  をクリックします。
- 表示メニューより、前の画面、または次の画面、と操作します。

しおりによるナビゲーション

しおりのパネルは、ドキュメント内にあるしおりのリストを表示します。通常は、ドキュメント内の章を代表するコンテンツ、見出し、その他の構成要素などの一覧になります。

1. しおりの表示/非表示は、以下のいずれかの操作で設定します:

- 表示メニュー > ナビゲーションパネル > しおり、と操作します。
- ナビゲーションペインにあるしおりボタン  をクリックします。
- ナビゲーションペインの右上にあるボタン  をクリックすると、ナビゲーションペインを開いたりたたんだりできます。

2. 各トピックにジャンプするには、しおりをクリックするか、またはしおりを右クリッ

クシポップアップメニューの[指定の場所へ移動]を選択します。プラスマーク (+) もしくはマイナスマーク (-) をクリックすると、当該しおりの下にあるしおり一覧を開閉することができます。

ヒント: When PDFドキュメント全体をナビゲーションする時、ドキュメントペインに表示されているページに対応するしおりの項目がハイライト表示されます。

3. 現在のしおりを展開する

PDFドキュメントの開いているページのしお리를 選択するには、ブックマークペインの上部にある [しおりの展開] ボタン  をクリックします。

上位のしおりが閉じて対象のしおりが隠れている場合は、上位のしおりが展開され、現在のページに最も近いしおりがハイライト表示されますので、ユーザはカレントページに対応するしおりを確認することができます。

サムネールによるナビゲーション

ページサムネールは、PDFページの縮小版です。サムネールはドキュメント各ページの縮小されたプレビューを提供し、閲覧とページの識別を容易にします。サムネール内の赤い四角形は、ページ内でドキュメントペインに表示されている部分を表しています。

A. サムネールの表示と非表示を切り替えるには、以下のいずれかの操作を行ってください:

- 表示メニュー > ナビゲーションパネル > ページサムネール、と操作します。
- ナビゲーションペインにある、サムネールボタン  をクリックします。
- ナビゲーションペインの右上にあるボタン  をクリックすると、ナビゲーションペインを開いたりたたんだりできます。

B. サムネールを使用してナビゲーションする場合は、以下のいずれかの操作を行います:

- サムネールをクリックすると、そのページにジャンプします。
- サムネール内の赤い四角形をドラッグすると、そのページ内で表示している場所を変更することができます。
- 現在表示しているページの表示エリアを拡張 (あるいは縮小) するには、赤い四角形の右下をドラッグします。
- サムネール上で右クリックし、ポップアップメニューの[サムネール画像を拡大]、または [サムネール画像を縮小] をクリックすると、サムネールのサイズを変更することができます。

C. 単一ページ表示では、ページのスクロールバーをドラッグするとページサムネールが表示されます。

1. サムネールのアクションを追加するには、["しおりにアクションを追加"](#) を参照してください。
2. **Ctrl+クリック**、または**Shift+クリック**で、複数のページサムネールを選択することができます。

リンクによるナビゲーション

リンクは、閲覧中のドキュメントの別の場所や、別のドキュメント、そして **Web** サイトへの移動ができる機能です。PDF ドキュメント内でリンクをクリックするのも、別のアプリケーションの中でリンクをクリックするのと同じです。以下の手順でリンク先に移動することができます：

- 手のひらツール  を選択します。
- マウスポインタをリンクの上に移動すると、ポインタの形がポインティングフィンガー  に変わるので、その後リンクをクリックします。

テキスト検索

Foxit J-Reader は、テキスト検索のための使いやすいツールを提供しています。PDF ファイル内は勿論、フォルダやディスク、そしてインターネットを対象として検索することも出来ます。また、検索時のオプション設定により、検索に条件を設けることも出来ます。

開いている PDF のテキスト検索

テキスト検索をするには、以下の操作を行ってください：

- 画面右上の検索用テキストボックス に、検索する文字を入力します。
- 前を検索、または次を検索ツール   をクリックして、該当箇所に移動します。
- (検索オプション) 検索ボックスの右側にあるフィルタ  のドロップダウンメニューより、検索時のオプションを選択して、検索に制限を設定します：
 - A. 完全に一致する語のみ -- 検索しているテキストと完全一致するものだけを対象とします。例えば、"Read" というテキストを検索した場合、"Reader" はヒットしません。
 - B. 大文字と小文字を区別 -- 大文字と小文字を区別します。例えば、"text" というテキストを検索した場合、"TEXT" や "Text" はヒットしません。

- C. しおりを含める -- テキスト検索の範囲にしおりを含めます。
- D. 注釈を含める -- テキスト検索の範囲に注釈を含めます。

ノート: C と D のオプションは、現在開いている PDF 文書の検索、および高度な検索を実行する場合に、有効になります。

- **Foxit J-Reader** は最初にヒットしたテキストの位置までジャンプし、対象をハイライト表示します。
- エンターキーを繰り返し押下するか、またはショートカットキーの **F3** を押下すると、検索を続けます。

高度な検索

検索機能を使用して、一つの PDF ファイルだけでなく、指定されたフォルダ内の複数の PDF ファイルを対象として検索することが出来ます。検索が終了するとヒットしたものがすべてツリービューに表示されます。ユーザはリスト全体をプレビューし、検索結果から特定の位置にジャンプすることが出来ます。

1. テキストの検索

テキストを検索するには、以下の操作を行います:

- 検索ボックス横の検索ツール  をクリックします。
- ドキュメントペインの右側に検索ボックスが表示されます。検索したいテキストを入力してください。
- “検索する場所を指定してください” の下にある以下にチェックをして、検索場所を絞ることができます。
 - A. 表示中のドキュメント内を検索する場合、[現在の文書] オプションを選択します。
 - B. 特定のフォルダ内のすべての PDF、またはディスク内すべてを検索する場合は、[以下の場所にあるすべての PDF 文書] オプションを選択し、任意のパスを指定します。
 - C. テキストをインターネットで検索する場合は、[インターネット] を選択します。
 - D. PDF ポートフォリオ内の選択ドキュメントを検索する場合は、[PDF ポートフォリオ内の選択した文書] を選択します。
 - E. PDF ポートフォリオ全体を検索する場合は、[PDF ポートフォリオ全体] を検索します。

検索するテキストのパス以外にも、検索オプションの設定が可能です。

- A. 検索するテキストと完全に一致したものだけにヒットするよう、検索に制限をかけるには、[完全に一致する語のみ] オプションを選択します。この場合、例え

ば “Read” を検索する場合、“Reader” はヒットしません。

- B. 大文字と小文字を区別して検索するには、[大文字と小文字を区別] オプションを選択します。この場合例えば、“text” を検索すると、“TEXT” や “Text” はヒットしません。
- C. 検索対象に注釈を含める場合は、[注釈を含める] を選択します。

- [検索] ボタンをクリックします。
- 検索結果はページ順に表れます。それぞれの項目は、検索結果と前後関係のわかる数語から出来ており、アイコンは検索結果のタイプを表しています。プラスサイン(+) をクリックすると、検索結果のリストが展開されます。次に、検索結果の一つを選んで、PDF 文書の内容を参照します。
- (オプション) 検索の実行後、新たに検索を行うには、[新規検索] ボタンをクリックしてください。

2. 検索ボックスの移動とリサイズ

検索ボックスはフロート化することも出来ますし、ウインドウ内で固定して使用することも出来ます。また、リサイズも簡単に行えます。

- 検索ボックスをフロートにするには、タイトルバーをダブルクリックするか、タイトルバーをドラッグして移動します。
- フロート化した検索ボックスを移動するには、タイトルバーを任意の位置までドラッグします。
- 検索ボックスをリサイズするには、検索パネルの枠やコーナーをドラッグします。
- フロート化している検索ボックスをウインドウ内に固定するには、タイトルバーをダブルクリックするか、タイトルバーをドラッグして元の位置に戻します。

インターネットでの検索

Foxit J-Reader はインターネットでのキーワード検索をサポートしています。テキストを選択してポップアップ検索アイコンをクリックするか、選択したテキストをドラッグして検索ボックスにドロップすると、インターネット上の関連情報を検索することができます。

インターネットでの検索を実行するには、以下のいずれかの操作を行ってください:

- 検索ボックスを使用する場合
検索するテキストをテキストボックスに入力し、[インターネット] オプションを選択して、[検索] ボタンをクリックします。
- ポップアップ検索アイコンを使用する場合

テキスト選択ツール  で検索するテキストを選択し、表示された検索アイコン



をクリックします。

- クイック検索機能を使用する場合



テキスト選択ツールで検索したいテキストを選択し、検索ボックスまでドラッグしてドロップします。



ノート: To インターネット検索の設定を変更するには、テキスト選択ツールを使用してテキストを選択した時、検索アイコンの隣に表示される [設定] アイコンをクリックしてください。操作の詳細や設定の変更方法は ["インターネット検索の設定"](#) を参照してください。

動画やサウンドの再生

PDF は、多様なマルチメディアをサポートし、再生を可能とするように拡張されてきました。サウンド、音楽、ビデオクリップなど、多種類のマルチメディアを含む PDF ファイルもあります。各ムービーやサウンドファイルはプレイエリアをもっており、そこからメディアが実行されます。プレイエリアは、イメージまたは空白の四角形として PDF 上に設定されており、非表示にして見えなくする事も出来ます。また、メディアファイルを再生するには、コンピュータにメディアプレイヤーがインストールされている必要がありますのでご注意ください。

動画やサウンドを再生するには、以下の操作を行ってください:



- [手のひら] ツールを選択し、ムービーあるいはサウンドファイルのプレイエリアをクリックします。マウスポインタがプレイエリアの上になると、プレイモードのアイコンが変わります。

ノート: コンピュータをウイルスから保護するために、Foxit J-Reader はマルチメディアファイルの再生の前にダイアログを開き、実行するかしないかを確認します。

詳細は ["マルチメディアの追加"](#) を参照してください。

日本語などアジアの言語を含む PDF の処理

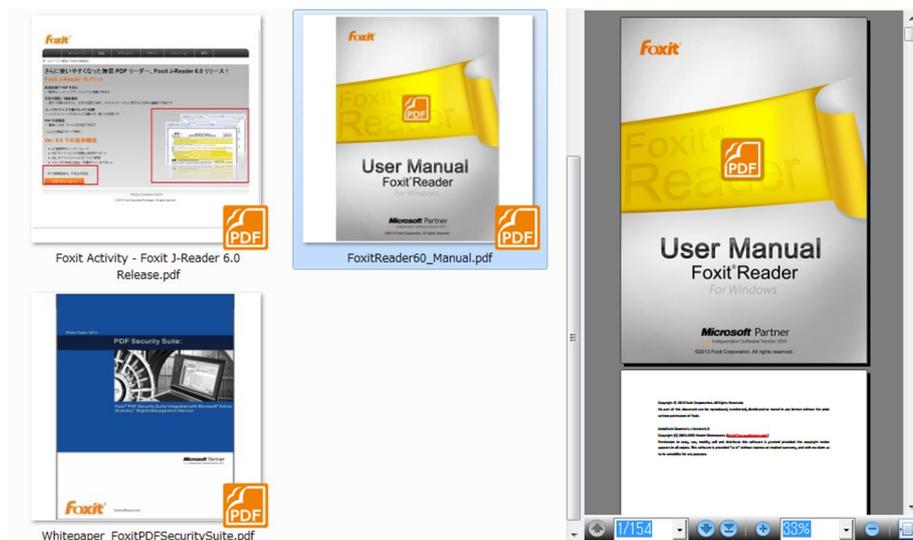
対応する言語フォントがインストールされていないPDFドキュメントを開いた場合、必要なフォントセットをダウンロードしてインストールするように、メッセージが自動的に開

きます。例えば東アジア言語のフォントセットのインストールが完了すると、日本語、中国語、および韓国語のPDFドキュメントの表示、検索、印刷等が可能になります。

ノート: 特定の言語で作成されたPDFドキュメントを開くには、対応する言語のフォントセットをFoxit J-Readerのアプリケーションファイル (Foxit Reader.exe) と同じディレクトリにインストールする必要があります。なお、Foxit J-Readerにはデフォルトで Eastern Asian Language Support (東アジア言語のフォントセット) がインストールされています。

Windowsでのサムネール表示

Foxit J-Reader をデフォルトの PDF リーダーとしてインストールすると、Windows のフォルダを開いた時、PDF ファイルのアイコンとして Foxit J-Reader のアイコンではなく、その PDF のサムネールが表示されます。



ノート: 現在この機能は、32 bit の Windows OS、および Windows 7 64bit でのみサポートされています。

第四章 – PDF ドキュメントの操作

Foxit J-Reader を使用すれば、テキストやイメージを他のアプリケーションにコピー、Facebook でドキュメントを共有、PDF にスタンプを追加することができます。この章では上記のような内容について説明します。

選択とコピー

Foxit J-Reader を使用して、テキストやイメージを他のアプリケーションにコピーして利用することができます。

テキストのコピー

テキスト選択ツールは、PDF ドキュメント内のテキストを、水平方向にも垂直方向にも選択可能です。テキストをコピーするためには、ホームメニューのツールリボンより [テ

キスト選択] ツール  を選択し、以下の操作を行います：

テキストの選択

- テキストを 1 行選択する：選択したい行に沿ってマウスカーソル  を移動します。
- カラム単位でテキストを選択：カーソルを行の間に置き、カラムに沿って四角形を描くようにカーソルを移動します。
- 単語の選択：選択したい単語の上でダブルクリックします。
- ページを越えて複数の段落を選択：選択を開始する場所でマウスをクリックし、マウスボタンを押したまま選択を終了する場所までスクロールします。
- すべてのテキストを選択：Ctrl + A を押下するか、または任意のテキストを選択し右クリックしてポップアップメニューの [すべてを選択] を選択します。
- テキストの選択解除：選択したテキストの以外の領域をクリックします。

テキストのコピー

テキストを選択した後、以下のいずれかの操作を行います：

- 選択したテキストの上で右クリックし、ポップアップメニューの [コピー] を選択します。
- ショートカットキーの Ctrl + C を押下します。

テキストの貼り付け

クリップボードにコピーしたテキストを別のアプリケーションで張り付けるには、そのアプリケーションの貼り付けコマンドに従ってください。

画像のコピー

個別の画像を PDF からクリップボードにコピーし、別のアプリケーションや別のファイルに貼り付けることができます。

画像のスナップショットを取得

画像をコピーする場合、[スナップショット] ツール  を使用します。

- ホームメニュー > ツールリボンにあるスナップショットツール、と操作するとポインタが十字  に変わります。
- スナップショットを取得する画像の周囲を四角形で囲むよう、マウスをドラッグします。
- 選択した領域をクリップボードにコピーする旨、メッセージが表示されます。
- (オプション) 選択したエリア内で右クリックし、ポップアップメニューの [選択した領域をコピー] を選択します。
- 他のアプリケーションで、コピーした画像を貼り付けます。

ページのスナップショットを取得

ページ全体をコピーする際にも、[スナップショット] ツール  を使用することができます。この場合、画像とテキストがともに画像としてコピーされます。

- ホームメニューにある、[スナップショット] ツールを選択します。
- ドラッグしてコンテンツを選択するか、ページ内の任意の位置で右クリックし、ポップアップメニューの [すべてを選択] を選択します。

選択を解除するには、ページ内の任意の位置をクリックします。

- 「選択した領域をクリップボードにコピーします」というメッセージが開きますので、[OK] ボタンをクリックします。
- (オプション) 選択したエリア内で右クリックし、ポップアップメニューの [選択した領域をコピー] を選択します。
- 他のアプリケーションの画面で、コピーした画像を貼り付けます。

ノート: 選択されたエリアは青色でハイライト表示されます。

テキストと画像の組み合わせを画像としてコピー

スナップショットツールは、選択したコンテンツ（テキスト、画像、または両方）すべてを、クリップボードや他のアプリケーションにコピーする場合にも使用できます。この場合、テキストも画像もすべて画像としてコピーされます。

テキストと画像の組み合わせを画像としてコピーするには以下の操作を行ってください：

- ホームメニューより、スナップショットツールを選択します。
- コピーの対象となる画像とテキストの周りをドラッグして四角形で囲みます。
- 選択した領域をクリップボードにコピーしますというメッセージが開きますので、[OK] をクリックします。
- (オプション) 選択したエリアで右クリックし、ポップアップメニューの [選択した領域をコピー] を選択します。
- 選択した画像を別のアプリケーションで貼り付けます。

レイヤの操作

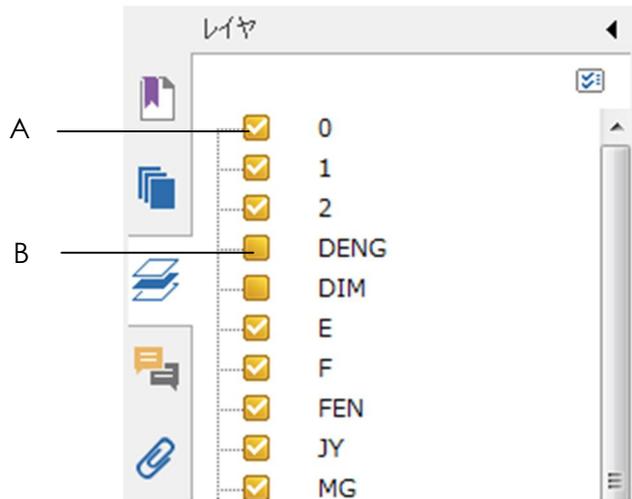
PDF のレイヤについて

Optional Content Groups (OCG) と言った方がよく知られていますが、レイヤは PDF ビューワのユーザが、ダイナミックに表示と非表示を設定できる、グラフィックの集合を意味する名前です。PDF ファイルでは、各レイヤにはドキュメントのオブジェクトの構成部品が配置されており、レイヤの表示/非表示とオブジェクトの表示/非表示を組み合わせた設定が可能です。

Foxit J-Reader では、レイヤパネルを使用して PDF レイヤの表示をコントロールすることができます。例えば、背景のイメージを、メインのコンテンツエリア、トップレベルとの中間にある広告用のエリアに分割するということが可能です。そして、他の人に見せたくないレイヤは、簡単に非表示にすることができます。

PDF のレイヤの表示/非表示

PDF ファイルでは、任意の情報を異なるレイヤに配置することができます。ワークエリアの左端にあるレイヤパネルを参照するだけで、異なるレイヤに配置されている関連するコンテンツの表示/非表示を設定することができます。残念ながら Foxit J-Reader にはレイヤの作成や編集のための機能はありません。しかし PDF ファイルのレイヤを参照して、そのレイヤに配置されているコンテンツの表示と非表示を設定する事は可能です。



レイヤパネル

A. チェックマークが表示状態のレイヤ **B.** 非表示のレイヤ

1. レイヤパネルを開き、以下のいずれかの操作を行います:

- レイヤ名の左にあるチェックボックスのチェックをはずすと非表示になります。
- チェックボックスにチェックマークをつけるとレイヤが表示されます。

2. レイヤパネル右上のオプション  から、下記のいずれかを選択します:

- すべてのページのレイヤー一覧 - ドキュメントのすべてのページにわたり、レイヤを表示します。
- 可視レイヤのみ表示 - 現在表示されているページのレイヤを表示します。
- 初期表示にリセット - レイヤの状態をデフォルトの設定に戻します。
- すべて展開 - レイヤの階層をすべて表示します。
- すべて閉じる - レイヤの階層をすべて折りたたんだ状態にします。

オブジェクトの計測

計測ツールは、PDF ドキュメント内のオブジェクトの大きさや距離を測る機能です。計測ツールは、フォームや CAD によるデザインに含まれるオブジェクトのサイズや距離、エリアの面積等を知る必要がある場合、また印刷前に実際の面積を知りたい場合などに非常に有用です。計測ツールが Foxit J-Reader のユーザーに有効になるのは、PDF の作成者が計測ツールを許可している場合です。

計測ツールを使用するとそのツールのダイアログが開き、線を描くたびに線の長さ等を表示します。

オブジェクトの計測

- 注釈メニューの、計測リボンで選択します。
- 2点の長さを測るには、[距離] ツール  を選択します。最初の点をクリックし、2番目の点にポインタを移動して再度クリックすると、2点間の長さが表示されます。
- 複数のポイント間の距離の合計を測るには [周囲の長さ] ツール  を選択します。最初の点をクリックし、続いて各ポイントをクリックして、最後のポイントでダブルクリックします。
- 線で囲った範囲の面積を測るには [面積] ツール  を選択します。最初の点をクリックし、続いて各ポイントをクリックします。二つ以上のポイントをクリックした後、最初の点をクリックするか、または最後の点でダブルクリックします。

ノート: 操作の途中で右クリックし、ポップアップメニューの [計測を完了] を選択すると、その時点で操作が完了します。また、ポップアップメニューの [計測をキャンセル] を選択すると、そこまでの操作をキャンセルすることができます。

計測ツールを選択した後、ポップアップダイアログで以下のいずれかの操作を行います:

- スケール比 (1 : 2 など) を変更するには、その計測ツールのダイアログで適切な数値を入力します。必要であれば、隣にある単位も変更します。
- 計測ツールダイアログの [計測結果を残す] オプションを選択すると、計測のために描いた線を、注釈としてドキュメント内に表示することが出来ます。[手のひら] ツールを選択してドキュメント内に表示されている計測結果の上にマウスポインタを移動すると、計測値や追加した注釈を見ることができます。

ノート: 計測のために描いた線は、計測ツールダイアログの [計測結果を残す] オプションを選択していない状態では、画面には表示されません。

計測オブジェクトの操作

計測が終了した後、描いた線に対して、移動、リサイズ、反転、およびノート注釈の追加などの操作を行うことができます。

計測オブジェクトの移動

- [手のひら] ツール 、または [注釈選択] ツール  を選択し、移動するオブジェクトをクリックします。
- カーソルを計測オブジェクトの上に移動し、ポインタが  に変わったとき、マウス

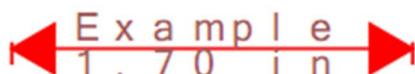
をクリックし、オブジェクトを目的の場所までドラッグします。

線の長さや方向の変更

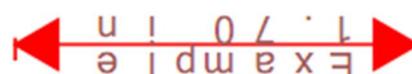
- [手のひら] ツール 、または [注釈選択] ツール  を選択し、計測オブジェクトを選択します。マウスポインタを任意のリサイズコーナー  上に移動すると、マウスポインタが  に変わります。
- マウスをクリックしてドラッグし、線の長さや向きを変更します。

計測結果と注釈の反転

計測結果と注釈を反転することができます。



反転前



反転後

以下の操作で計測結果と注釈の反転を行います：

- [手のひら] ツール 、または [注釈選択] ツール  を選択します。
- 対象の計測オブジェクトを右クリックして、ポップアップメニューの [反転] を選択します。

計測オブジェクトをコメントとして操作

計測オブジェクトは、コメントとして使用することができます。他の注釈と同様に、ポップアップメニューから、[ステータスを設定]、[ポップアップノートを開く]、[削除]、[返信] や、[プロパティ…]、[現在のプロパティをデフォルトとして使用] 等のコマンドを実行することが出来ます。

ノート： 計測結果を表示する場合は、計測オブジェクトを右クリックし、ポップアップメニューより、プロパティ > [表示方法] タブ > [テキストを表示] オプションをチェック、と操作します。

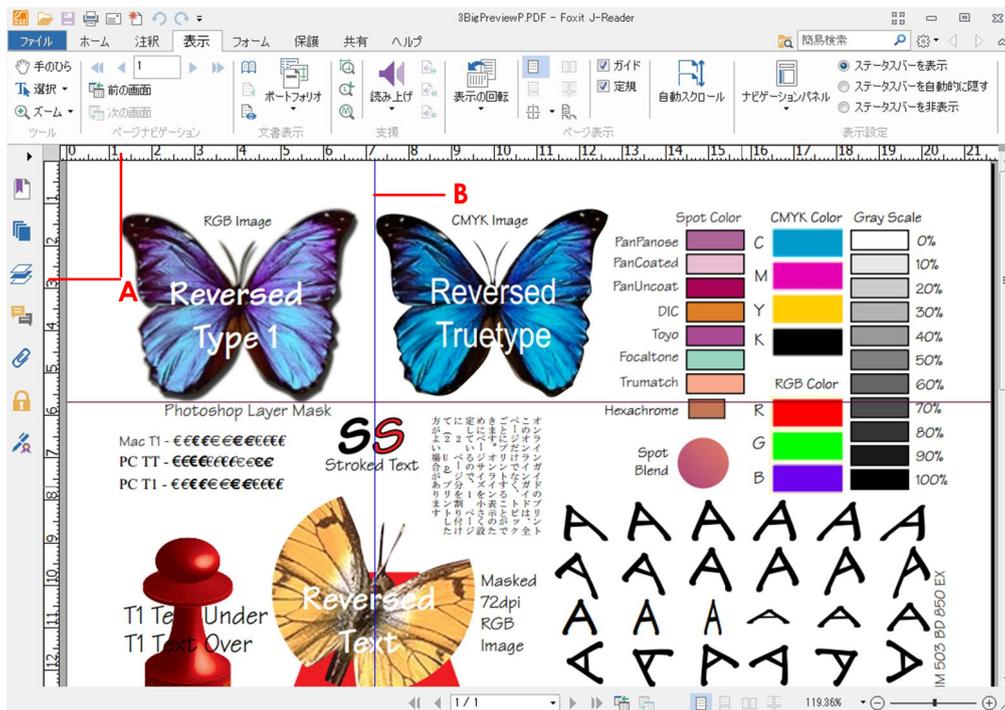
計測オブジェクトをコメントとして操作する方法については、[「第五章 - 注釈」](#) を参照してください。

ツールバーの設定

Foxit J-Reader の基本的なツールバー構成には、検索ツール、手のひらツール、テキスト選択ツール、スナップショットツール、タイプライタツールなどが含まれます。ユーザはメニューバーから表示を選択して各ツールバーを表示/非表示することにより、この基本的な構成を組替えることができます。一度に設定可能な構成は一つで、複数構成を同時に設定・記憶することはできません。

定規とガイド

Foxit J-Reader は、ページ中のテキスト、図形、その他のオブジェクトの整列や配置を支援するため、水平方向と垂直方向の定規とガイドを提供しています。定規とガイドは、ドキュメント内のサイズや余白の確認にも使用できます。



定規とガイド

A. 定規 B. ガイド

定規を表示する

表示メニュー > 定規にチェック、と操作します。

定規を非表示にする

表示メニュー > 定規のチェックを外す、もしくは垂直または水平方向の定規の上で、右クリックメニューより [定規を非表示] を選択します。

ガイドの作成

以下のいずれかの操作をおこないます：

- 水平方向のガイドを作成するには、水平の定規から下にドラッグして任意の位置でドロップします。垂直方向のガイドを作成するには、垂直の定規から右にドラッグして任意の位置でドロップします。
- 水平の定規上の任意の位置でダブルクリックすると、垂直方向のガイドが作成できます。垂直の定規上の任意の位置でダブルクリックすると、水平方向のガイドが作成できます。

ガイドの移動

表示されているガイドをクリックして任意の位置までドラッグします。

単位の変更

水平または垂直の定規、いずれかの上で右クリックし、ポップアップメニューの中で任意の単位を選択します。

ガイドの削除

- 削除対象のガイドをクリックして選択し、**Delete** キーを押下します。
- 特定のページ内のガイドをすべて削除するには、そのページを表示し、定規の中で右クリックして、ポップアップメニューの [ページ上のガイドをクリア] を選択します。
- すべてのガイドを削除するには、定規の中で右クリックし、ポップアップメニューの [すべてのガイドをクリア] を選択します。

元に戻すとやり直し

Foxit J-Reader は実行した操作の [元に戻す] と [やり直し] の機能を提供しています。元に戻す機能は、直前に行った操作をキャンセルすることにより、誤った操作を容易に正しい操作に変更できるものです。注釈の編集や高度編集など、PDF ドキュメントに対し

て行ったあらゆる編集操作について、[元に戻す] と [やり直し] が可能です。

ノート: しおりの編集については、元に戻すとやり直しの操作は実行できません。

[元に戻す] を行う場合は、以下のいずれかの操作を行ってください:

- ツールバーの [元に戻す] ボタン  を選択します。
- ショートカットキー **Ctrl + Z** を押下します。

[やり直し] を行う場合は、以下のいずれかの操作を行ってください:

- ツールバーの [やり直し] ボタン  を選択します。
- ショートカットキー **Ctrl + Y** を押下します。

ドキュメントの共有

ドキュメントを電子メールで送信

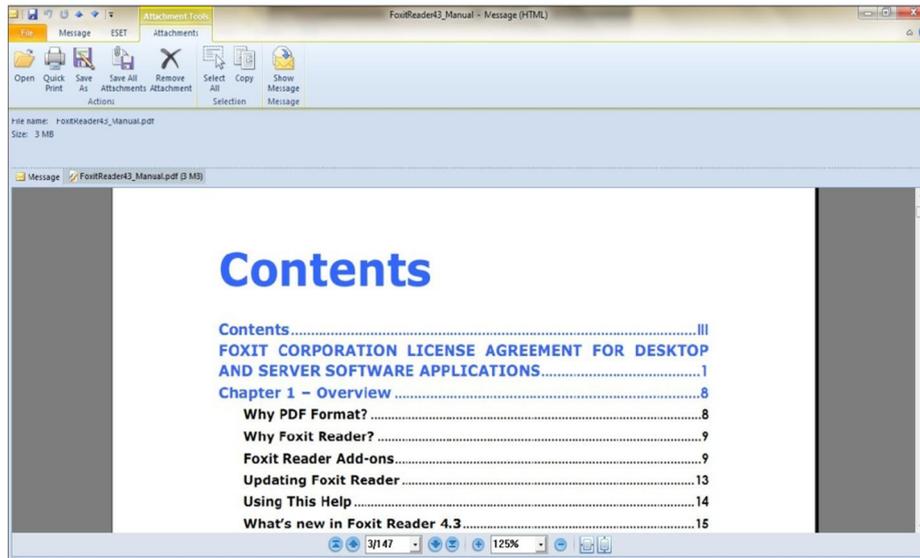
ドキュメントを電子メールで送付する機能は、日々の仕事をスピードアップするため、読んでいるPDFファイルを顧客に送信する必要がある場合や、興味深い内容の文書を友人と共有する場合などに、非常に有効です。

PDFファイルを電子メールで送るには、以下の操作を行ってください:

- 共有メニューの送信リボン > 電子メール、と操作すると、Foxit J-Readerはドキュメントを送信する前に変更を保存するかどうかを確認します。[はい] または [いいえ] を選択します。
- システムのデフォルトのメールソフトが起動します。
- 開いているPDFファイルが自動的に電子メールに添付されます。
- タイトルと送付先のアドレスを入力して送信します。

Outlook でのプレビュー

Foxit J-Reader は、電子メールに添付された PDF ファイルを Outlook のペイン上で参照することができます。



ドキュメントを **Evernote** に送信

開いている PDF ドキュメントを、直接 **Evernote** に添付ファイルとして送付できます。

- 事前に **Evernote** のアカウントを作成する必要があります：
<https://www.evernote.com/Registration.action>
- **Evernote** のソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください：
<http://evernote.com/evernote/?file=Win&btn=grey>
- PDF ファイルを開きます。
- 共有メニューの送信リボン > **Evernote**、と操作します。



- **Evernote** で、現在の PDF ドキュメントを添付ファイルとして確認できます。

Facebook での **PDF** の共有

Facebook®ユーザーのために、**Foxit J-Reader**はソーシャルネットワーク連携機能を提供しています。ユーザーは、**Foxit J-Reader**を使用してそれぞれのアカウントにログインし、PDFドキュメント内のテキスト（規定の文字数制限あり）を選択して、**Facebook**で共有することができます。また、ドキュメント領域のスナップショットを撮って、画像と同じように**Facebook**で共有することも可能です。さらに現在表示しているドキュメン

トや、選択したドキュメントも共有することができます。そして、共有ドキュメントは Facebook アカウントから、Foxit OnDemand CM のファイル共有機能を使用したリンクとして、利用できます。ソーシャルネットワークとの統合はプラグインとして提供されています。

PDF ファイルのテキストや画像を Facebook で共有するには、以下の操作を実行してください：

- Facebook ボタン  をクリックして、ファイル共有ペインを開きます。
- テキスト選択ツール  を使用して、Facebook で共有したいテキスト領域を選択、または画像として共有したい領域をスナップショットツールで選択します。
- 選択した領域にマウスカーソルを移して右クリックし、[テキストを共有] または [画像を共有] を選択します。
- ファイル共有ペインで、選択したテキスト/画像のプレビューを見ることができます。画像の場合、プレビュー画像をクリックすると、画像ビューワソフトで開きます。
- **【共有】** ボタンをクリックすると、Facebook のログインページが開きます。アカウントにログインしてください。
- Facebook に、選択テキストや画像が表示されます。

PDF ファイルを Facebook で共有するには、以下の操作を実行してください：

- Facebook ボタン  をクリックしてファイル共有ペインを開きます。
- ファイル共有ペインで、[ファイルを追加] ボタンをクリックして、共有したい PDF ファイルを開きます。
- **【共有】** ボタンをクリックすると、Facebook のログインページが開きます。アカウントにログインしてください。
- Facebook に Foxit OnDemand CM を利用した PDF ファイルへのリンクが作成されます。

ノート： ファイルを共有ペインの **【Privacy】**  をクリックして、閲覧制限を設定することができます。

SharePoint Service

SharePoint Server にある PDF ファイルを開くことができ、また、シームレスに PDF ファイルのチェックイン/チェックアウトを実行できます。

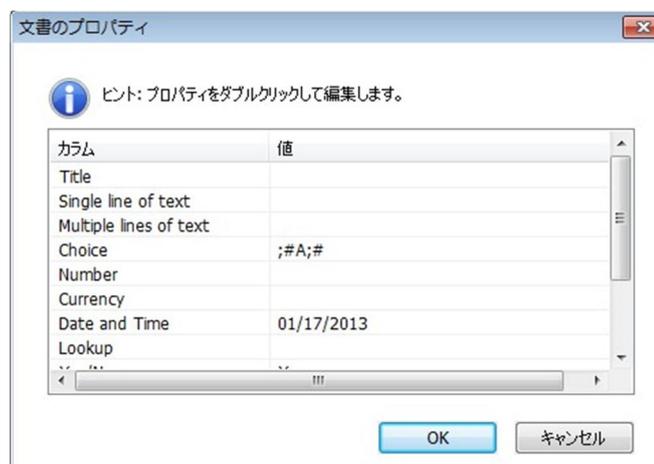
J-Reader で SharePoint Service を利用する前に、サーバの設定が必要です。

- SharePoint Server にログインし、document library を選択してください。

- PDF をクリックし、Foxit J-Reader で開きます。**Check out and Open** を選択している場合、他のユーザは同時にその PDF を編集することができません。**Open** のみを選択している場合は、自分で編集しているときと同様、他のユーザも PDF の編集が可能です。
- (オプション) チェックアウト状態をキャンセルしたい場合、共有メニューの **SharePoint 統合 > チェックアウトの破棄**、と操作してください。
- 任意の PDF 編集を実行してください。
- PDF のプロパティを設定します。

1. 共有メニュー > 文書のプロパティの作成、と操作します。
2. 文書のプロパティダイアログにて **Column** の名称を選択し、編集ボックスで **Value** を編集します。例えば、**Title** を選択すると、編集ボックスがポップアップしますので、内容を入力して **[OK]** をクリックすれば編集完了です。

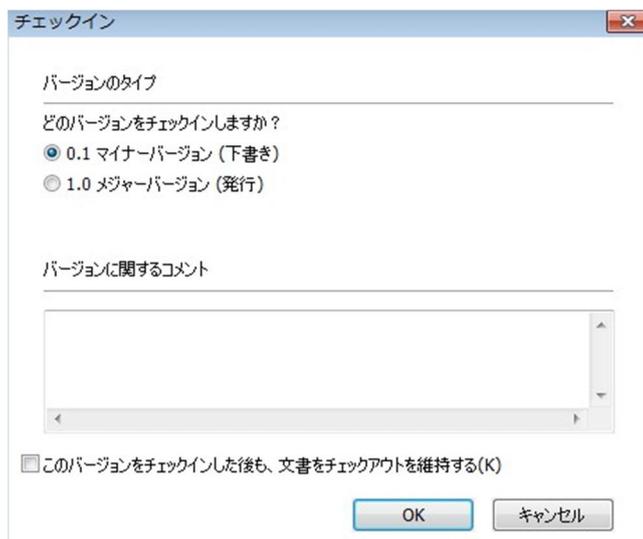
ノート：現在編集可能な **Column** は、一行のテキスト、複数行のテキスト、Yes/No、日付と時間です。



- 共有メニュー > チェックイン、と操作します。

チェックインダイアログボックスで、ドキュメントのバージョン番号を選択し、そのバージョンに適したコメントを一緒に付けます。他のユーザにそのドキュメントの変更を許可しない場合は、**【このバージョンをチェックアウトした後も文書をチェックアウトを維持する】**にチェックします。

- **OK** をクリックすると、編集された PDF が自動的にサーバに配置されます。



PDF の作成

Foxit J-Reader を使用して、容易に PDF を作成することができます。また、プラグインを使用して Microsoft® Word®、PowerPoint®、Excel® からワンクリックで簡単に素早く PDF を作成したり、既存の PDF ファイルをテキストに書き出しすることが可能です。以下の手順を実行するだけで、この新機能を簡単に、最大限活用することができます。

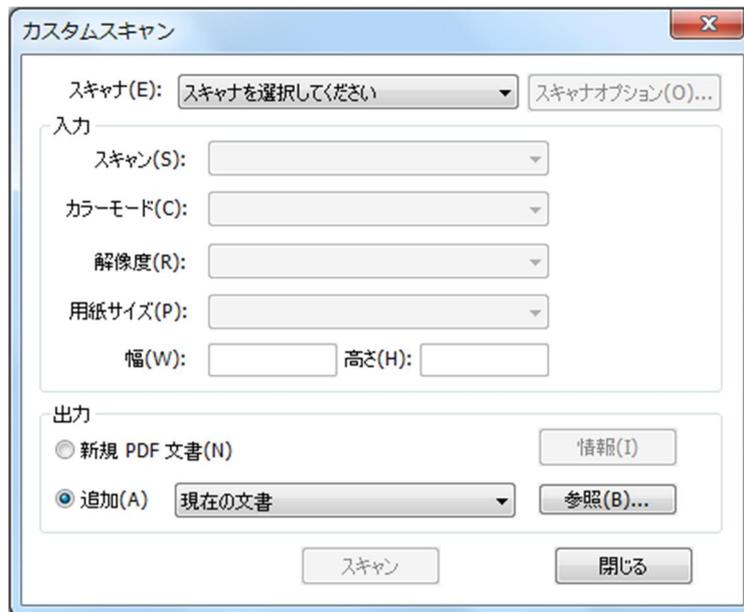
ファイルから作成

- ホームメニューの作成リボンより、[ファイルから] ボタン  をクリックします。
- 作成元ファイルを参照、選択して開きます。
- **名前を付けて保存**のダイアログを表示し、ファイルの名称と保存場所を決定します。
- (別の方法として) Foxit J-Reader に対象のファイルをドラッグする、または対象のファイルを右クリックして [Foxit J-Reader で PDF に変換] を選択します。

スキャナから作成

- ホームメニューの作成リボンより、[スキャナから] ボタン  をクリックします。
- 必要に応じて、カラーモードを自動検出/白黒文書/グレースケール文書/カラー文書より選択してください。
 - カラーモードを自動検出: コンテンツの種類に応じて自動で決定します。
 - 白黒文書: 白黒でスキャンします。

- グレースケール文書: グレースケールでスキャンします。
 - カラー文書: カラーでスキャンします。
- カスタムスキャンを選択して、スキャン設定をカスタマイズできます。



1. スキャナ: インストールされたスキャナを選択します。スキャナメーカー指定のスキャンソフトウェアをインストールする必要があります。

➤ **スキャナオプション (Windows のみ):** クリックしてスキャナオプションのダイアログボックスを開きます。(スキャナを選択後に利用可能になります。)

◇ **ユーザインターフェース:** スキャナメーカーのインターフェースを非表示にして、スキャンのときは Foxit のスキャナのダイアログを通じて操作するように設定できます。

2. 入力

➤ **スキャン:** 片面または両面でのスキャンを選択します。

➤ **カラーモード (Windows のみ):** スキャナがサポートする標準のカラーモードを選択します (カラー、白黒、グレースケール)。このオプションはスキャナオプションでスキャナのインターフェースを表示しない場合に有効になります。

➤ **解像度 (Windows のみ):** スキャンのサポートする解像度を選択します。このオプションはスキャナオプションでスキャナのインターフェースを表示しない場合に有効になります。

ノート: 使用するスキャナのサポートしないカラーモードや解像度を選択した場合は、メッセージとスキャナのアプリケーションのウィンドウが表示されますので、適切なオプションを設定できます。

- **用紙サイズ:** 用紙サイズを選択する、またはカスタムの選択により幅と高さを指定します。

3. 出力

- **新規 PDF 文書:** 新しい PDF として作成します; 既存の PDF にスキャンしたページを加える場合は、[追加] を選択してください。
- **追加:** 既存 PDF にスキャン作成した PDF ページを追加する場合に選択します。参照をクリックして、対象の PDF を選択できます。

[プリセットの設定] を選択して、スキャンのプリセットを設定できます。[カスタムスキャンによるスキャン設定](#) を参照してください。

空白ページを作成

- ホームメニューの作成リボンより、空白ページ  を選択して、空白の PDF を作成できます。
- 作成した空白の PDF は、ホームメニューのツールリボンより、タイプライタを選択し、空白ページにテキストを追加して編集することができます。
- 必要であれば、他のツールやオプションを選択して PDF に適用できます。
- ファイルメニューより [名前を付けて保存] を選択して、PDF ファイルの名称と保存場所を設定します。

クリップボードから作成

クリップボードにコピーされているデータから直接 PDF を作成できます。

- ホームメニューの作成リボンより、クリップボードから  を選択すると、クリップボードにコピーされているコンテンツから PDF を作成します。

PDF の署名

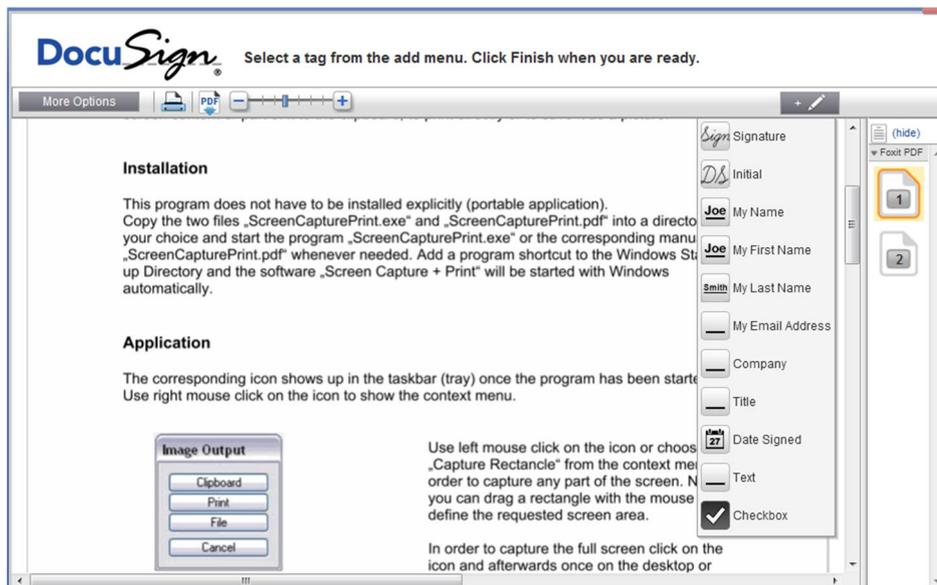
DocuSign®での PDF の署名

DocuSign は、容易に PDF ドキュメントの送信、署名が可能でドキュメントとフォームを保存することができる、業界で最も幅広く利用されている電子署名ソリューションです。

PDF ファイルの署名

DocuSign で PDF に署名するには、以下の手順をご参考ください:

- 保護メニュー > DocuSign ボタン 、と操作します。
- [DocuSign にログイン] を選択します。DocuSign アカウントの電子メールアドレスとパスワードを入力して、ログインします。アカウントをお持ちでない場合は、最初にアカウントを作成してください。
- ボタン  より、[DocuSign で署名] を選択します。アプリケーションは PDF を DocuSign にアップロードし、DocuSign のユーザインターフェースを表示します。



- ドキュメントに署名

1. 直接署名する

- DocuSign インターフェースの右側にあるボタン  をクリックします。
- 登録されているテンプレートを選択し、ドキュメントの署名を配置したい場所をクリックします。

ノート:

1. 署名テンプレートを変更したい場合は、DocuSign Web サイトにアクセスする必要があります。詳細は [署名のテンプレートの変更](#) を参照してください。

2. 署名ボタン  のドロップダウンメニューより、イニシャル、名前(姓、名)、会社名、標題、メールアドレスでの文書への署名を選択することができます。日付やチェックボックスでの署名も可能です。下図のものを使用できます:



2. 書面に署名する

書面に署名したい場合は、左側のオプションから [Sign on Paper] をクリックしてください。ダイアログボックスが表示されます。

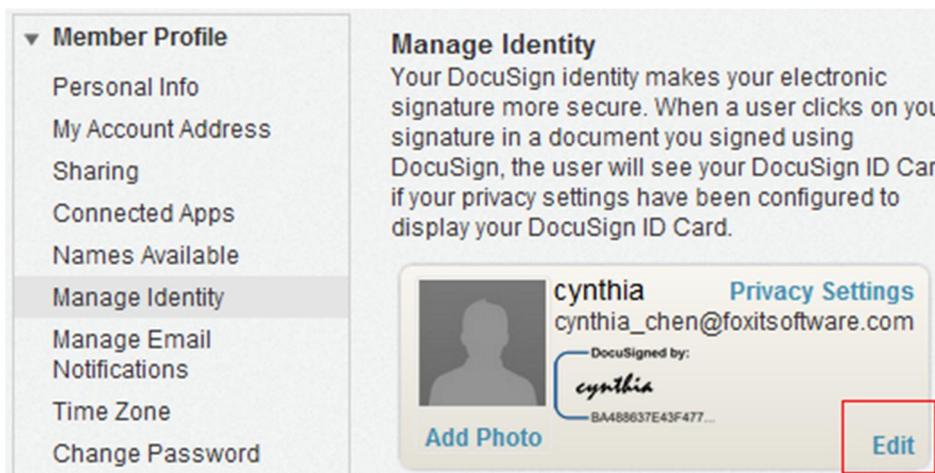
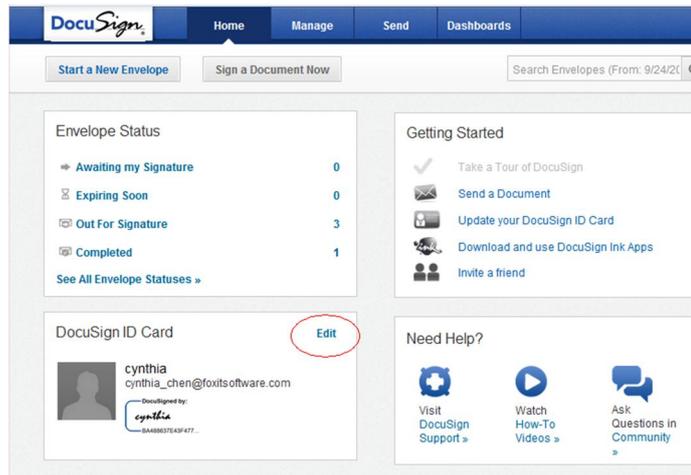


3. 後で署名する

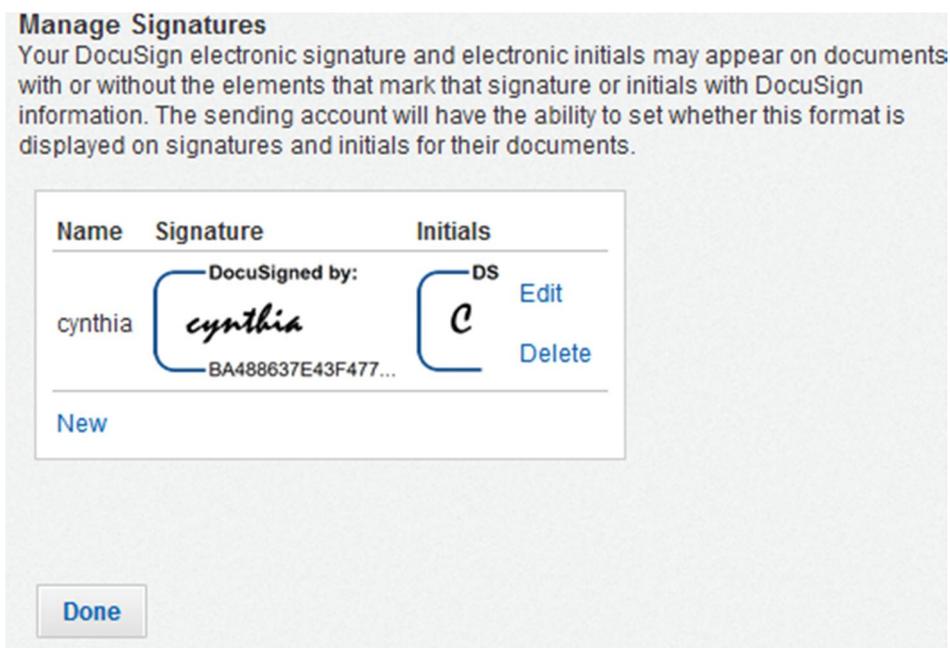
今すぐに署名をしない場合は、[More Options] のドロップダウンメニューにあるボタン  Finish Later をクリックします。

- 署名のテンプレートの変更

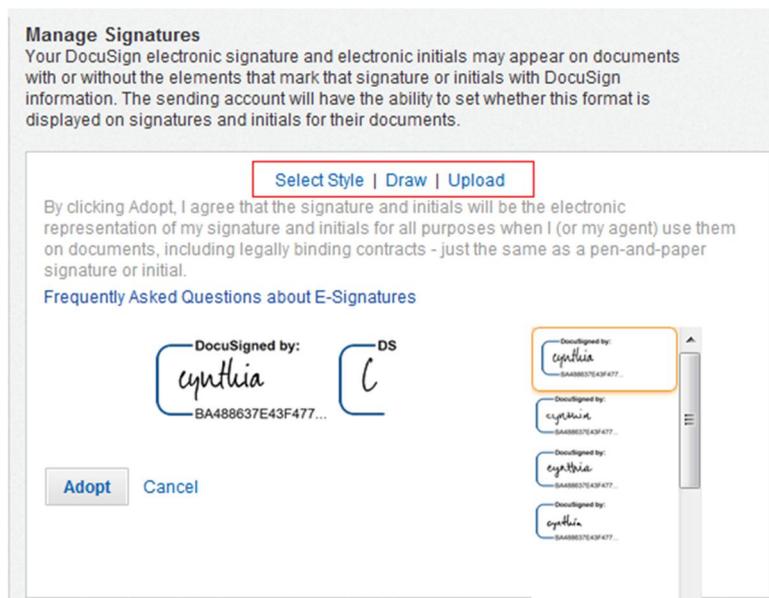
署名のテンプレートを変更する場合は、DocuSign の Web サイト (www.docuSign.net) にアクセスします。



DocuSign ID Card の **[Edit]** をクリックし、Manage Identity の **[Edit]** を選択します。

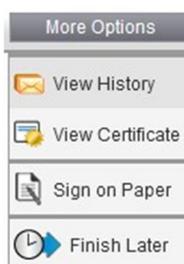


- **Select Style:** 署名のテンプレートのスタイルを選択します。
- **Draw:** 入力デバイスを使用して、署名を描画します。
- **Upload:** 署名のテンプレートとして画像をアップロードできます。



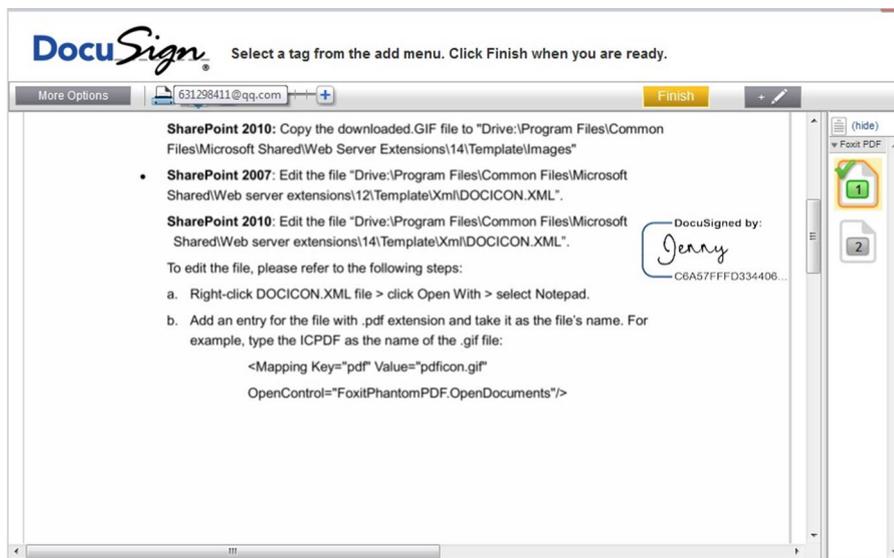
- **More Options**

DocuSign ユーザーインターフェース上で [More Options] をクリックすると、下図のように、View History、View Certificate、Sign on Paper、Finish Later を選択できます:



- ボタン  をドラッグしてファイルをズームイン/ズームアウトできます。
- 右側にあるページ番号のリストをクリックして、署名を配置したいページに移動することができます。
- 署名ボタン  をクリックして署名ペインを開きます。署名のテンプレートを選択し、配置する場所にドラッグします。同時に複数のテンプレートを配置することができます。

- テキストボックス右上のボタン  をクリックして、署名を削除できます。
- [Finish] をクリックして、署名を完了します。PDF への署名をプレビューできます。



- ダウンロードボタン 、または印刷ボタン  を選択して、署名された PDF を取得します。
- DocuSign ボタン  より、[Logout from DocuSign] からのログアウトを選択できます。

DocuSign 経由で PDF を送信

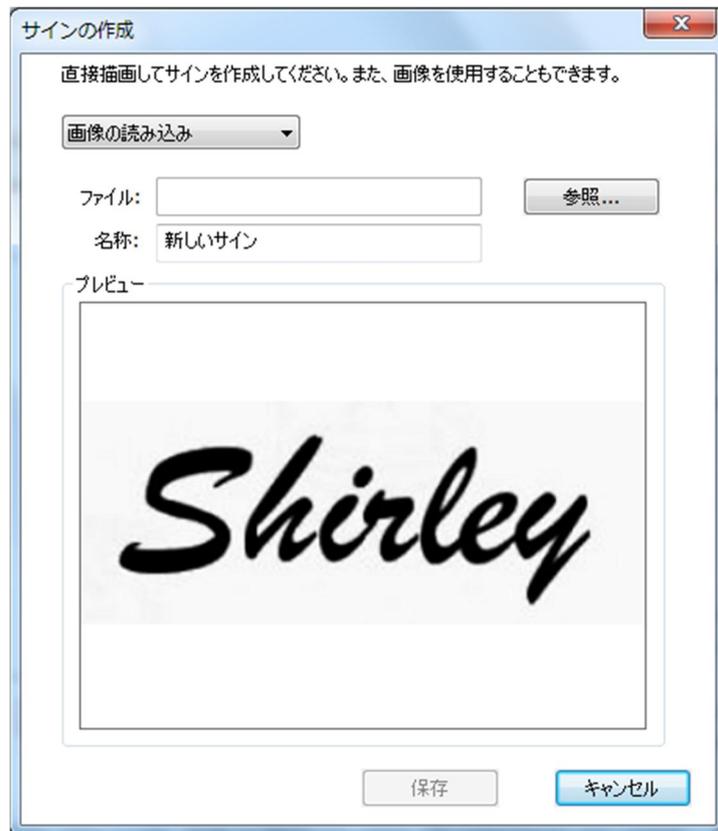
- 送信したい PDF を J-Reader で開きます。
- DocuSign ボタン  をクリックして [DocuSign で送信] を選択します。
- DocuSign の Web サイトにログインします。
- 左側の署名リストから署名のテンプレートを選択して、受信者宛に署名する位置にドラッグします。
- 署名を選択して  をクリックし、署名のプロパティを設定します。
- ツールバーのツールを使用して署名を編集します。
- ボタン をクリックして、受信者のアドレスを追加します。
- ボタン をクリックして、email の件名や内容を編集します。
- [Send] をクリックして PDF を送信します。

PDF サイン

PDF サインにより、手書き署名を作成し、直接ページに追加することができます。用途に応じて別途作成したり、複雑な設定を実行したりする必要ありません。

手書き署名を作成して PDF に署名するには、以下の手順を実行してください。

1. 保護メニュー > 署名リボンより、PDF サイン > サインの作成、と操作します。
2. サインの作成ダイアログで、サインの描画、画像の読み込み、クリップボードからの作成を選択することができます。



3. (オプション) サインを描画する場合は、[描画] をクリックしてダイアログボックスを表示し、描画して OK をクリックします。
4. 画像の読み込みを選択した場合、[参照] をクリックして画像を選択して開きます。画像のプレビューを確認できます。

ヒント: 黒いペンで真っ白な紙面にサインを描き、スキャンして画像ファイルにした場合、サインを最良の状態で出力する目安は、白黒スキャンで **600 DPI** です。

5. サインに名称を設定できます。保存をクリックすると、四角形を指定するカーソルに変化します。
6. サインを配置する場所にカーソルを移動させ、クリックとドラッグでサイズを調整します。それをドラッグして別の場所に配置することも可能です。削除するには、サインを選択して **Delete** キーを押下してください。
7. ドキュメントにサインを適用するには、サインをダブルクリックする、またはサイン

を右クリックして**適用**を選択します。**複数ページに配置**を選択すると、指定したページの同じ場所に、サインを設定します。

ノート: 一度適用すると、サインは編集したり削除したりできなくなります。

サインの管理は、以下を実行します:

保護メニュー > 署名リボンより、**PDF サイン** > **サインの管理**、と操作します。サインの管理ダイアログボックスで **[作成]** をクリックして、サインの作成が可能です。作成したサインを選択し、**[編集]** をクリックしてサインの変更ができます。編集後はプレビューを表示できます。サインを削除するには、サインを選択して **[削除]** を選択してください。



電子署名の検証

Foxit J-Reader には、電子署名の検証機能が用意されています。電子署名の検証を行うことにより、PDF ドキュメントの情報をあらゆる改ざんや悪用から保護する事ができ、ドキュメントの信ぴょう性と保全性を大幅に改良します。MDP 検証機能もまもなくリリース予定です。

PDF における電子署名の検証を行う場合は、以下のいずれかの操作を行ってください:

- 1. 保護メニュー > 検証 、と操作します。
- 2. ポップアップメッセージボックスが開き、電子署名の有効性について表示されますので、それを確認します。

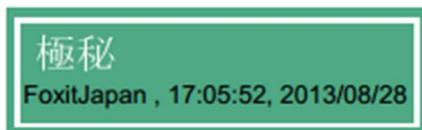
- 1. 署名を右クリックして「署名を検証」あるいは「署名のプロパティを表示」を選択します。
- 2. 「署名のプロパティ」ダイアログの正当性の概要を確認します。
- 1. 署名をダブルクリックします。
- 2. 署名のステータスを表すポップアップメッセージが開きますので、それを確認します。

PDF ファイルへのスタンプ

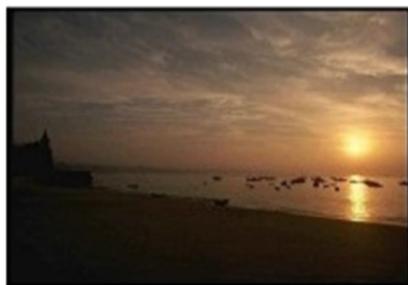
Foxit J-Reader のスタンプツールは、PDF ドキュメントにスタンプや電子透かしを追加するツールです。Foxit J-Reader はさまざまな形式のイメージ (JPEG, GIF, BMP, WMF 等) や PDF ファイルによるスタンプをサポートしています。また、システム名、日付、時刻などの情報を取り込んだり、既存のダイナミックスタンプをインポートして、新たにダイナミックスタンプを作成する事ができます。PDF へのスタンプは、レビューアーにドキュメントの状態やレビューの観点等に関する助言を伝える場合などに、非常に有効な機能です。



標準スタンプ



ダイナミックスタンプ



新規作成したカスタムスタンプ



新規作成したカスタムダイナミックスタンプ

PDF へのスタンプ

PDF にスタンプを追加する場合、あらかじめ作成しているスタンプのリストから選択す

することもできますし、追加する際に新しくスタンプを作成することもできます。インポートしたスタンプと作成したスタンプは全て、スタンプツールのメニューとスタンプパレットにリスト表示されます。スタンプを挿入する際には以下の操作を行ってください：

1. 注釈メニュー > スタンプ、と操作します。
2. スタンプパレットより、スタンプを選択します。
3. スタンプを配置したいページの箇所をクリックします。

ノート： インポート、またはカスタマイズしたスタンプはすべて、[スタンプ] メニューに表示されますので、メニューから直接選択することもできます。

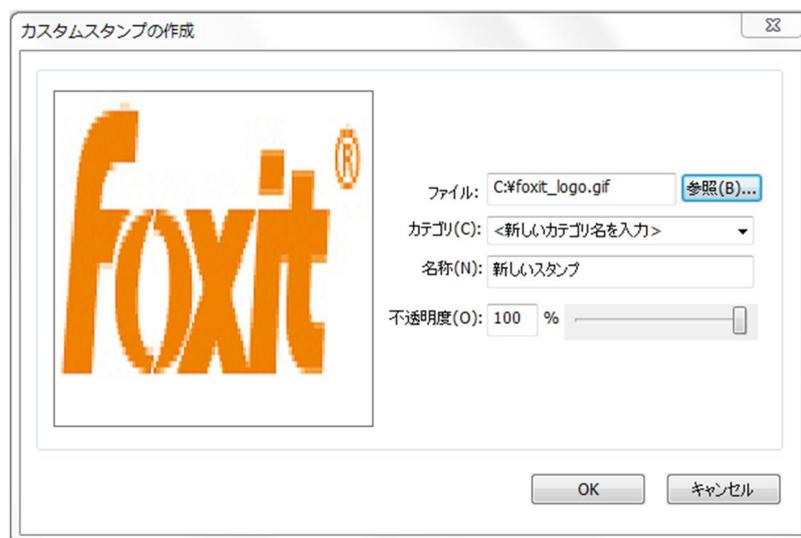
スタンプの作成

カスタムスタンプとダイナミックスタンプを作成することができます。

カスタムスタンプの作成

1. 注釈メニュー > [作成] ボタン  をクリック > メニューより [カスタムスタンプの作成] を選択します。
2. 新規にカテゴリ名を入力するか、またはドロップダウンリストからカテゴリを選択し、スタンプ名を入力して [OK] ボタンをクリックします。

ノート： スタンプにイメージファイルを選択した場合、[カスタムスタンプを作成] ダイアログ上のスライダーをドラッグして不透明度を調整できます。

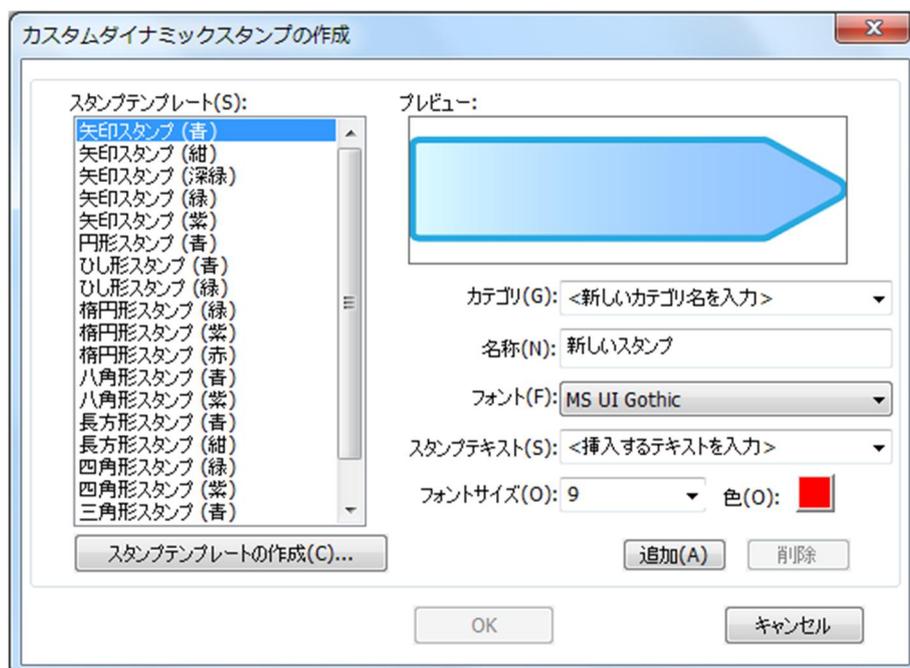


カスタムスタンプ作成ダイアログ

カスタムダイナミックスタンプの作成

カスタムダイナミックスタンプには、テキスト、作成者、日付や時刻を入れることができます。以下の手順で作成してください：

1. 注釈メニュー > [作成] ボタン  > カスタムダイナミックスタンプの作成、と操作します。
2. [カスタムダイナミックスタンプを作成] ダイアログで、左側のリストよりテンプレートを選択するか、またはイメージファイルや PDF ファイルを使用して新しくテンプレートを作成します。次に、ドロップダウンリストでカテゴリを選択するか、新しいカテゴリ名を入力し、スタンプ名を入力します。
3. フォントと文字色を指定します。
4. [スタンプテキスト] にテキストを入力せず、<作成者名>、<日付>、<作成者名と日時> 等のカテゴリを選択した場合は、**[追加]** ボタンをクリックした時に、システムから自動的に現在のユーザ、日付、時刻を取得して表示されます。
5. ダイアログの右上にプレビューが表示されますので、必要に応じて簡単に変更することができます。
6. [OK] をクリックします。



カスタムダイナミックスタンプ作成のダイアログ

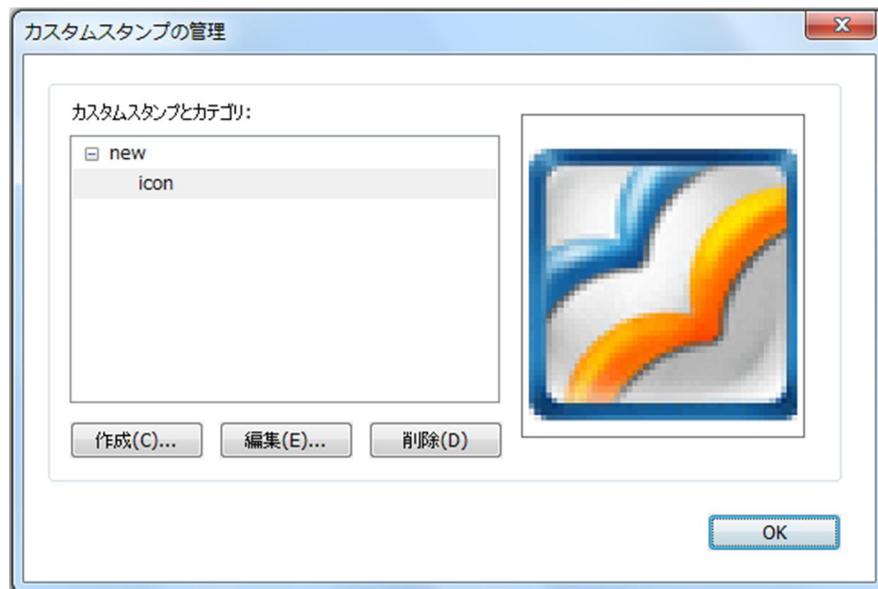
スタンプの管理

スタンプの管理は以下の要領で実行してください：

- 注釈メニュー > 作成ボタン  をクリック > [スタンプの管理]、と操作してカスタムスタンプの管理ダイアログを開きます。
- **[作成]** ボタンをクリックして、作成したいスタンプを選択します。その後の操作は [カスタムスタンプの作成](#) を参照してください。
- **[編集]** ボタンをクリックして、カテゴリ、スタンプ名、イメージの置き換えなど

を実行します。操作は [カスタムダイナミックスタンプの作成](#) を参照してください。

- スタンプを削除する場合は、**【削除】** をクリックします。



カスタムスタンプの管理ダイアログ

ノート: スタンプのカテゴリを削除した場合、配下のスタンプはすべて削除されます。

スタンプの切り取り、コピー、貼り付け

スタンプの切り取り、コピー、貼り付けは、以下の操作を実行してください:

- 対象のスタンプを選択します。
- スタンプを右クリック > 切り取り、またはコピーを選択します。
- スタンプを貼り付ける位置で右クリックし、貼り付けを実行します。

スタンプを元に戻す/ やり直し

スタンプの操作を元に戻す、またはやり直すには、クイックアクセスツールバーにて、元に戻す  またはやり直し  のボタンをクリックします。

スタンプのサイズ変更と移動

- 手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択します。
- サイズ変更を行う場合、対象のスタンプを選択し、周囲に表示される赤いハンドルをドラッグして、好みのサイズになるまで移動します。
- スタンプを移動する場合、対象のスタンプを選択し、周囲に表示される赤い線をドラッグします。
- スタンプにポップアップノートを追加する場合、対象のスタンプをダブルクリックするか、または対象のスタンプを右クリックし、ポップアップメニューの [ポップアッ

プノートを開く] を選択します。

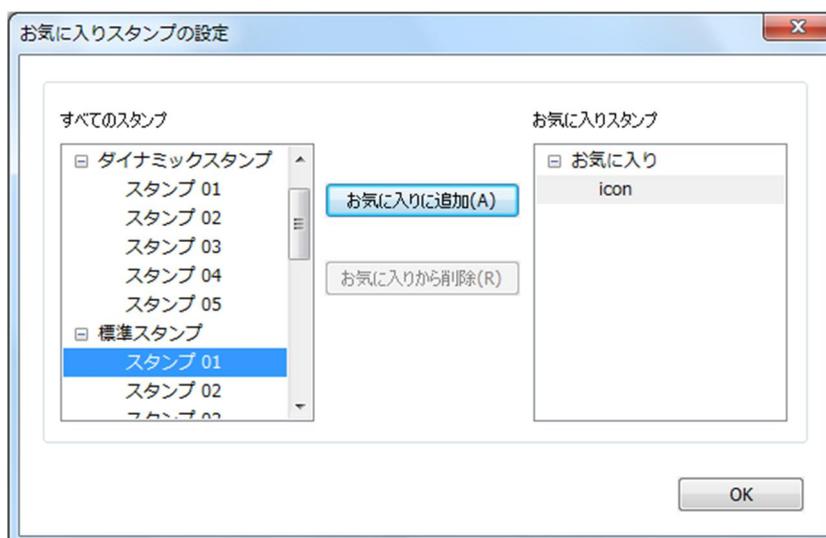
スタンプの削除

以下のいずれかを実行してください：

- 手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択し、**Delete** キーを押下します。
- 手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択し、対象のスタンプを右クリックして、メニューより削除を選択します。

お気に入りのスタンプの設定

- 注釈メニュー > 作成ボタン  をクリック > [お気に入りスタンプの設定]、と操作します。
- [すべてのスタンプ] パネルで対象のスタンプを選択し、**【お気に入りに追加】** ボタンをクリックして、お気に入りスタンプに追加します。
- [お気に入りスタンプ] パネルからスタンプを削除するには、対象のスタンプを選択して **【お気に入りから削除】** をクリックします。



お気に入りスタンプの設定

セキュリティの管理

トラストマネージャ

Foxit J-Reader に用意されている機能で、ユーザが了承していないアクションやデータの読み込み、URL への接続、添付ファイルのアクション、そして **JavaScript** の実行等に対して、許可するか禁止するかを選択できるようにしたものです。悪意のあるコンテンツやウイルスからの攻撃を避けるのに有効な機能です。

保護モードを有効にするには、以下の操作を行います：

- ファイルメニュー > 環境設定 > トラストマネージャ、と操作して、[保護モードを有効にする] にチェックします。
- [OK] をクリックします。

ノート：

1. プログラムを実行する場合は、[保護モードを有効にする] オプションを選択せず、プログラムの実行時にポップアップメニューが表示された場合には [はい] を選択してください。
2. リンク接続でのメッセージ表示をオフにする場合は、トラストマネージャの設定より、PDF ファイルからの **Web** サイトアクセスの管理から設定できます。
3. 保護モードで PDF の添付ファイルを開こうとした場合、**Foxit J-Reader** は保護モードを無効にする必要がある旨、メッセージを表示します。開く場合は、環境設定より変更が必要です。

オンラインホワイトリストの管理

Foxit J-Reader はオンラインフォーム送信などの **Web** アクセスに対し、信頼できる URL を登録することで、より良いファイルのアクセス管理が可能です。

オンラインホワイトリストを設定するには、以下の手順を実行してください：

ファイルメニュー > 環境設定 > トラストマネージャ > PDF ファイルからの **Web** サイトアクセスの管理にて [設定の変更] をクリックすると、下図に示すサイト管理のためのダイアログが表示されます：



PDF ファイルは情報の共有、または入手のために **Web** サイトに接続する場合があります。

- **カスタム設定**: 信頼する **URL** への、PDF ファイルのアクセスを有効とするカスタマイズ設定が可能です。
 - カスタム設定を選択します。
 - フィールドにホスト名を入力します。
 - [許可] をクリックして、その後に [OK] をクリックします。
- **PDF ファイルが Web サイトにアクセスすることをすべて許可**: すべての **Web** サイトに対して、PDF ファイルのアクセスを許可します。
- **PDF ファイルが Web サイトにアクセスすることをすべてブロック**: すべての **Web** サイトに対して、PDF ファイルのアクセスをブロックします。

Web サイト

Web サイトの項目より、以前に信頼する **URL** として登録したサイトを削除することができます。

リストにある **Web** サイトを選択して [削除] ボタンをクリックすることで、登録した **URL** を削除できます。

リストにない Web サイトに対するデフォルトの動作:

- 常に確認: 信頼する Web サイトとしてリストに登録されていない URL にアクセスしようとした場合、常に確認のメッセージを表示します。デフォルトでは、これが選択されています。
- アクセスを許可: リストにないすべての Web サイトへのアクセスを有効にします。
- アクセスをブロック: リストにないすべての Web サイトへのアクセスをブロックします。

スクリプト実行のコントロール

Foxit J-Reader は、PDF ファイルの利便性と安全性を同時に確保しつつ、スクリプトを適切に実行することができます。ユーザは 4 レベルの選択が可能です: JavaScript を無効にする、安全な PDF の JavaScript を有効にする、安全かつ DRM で検証した PDF の JavaScript を有効にする、すべての JavaScript を有効にする、です。

適切にスクリプトを実行するには、以下の手順を実行します:

ファイルメニュー > 環境設定 > トラストマネージャ、と操作して必要に応じた設定をおこなってください:

- すべての JavaScript を有効にする: [JavaScript アクションを有効にする] をチェックして、[保護モードを有効にする] のチェックを外します。
- すべての JavaScript を無効にする: [JavaScript アクションを有効にする] のチェックを外し、[保護モードを有効にする] をチェックします。
- 安全な PDF の JavaScript を有効にする: [JavaScript アクションを有効にする] と [保護モードを有効にする] をチェックします。
- DRM で検証した PDF の JavaScript を有効にする:
 - [JavaScript アクションを有効にする] と [信頼済み文書に対しては保護モードを無効にする] をチェックします。
 - [詳細設定] をクリックし、[RMS 暗号化] と [有効な電子署名] の両方をチェックします。

第五章 - 注釈

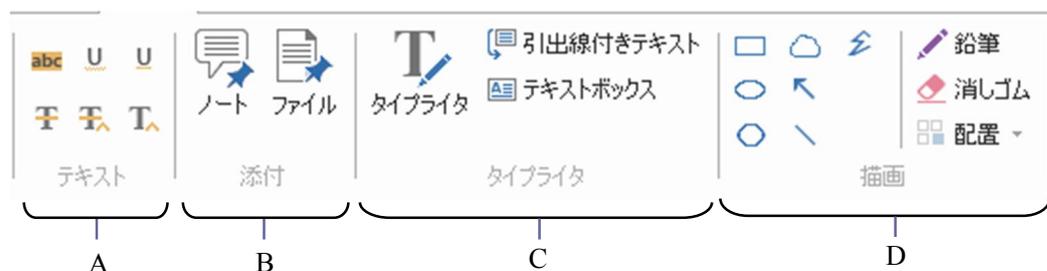
注釈とは、説明や実例、また事実や意見、特に個人の反応や態度などを記述した覚書です。**Foxit J-Reader** の注釈ツールを使用すると、参照中の **PDF** ドキュメントに注釈としてテキスト、線や円、その他の図形を追加することができます。

ほとんどのタイプの注釈は、ポップアップウィンドウに表示される、作成者名、注釈の作成日付/時刻、そしてテキストメッセージを含みます。

また、注釈の編集、返信、削除、および移動なども簡単に行うことが出来るので、勉強や仕事などの必要上、**PDF** ドキュメントに何らかの覚書を追加しなくてはならない時、この機能は非常に有効です。

注釈ツール

注釈ツールを使用すると、**PDF** ドキュメントに注釈を追加することができます。注釈ツールには、タイプライタツール、描画マークアップツール、テキストマークアップツールなど、機能の異なる様々なものがあります。これらのツールは注釈メニューから使用可能で、注釈の追加や作成をおこなうことができます。



- A: テキストマークアップツール B: ノート注釈、ファイル添付ツール
C: タイプライタツール D: 描画マークアップツール

注釈追加のためのツール選択

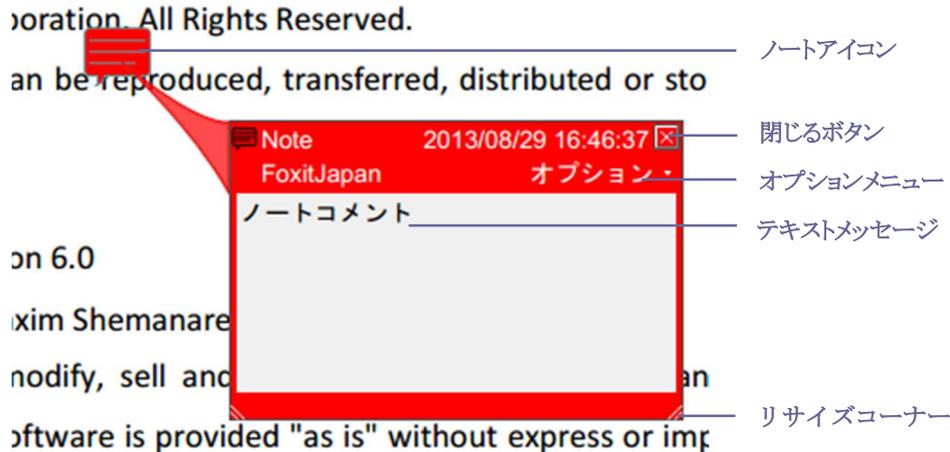
- 注釈メニューより、使用するツールをリボンから選択します。

ノート注釈の追加

ノート注釈は最も一般的な注釈です。ノート注釈は、ポップアップでテキストメッセージが表示されるアイコンを持っており、ノート注釈を追加したページに表示されます。メッ

ページボックスに長いテキストを入力した場合、メッセージボックスの右にスクロールバーが表示され、スクロールすることでテキスト全体を確認できます。

任意のドキュメントの任意のページにノート注釈を追加する方法については、以下の手順を参照してください。



ノート注釈の追加

- 注釈メニュー > [ピン] リボンのノートツール  をクリックします。
- ページの任意の場所をクリックして、ノートを追加します。
- ポップアップノートにテキストを入力します。テキスト選択ツール  を使用して、PDF 内のテキストをノート注釈にコピーして貼り付けることができます。また他のアプリケーションで利用するため、ノート注釈の内容を **Ctrl + C** でコピーすることも可能です。

ノート注釈の編集

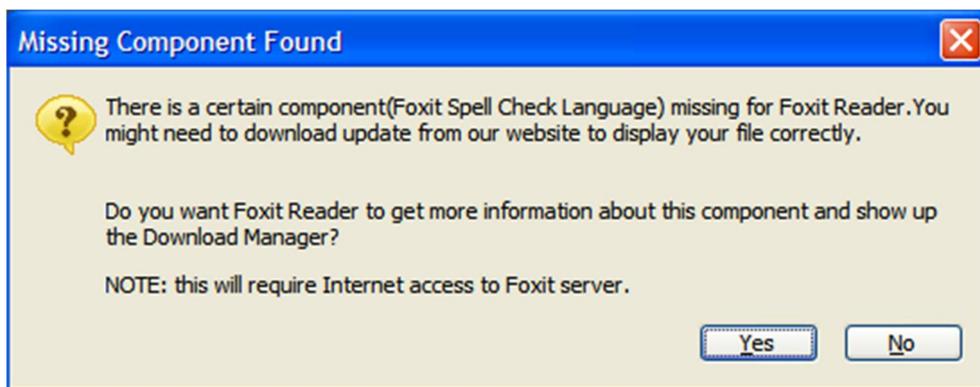
- テキストメッセージをクリックします。
- 必要に応じてメッセージを変更します。
- ポップアップノートのリサイズするには、右下のリサイズコーナーをドラッグします。
- ポップアップノートを移動するには、タイトルをクリックしてドラッグします。
- 操作が終了したら、ポップアップノートのタイトルをクリックするか、ポップアップノートの外側をクリックします。
- (オプション) ポップアップノートを閉じるには、以下のいずれかの操作を行います。ポップアップノートを閉じると、対象をマウスオーバーした場合にポップアップノートの内容が表示されます。
 - A. ポップアップノートの閉じるボタンをクリックします。
 - B. ドキュメント内に表示されているアイコンをダブルクリックします。

- C. ポップアップノート、またはアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [ポップアップノートを閉じる] を選択します。
- D. ポップアップノート右上の [オプション] メニューを開き、[ポップアップノートを閉じる] を選択します。

スペルチェッカーの使用

セキュリティ設定で許可されていれば、ノート注釈でスペルチェッカーを使うことができます。ポップアップノートに何らかのメッセージを入力しようとしたとき、**Foxit Spell Checker** のコンポーネントがインストールされていない場合は、メッセージダイアログが表示され、ダウンロードするかどうかを確認します。[はい] をクリックするとダウンロードを開始します。

なお、このアドオンは **Foxit J-Reader** にデフォルトでインストールされています。また、["Spell Checker"](#) を参照してください。



Spell Checker がインストールされていれば、ポップアップノートに英文を入力する際に、このツールがスペルミスを発見し、波線で強調して指摘します。

- スペルミスした単語の上で右クリックすると、正しいスペルの候補リストが表示されます。
- 候補リストから正しい単語を選択するか、もしくは入力単語に問題がなければ無視します。

このスペルチェックを無効にする場合は、**ファイルメニュー > 環境設定 > スペルチェック > [スペルチェックを有効にする]** オプションのチェックをはずします。

ノート注釈の整列とセンタリング

- ノートツール 、手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択し

ます。

- 以降の操作は [“複数の画像に対する操作”](#) を参照してください。

ノート注釈の削除

- ノートツール 、手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択します。
- 以下のいずれかの操作を行います：
 - A. ノートアイコンをクリックし、**Delete** キーを押下します。
 - B. ノートアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの **[削除]** を選択します。
 - C. ポップアップノート右上の **[オプション]** メニューより、**[ポップアップノート** を閉じる] を選択します。

テキストマークアップツール

編集しなくてはならないテキストの指摘や、何かの理由でその箇所をクローズアップさせるために、テキストマークアップツールを使用できます。テキストマークアップツールは PDF ドキュメント内の実際のテキストは変更しません。その代わりに、どのテキストが削除されるべきか、挿入されるべきか、ハイライト表示されるべきか、また下線を追加されるべきか示します。

テキストマークアップツールには、**[ハイライト]** ツール、**[下線]** ツール、**[取り消し線]** ツール、**[波線]** ツール、**[置換]** ツール、そして **[テキスト挿入]** ツールがあります。

テキストマークアップツール

ボタン	ツール名	説明
	ハイライトツール	文章の重要な部分などに蛍光色（通常）でマークします。記憶に残りやすくする効果があり、後で参照する際にも便利です。
	下線ツール	重要な個所であることを示すために下線を引きます。
	取り消し線ツール	テキストの上に取り消し線を引きます。削除することを他の人に知らせます。
	波線ツール	下線ツールと似ていますが、テキストの下に波線を追加します。
	置換ツール	取り消し線を引き、置換する内容を記述します。
	テキスト挿入ツール	校正マーク（^）を追加して、挿入すべき内容があることを示します。

Foxit J-Reader は、**[ノート注釈]** ツール以外の注釈ツールを使用する際に、色と不透明

度を設定できる便利な機能を提供しています。色と不透明度はツールごとに設定可能で、設定内容は継承され、新しくツールを追加するたび、同じ設定が適用されます。

テキストマークアップを使用する

1. ハイライト、下線、取り消し線、波線、置換ツールについて

- 注釈メニューより、ハイライトツール 、下線ツール 、取り消し線ツール 、波線ツール 、置換ツール 、テキスト挿入ツール  を選択します。
- 注釈をつけるテキストの先頭をクリックしてドラッグします。

2. テキストマークアップツールにテキスト（注釈）を追加する

- 手のひらツール 、注釈選択ツール 、またはそれぞれのテキストマークアップツール > マークアップを右クリック > ポップアップノートを開く、と操作します。
- ポップアップノートの中にテキストを入力します。このとき、テキスト選択ツール  を使用して、PDF ドキュメント内のテキストをコピーしてポップアップノートに貼り付けることができます。また、**Ctrl + C** キーを押下してテキストをコピーし、別のアプリケーションで使用することができます。
- (オプション) ポップアップノートを閉じる場合は、以下のいずれかの操作を行います。ポップアップノートを閉じると、対象をマウスオーバーした場合にポップアップノートの内容が表示されます。
 - A. ポップアップノートの閉じるボタンをクリックします。
 - B. マークアップしたテキストをダブルクリックします。
 - C. マークアップを右クリックし、ポップアップメニューの [ポップアップノートを閉じる] を選択します。
 - D. ポップアップノートのオプションメニューを開き、[ポップアップノートを閉じる] を選択します。

3. テキストマークアップの削除

以下のいずれかの操作を行います:

- 手のひらツール 、注釈選択ツール 、またはそれぞれのテキストマークアップツールを選択 > マークアップをクリック > **Delete** キーを押下、と操作します。
- 手のひらツール 、注釈選択ツール 、またはそれぞれのテキストマーク

アップツールを選択 > マークアップを右クリック > ポップアップメニューの [削除] を選択、と操作します。

- ポップアップノートオプションメニューを開き [削除] を選択します。

テキスト選択ツール

テキスト選択ツールからは、ハイライトツール、取り消し線ツール、下線ツール、波線ツール、置換ツールなど、ほとんどのテキストマークアップツールが利用可能です。

テキスト選択ツールを使用してテキストを選択し、右クリックで表示されるポップアップメニューから、使用するマークアップツールを選択できます。また、テキスト選択ツールは、しおりの追加にも使用できます。

テキストをマークアップする

- ホームメニュー > ツールバーより、テキスト選択ツール 、と操作します。
- マークアップするテキストを選択 > テキストを選択した状態で右クリックします。その後の操作については ["テキストマークアップツール"](#) をご参照ください。

描画マークアップツール

描画ツールは線、図形およびテキストを使用して注釈を作成するためのツールです。描画ツールを使用すると、矢印、線、正方形、長方形、円、楕円、多角形、折れ線、雲形等の図形でドキュメントに目印を付けることができます。

また、描画ツールは別の種類のコメントも提供します。それは、ドキュメント内のテキストやイメージに、図形による目印を付ける場合に有効です。以下の表は、描画ツールの機能を説明しています。

描画マークアップツール

ボタン	ツール名	説明
	矢印	矢印を作成します。何かの方向を示す場合に使用します。
	線	線を追加します。
	長方形	四角形を作成します。
	楕円形	楕円形を作成します。

	多角形	3 本以上の線分で構成された閉じた図形を作成します。
	折れ線	3 個以上の点で構成される、開いた平面図形を作成します。
	鉛筆	自由な線や図形を作成します。
	消しゴム	鉛筆で作成した図形を消去します。
	雲型	雲形の図形を描きます。

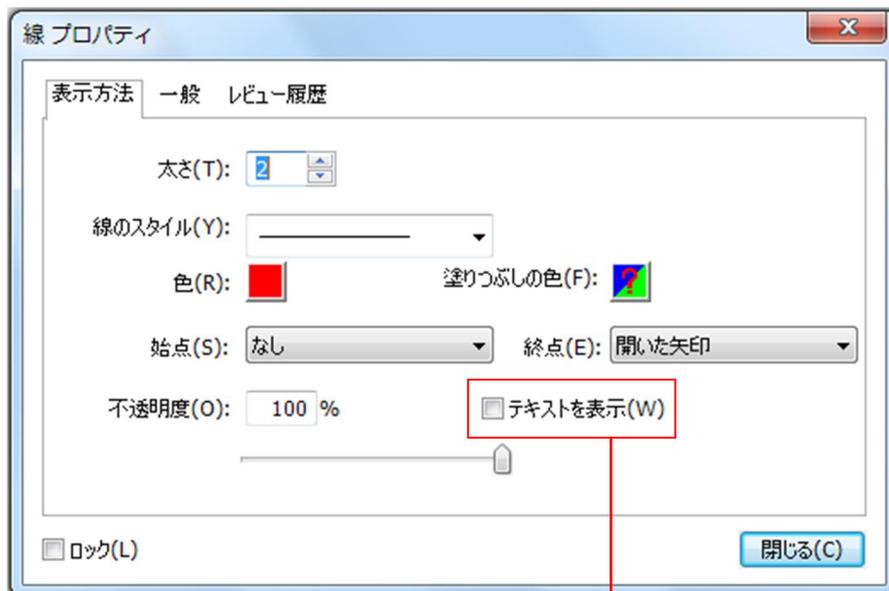
図形の追加

利用する効果に応じて使用するツールを選択してください。

- 注釈メニューの描画リボンより、使用するツールを選択します。
- 線、または矢印を描画する場合は、描画する場所をドラッグして線を引きます。
- 長方形、正方形、円、または楕円を描画する場合は、図形を描画したい領域をドラッグします。
- 多角形、折れ線、または雲形を描画する場合は、スタート地点をクリックし、ポイントを移動しながら各辺を作成するためにクリックを繰り返します。描画を終了する際には、スタート地点をもう一度クリックするか、最後のポイントでダブルクリックします。折れ線の場合は、最終ポイントをダブルクリックして終了します。折れ線の描画を終了できるのは、ダブルクリックの操作のみです。
- 鉛筆ツール  を使用して自由線を描画するには、描きたいエリアで自由にドラッグします。続けて自由線を描くには、一旦マウスのボタンを放し、別の位置に移動してから、再度マウスをクリックして描画を継続します。
- 鉛筆ツールで描画した図形の一部を消去するには、消しゴムツール  を選択し、鉛筆ツールで描画した図形の上をドラッグします。

ヒント:

- 線を描く時に **Shift** キーを押しながら操作すると、水平、垂直、**45°**の角度の線が引けます。
- **Shift** キーを押しながら楕円形を描画すると円が、長方形を描画すると正方形が作成できます。
- 描画マークアップをダブルクリックすると、ノート注釈を入力することができます。
- 描画マークアップを右クリックするか、ポップアップノートの **[オプション]** をクリックすると、プロパティを開くことができます。
- 線または矢印を描く場合、**[線のプロパティ]** ダイアログで、**[テキストを表示]** オプションを選択すると、注釈を重ねて表示することができます。



Foxit Corporation

描画した図形の編集、リサイズ、移動

- 手のひらツール 、注釈選択ツール 、または、それぞれの描画ツールを選択します。
- 描画した図形の編集やリサイズを行うには、対象を選択し表示される緑色のポイントにカーソルを移動し、そのポイントを任意の位置にドラッグします。
- 描画した図形を移動するには、対象をクリックして選択し、一つの辺を任意の位置までドラッグします。
- 描画した図形にポップアップノートを追加するには、対象の図形をダブルクリックするか、または、対象を右クリックし、ポップアップメニューの【ポップアップノートを開く】を選択します。

図形の整列とセンタリング

- 手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択します。
- 以降の操作は、[「複数の画像に対する操作」](#)を参照してください。

描画した図形の削除

以下のいずれかの操作をおこないます:

- 手のひらツール 、注釈選択ツール 、またはそれぞれの描画ツールにて、対象の図形を選択し、**Delete** キーを押下します。
- 手のひらツール 、注釈選択ツール 、またはそれぞれの描画を選択 > 対象の図形を右クリック > ポップアップメニューの **[削除]** を選択します。
- ポップアップノート右上の **[オプション]** を選択し、ポップアップメニューの **[削除]** を選択します。

描画した図形のグループ化

描画した図形のグループ化により、複数の図形を結合して一つのオブジェクトのように操作することが出来ます。複数の図形に対する移動、削除、ステータスの変更、形状の変更などが、一度の操作で行えるようになります。

手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択し、以下のいずれかの操作をおこないます:

- 描画した図形をグループ化するには、**Ctrl** キーを押下しながら、グループ化する複数の図形を選択し、選択した図形の上で右クリックして、ポップアップメニューの **[グループ]** を選択します。
- グループに対して操作を行う場合は、グループの中の任意の図形を選択して、他のコメントと同様に、必要な操作を行います。
- グループを解除するには、グループを選択し、右クリックしてポップアップメニューの **[グループ解除]** を選択します。

タイプライタツール

タイプライタツールには、タイプライタ、引出線付きテキスト、およびテキストボックスがあります。

タイプライタを使用する

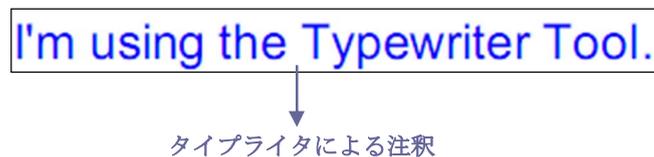
タイプライタは、ユーザがキーボードから入力したテキストを、PDF ドキュメント上に

追加する機能です。タイプライタを使用すると、PDF ドキュメントの任意の位置にテキストコメントを追加することができます。そして追加したコメントは、通常の注釈とは違った形式で表示されます。

ノート: タイプライタは、フォームの入力に使用できます。

参照

["ノンインタラクティブフォームへの入力"](#)



タイプライタによるコメントの追加

- 注釈メニューより、タイプライタを選択します。
- テキストを追加したい位置にポインタを移動してクリックします。
- 改行する場合には、**Enter** キーを押下します。
- テキストの編集を終了する場合は、テキストを入力したエリアの外をクリックします。

タイプライタコメントの編集

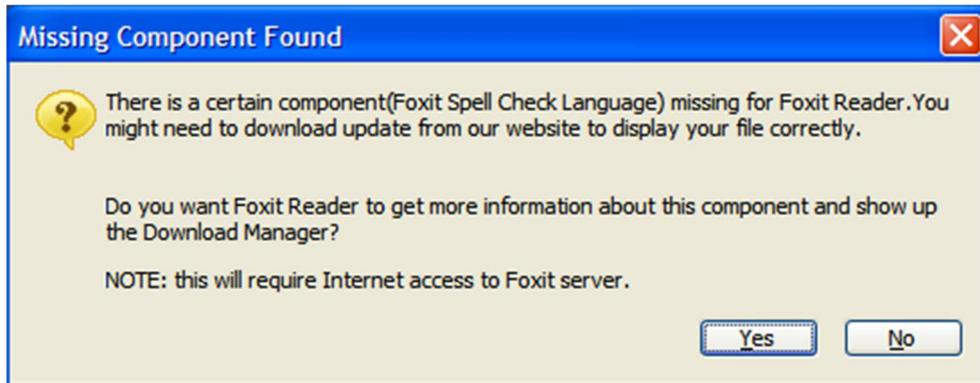
- 注釈メニューより、ツールバーからタイプライタ  を選択します。
- ポインタを編集対象の文字の間に移動してクリックし、タイプライタのテキストフィールドをアクティブにします。
- テキストを編集します。このとき、**Backspace** キーと **Delete** キーを使用して、ポインタの前後の文字を削除することができます。
- 編集を終了する際には、テキストフィールドの外をクリックします。

ヒント: テキストフィールド内で矢印キーを使用すると、ポインタを上下左右に移動することができます。

スペルチェッカーの使用

セキュリティ設定で許可されていれば、タイプライタツールでスペルチェッカーを使用することができます。タイプライタツールで何らかのメッセージを入力しようとしたとき、**Foxit Spell Checker** のコンポーネントがインストールされていなければ、メッセージダイアログが表示され、ダウンロードするかどうかを確認します。[はい] をクリックするとダウンロードを開始します。

なお、このアドオンは **Foxit J-Reader Plus** にデフォルトでインストールされています。
また、["Spell Checker"](#) を参照してください。



Spell Checker がインストールされていれば、タイプライタツールで英文を入力する際に、このツールがスペルミスを発見し、波線で強調して指摘します。

- スペルミスした単語の上で右クリックすると、正しいスペルの候補リストが表示されます。
- 候補リストから正しい単語を選択するか、もしくは入力単語に問題がなければ無視します。

タイプライタコメントの移動

以下のいずれかの操作を行ってください:

- 注釈メニューより、ツールバーからタイプライタ  を選択し、以下の手順を実行します:
 - A. ポインタを対象の文字の間に移動し、タイプライタのテキストフィールドをアクティブにします。
 - B. ポインタをテキストフィールドの右端または左端に移動します。
 - C. カーソルが矢印  に変わったらマウスボタンを押し、そのままドラッグして任意の位置に移動します。

ヒント:

- ◇ 文字の間を移動する際は、**Home** キー、**End** キー、および矢印キーが使用できます。
- ◇ タイプライタコメントを移動しているときは、四角形の枠が表示されます。

- (推奨方法) 手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択し、タイプライタコメントをクリックして、任意の位置に移動します。

タイプライタコメントの削除

以下の操作をおこないます：

- 注釈メニューよりツールバーにあるタイプライタ  を選択します。テキストの先頭または最後にカーソルを移動させ、ドラッグしてすべてを選択し、**Delete** キーを押下します。
- (推奨方法) 注釈選択ツール 、または手のひらツールを選択し、テキストフィールドを右クリックして、ポップアップメニューの **[削除]** を選択します。

タイプライタの環境設定

ツールバーにあるタイプライタ  を選択して入力の状態になると、フォーマットメニューが選択できるようになり、ツールバー上でタイプライタの設定が可能になります。フォントスタイル、フォントサイズ、フォントの色、整列などの設定をおこなうことができます。



1. タイプライタのフォントスタイル、フォントサイズ、フォントの色を変更

- タイプライタのフォントスタイルを変更するには、フォントのドロップダウンリストから、フォントを選択します。
- タイプライタのフォントサイズを変更するには、フォントサイズのドロップダウンリストから、サイズを選択します。
- タイプライタのフォントをデフォルトとして設定したい場合、正しいフォントとフォント色を選択する以外の操作は必要ありません。タイプライタツールを終了する際に設定内容は保存され、次にタイプライタツールを使用する際に有効になります。
- タイプライタのフォントの色を変更するには、ツールバーにある、色設定のボタン  をクリックして、必要に応じた色を選択します。

- 現在のタイプライタの文字にボールドを適用するには、ボールドボタン **B** を使用します。
- 現在のタイプライタの文字にイタリックを適用するには、イタリックボタン **I** を使用します。

2. テキストの整列

フォーマットメニューにあるテキスト整列のボタンを使用して、入力したテキストの整列

が行えます。これらのボタンは、複数の行を整列させる際に使用します。

- テキストを左揃えにするには、左揃えボタンをクリックします。
- テキストを中央揃えにするには、中央揃えボタンをクリックします。
- テキストを右揃えにするには、右揃えボタンをクリックします。

3. 文字間隔と文字幅の変更

- 文字間隔を変更するには、フォーマットメニューにある [文字の間隔] ボタンをクリックして、文字間隔ダイアログを開きます。ダイアログの [間隔] のフィールドに文字間隔 (ポイント) を入力して、[OK] ボタンをクリックします。

ノート: 文字間隔の値は 0 以上でなければなりません。

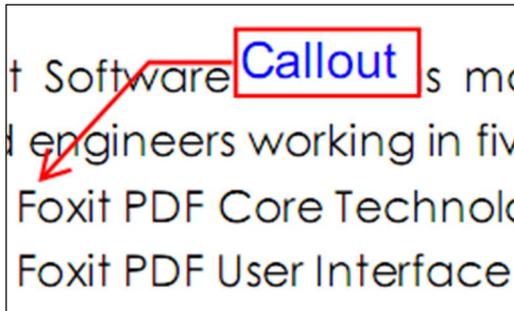
- タイプライタコメントの文字の水平方向倍率を変更するには、フォーマットメニューにある [文字の水平方向倍率] ボタンをクリックしてドロップダウンリストから選択するか、[その他] をクリックして水平方向倍率ダイアログを開き、倍率を入力します。
- タイプライタコメントの改行の幅を設定する場合、フォーマットメニューにある [行間] ボタンをクリックして行間ダイアログを開き、[現在の値を設定] のフィールドに値入力して [OK] をクリックします。

テキストボックスや引出線付きテキストでの注釈の追加

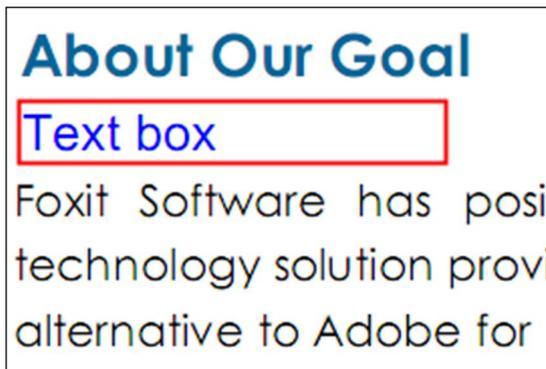
引出線付きテキストとテキストボックスは、ユーザが引出線付きテキストボックスやテキストボックス形式で注釈を追加するための機能です。

引出線付きテキストは、ドキュメント内の特定の場所 (曖昧な場所ではなく) を指摘する場合に特に有効です。

引出線付きテキストは、テキストボックス、矢印、および終端線という三つのパーツで構成されています。



テキストボックスは、任意のサイズの長方形で、他のインタフェースとの境界を設定し、ユーザがテキスト情報を入力できるようになっています。テキストボックスはドキュメント内に常に見える状態で残ります。ポップアップノートのように閉じることは出来ません。



ノート: 引出線付きテキストやテキストボックスに、日本語、中国語、韓国語のテキストを追加するためには、**Eastern Asian Language module** をインストールする必要があります。また、引出線付きテキスト、およびテキストボックスは、横書きのテキストにのみ対応です。なお、**Foxit J-Reader** には、デフォルトで **Eastern Asian Language module** がインストールされています。

引出線付きテキストやテキストボックスの追加

- 注釈メニューより [引出線付きテキスト]、または [テキストボックス] をクリックします。
- 引出線付きテキスト、またはテキストボックスを挿入する場所をクリックします。
- テキストを入力します。入力したテキストがボックスの右端までいくと、自動的に折り返します。

引出線付きテキストとテキストボックスのリサイズ、移動、編集、および削除

手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択し、以下のいずれかの操作を

実行します:

- 引出線付きテキストやテキストボックスをリサイズするには、対象を選択し、表示されたハンドルของいずれかをドラッグします。
- 引出線付きテキストやテキストボックスを移動するには、対象を選択し移動先までドラッグします。
- テキストボックスや引出線付きテキストの、境界線の色や背景色を設定する場合は、フォーマットメニューにある [境界線の色] ボタン 、または [塗りつぶしの色] ボタン  をクリックします。
- 引出線付きテキストやテキストボックスを削除するには、対象を選択し **Delete** キーを押下するか、対象を右クリックしてポップアップメニューの [削除] を選択します。

引出線付きテキストとテキストボックスの整列とセンタリング

- 手のひらツール 、または注釈選択ツール  を選択します。
- 以降の操作は、[“複数の画像に対する操作”](#) を参照してください。

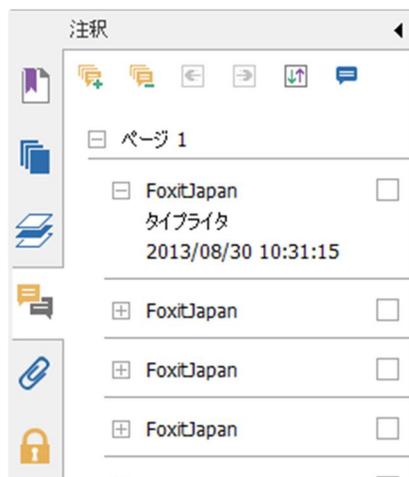
引出線付きテキストとテキストの環境設定

[“タイプライタの環境設定”](#) を参照してください。

注釈を使用する

注釈を参照

- 注釈パネルを開くには、表示メニュー > ナビゲーションパネル > 注釈、と操作します。



注釈パネル

注釈パネルでは、以下のような機能が提供されています：

すべて展開  - すべての注釈が展開されて表示されます。

すべて閉じる  - すべての注釈を閉じて格納します。

次へ  - 注釈パネルに表示された次の注釈に移動します。

前へ  - 注釈パネルに表示された前の注釈に移動します。

並べ替え  - 注釈パネルの一覧表示は、作成者名、ページ番号、注釈の種類、作成日付等により並べ替えることができます。

- 注釈テキストはポップアップノート、またはマークアップアイコンの中に表示され、ポップアップノートを閉じている時は、ツールチップのように動作します。
- 行の多い注釈テキストを入力した場合、ポインタがポップアップノートの外に移動すると、注釈の一部だけが表示され、残りは…と表示されます。その後、メッセージボックスの内部をクリックすると、スクロールバー付きで全体を見ることが出来るようになります。

注釈の表示/非表示 - 注釈パネルの右上のアイコン  をクリックして、注釈を表示、または非表示にします。

ステータスの設定

ステータスの設定は、注釈を読んだかどうかなど、足跡を残すのに非常に有効です。注釈は、承認、却下、キャンセル、完了等、状態を示す目的で使用できます。

注釈のステータスを設定することで、いくつかの注釈を公開や、非公開にすることができ、レビューの参加者に注釈をどのように扱う予定なのか等を知らせることができます。一度レビューのステータスが設定されると、どのような操作を行っても、履歴を削除する事はできません。

注釈のステータスを変更：

- 手のひらツール、注釈選択ツール、または各注釈ツールを選択し、ステータスを変更する注釈を右クリックして、ポップアップメニューから、ステータスを設定 > ステータスの選択、と操作します。
- 履歴を参照する場合は：
 - A. マークアップを右クリックし、ポップアップメニューの [プロパティ…] を選択します。
 - B. プロパティダイアログで、[レビュー履歴] タブを選択し、履歴を参照します。

注釈のチェックマークの設定

チェックマークの設定は、注釈を読んだかどうか、さらにアクションが求められているかどうかなど、足跡を残すのに非常に有効です。必要に応じて個々の注釈にチェックマークを付けることができます。

注釈のチェックマークを設定するには、以下の手順を実行します：

- 表示メニュー > ナビゲーション > 注釈、と操作します。
- 注釈パネルの [すべて展開] ボタン  をクリックして対象の注釈を表示すると、その右隣にチェックボックスが表示されます。
- チェックボックスをクリックして、注釈にチェックマークを設定します。
- (推奨方法) 設定したい注釈を右クリックして、ポップアップメニューを表示し、[チェックを付ける] を選択します。

注釈にチェックマークをつけることで、チェックのステータスによる並べ替えが可能です。より便利に注釈を参照できます。

マークアップのプロパティの変更

ノート注釈やマークアップの作成前、または作成後に、色や表示方法を変更することができます。また、変更後の状態を新しくデフォルト値に設定することができます。

ノート注釈の表示方法の変更

1. ノート注釈の作成後、ノートのアイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [プロパティ...] を選択するか、またはポップアップノートの [オプション] メニューを開き、[プロパティ...] を選択して、[ノートプロパティ] ダイアログを開きます。



2. ノートプロパティのダイアログで、以下のいずれかの操作を行います。変更後、[閉じる] ボタンをクリックして設定を完了します：

- [表示方法] タブをクリックして、コメントの色と不透明度を変更します。
- [一般] タブをクリックして、作成者名とコメントのタイトルを変更します。
- [レビュー履歴] タブをクリックして、各レビューアーのレビュー中のコメントやステータスを参照します。

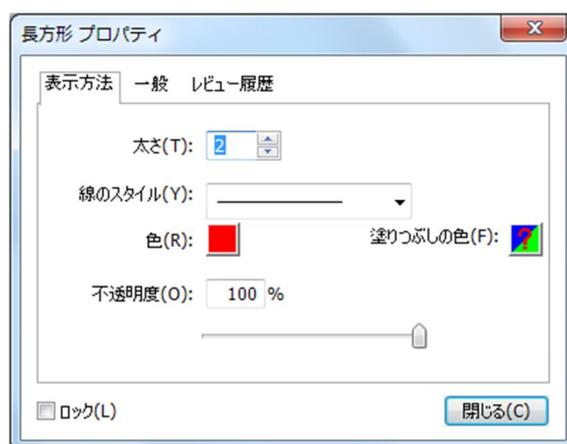
参照：["ステータスの設定"](#)

- [アイコン] タブをクリックして、アイコンのタイプを変更します。
- [ノートプロパティ] ダイアログ左下の、[ロック] オプションを選択すると、該当注釈に対するプロパティの変更や、注釈の削除を防止することができます。
- [ノートプロパティ] ダイアログ右上のボタン  を使用すると、ダイアログ内のタブの選択を簡単におこなうことができます。

テキストマークアップのプロパティ変更

- ["ノート注釈の表示方法の変更"](#) を参照してください。
- テキストマークアップのプロパティには、[アイコン] タブはありません。

描画した図形のプロパティの変更



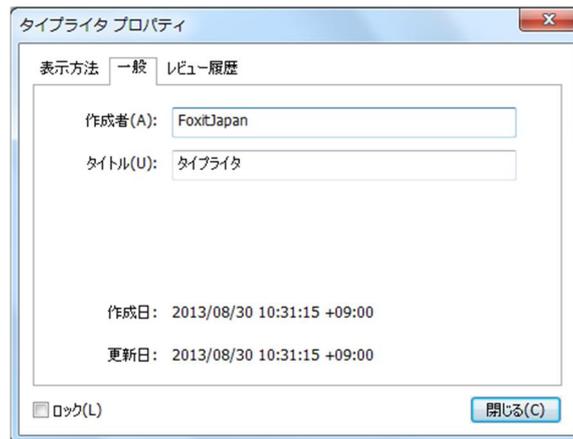
プロパティダイアログで以下のいずれかの操作を行い、[閉じる] ボタンをクリックして完了します:

- [表示方法] タブをクリックし、色、不透明度、塗りつぶしの色、線のスタイルなどを変更します。線、四角形、円など、選択した図形の種類により、プロパティダイアログの内容は異なります。
- [一般] タブをクリックし、作成者名やコメントのタイトルを変更します。
- [レビュー履歴] タブをクリックして、各レビューアーのレビュー中のコメントやステータスを参照します。

参照: ["ステータスの設定"](#)

- [プロパティ] ダイアログ左下の、[ロック] オプションにチェックすると、該当コメントに対するプロパティの変更や、コメントの削除を防止することができます。

タイプライタコメントのプロパティの変更



- [表示方法] タブをクリックし、不透明度を変更します。
- [一般] タブをクリックし、作成者、タイトルなどを変更します。
- [レビュー履歴] タブをクリックし、各レビューアーのレビュー中のコメントやステータスを参照します。

参照: ["ステータスの設定"](#)

- ダイアログ左下の、[ロック] オプションを選択すると、該当コメントに対するプロパティの変更や、コメントの削除を防止することが出来ます。

ノート: タイプライタの表示方法の設定では、不透明度のみ設定可能です。

テキストボックス、および引出線付きテキストのプロパティの変更

["描画した図形のプロパティの変更"](#) を参照してください。

ノート: 注釈ツール選択時のいつでも、ESC キーを押下することで手のひらツール  に切り替えることができます。

現在のプロパティをデフォルトとして使用の設定

Foxit J-Readerは現在表示している注釈のプロパティ設定を、簡単にアプリケーションのデフォルト設定にできます。例えば、ハイライトの色と不透明度を設定したときに、そのハイライト注釈を右クリックして、ポップアップメニューより [現在のプロパティをデフォルトとして使用] をクリックして適用します。次回、コンテンツをハイライト表示したときに、以前適用した色と不透明度が設定されています。

現在のプロパティをデフォルトとして使用するには、以下のいずれかの操作を実行します:

- PDF内の注釈を右クリックして、ポップアップメニューより [現在のプロパティをデフォルトとして使用] を選択します。
- 注釈のポップアップノートの [オプション] を選択し、メニューより [現在のプロパティをデフォルトとして使用] を選択します。

注釈の返信

注釈への返信は、参加者が相互に注釈を参照できるので、レビューを共有するのに大変有効です。返信はまた、レビューを開始した人が、各レビューアーの提案がどのように履行されたか知らせる場合にも使用できます。すべての返信はポップアップノートの中に表示され、オリジナルの注釈の下に一覧表示されます。レビューへの参加者は、タイトルとマークでそれぞれの返信を見ることが出来ます。

1. ポップアップノートの中で、オリジナルの注釈に返信する

- 手のひらツール、注釈選択ツール、または注釈に対応するツールを選択し、対象の注釈のポップアップノートを開きます。
- ポップアップノートの中のオリジナルの注釈を右クリックし、ポップアップメニューの [返信] を選択します。または、PDFドキュメント上の注釈アイコンを右クリックし、ポップアップメニューの [返信] を選択します。
- 表示されたポップアップノートの中のテキストボックスに、返信を入力します。

2. 他のレビューアーの注釈に返信する

- 手のひらツール、注釈選択ツール、または注釈に対応するツールを選択し、対象コメントのポップアップノートを開きます。
- ポップアップノートの中の他のレビューアーの注釈を右クリックし、ポップアップメニューの [返信] を選択します。
- レビューアーの注釈下に返信用のエリアが作成されますので、注釈を追加します。

3. 返信を削除する

ポップアップノートの中で、削除するコメントを右クリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

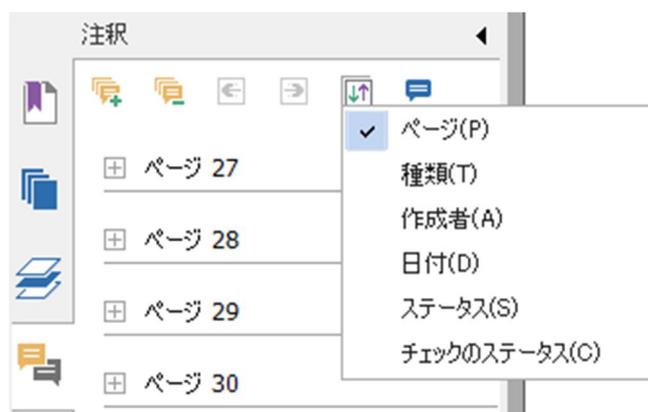
ノート: 注釈のアイコンを右クリックして [削除] を選択すると、マークアップが削除されます。

注釈の並べ替え

通常、注釈はドキュメントのページ毎にリスト表示されますが、種類、作成者、日付、ステータス、チェックのステータスで簡単に並べ替えることができます。

注釈を並べ替えるには、以下の手順を実行します：

- 表示メニュー > ナビゲーションパネル > 注釈、と操作します。
- 並べ替え  をクリックして、該当のオプションを選択します。



- ページ：注釈が配置されたページによって並べ替えます。
- 種類：タイプライタ、ノート注釈、ファイル添付など、注釈の種類によって並べ替えます。
- 作成者：注釈の作成者によって並べ替えます。
- 日付：作成された日付によって並べ替えます。
- ステータス：承認、却下、完了など、ステータスによって並べ替えます。
- チェックのステータス：チェックマークによって並べ替えます。

注釈の一覧

[注釈の一覧を作成] により、PDFファイルに付けられた注釈を簡単にまとめることが出来ます。注釈の一覧を作成し、それを新たなPDFファイルとして生成することも可能です。注釈を要約することで、ページ、作成者、作成日時、種類によってソートできるなど、様々な要件を満たすことが出来ます。また、注釈の一覧を作成する際の用紙サイズ、余白、ページ範囲、フォントサイズなどの設定を行うことが出来ます。

1. 注釈メニューの [注釈の管理] リボンより、[注釈の一覧を作成] を選択します。
2. [注釈の一覧を作成] ダイアログにて、以下の設定をおこなってください：
 - どのようなレイアウトで注釈の一覧を作成するか選択します。
 - すべての注釈、テキスト、線など、対象となる注釈を選択します。
 - [用紙サイズ] にて、A4、A3など、注釈の一覧として作成するページのサイズを選択します。
 - フォントサイズを選択し、[注釈の並べ替え] でソート方法を選択します。

- ページ範囲を指定します。
 - コネクタラインを含む文書として作成する場合は、コネクタラインの色と不透明度を設定します。
3. [OK] をクリックして、注釈の一覧を新規のPDFに作成します。このPDFは必要に応じて保存することができます。

注釈の読み込みと書き出し

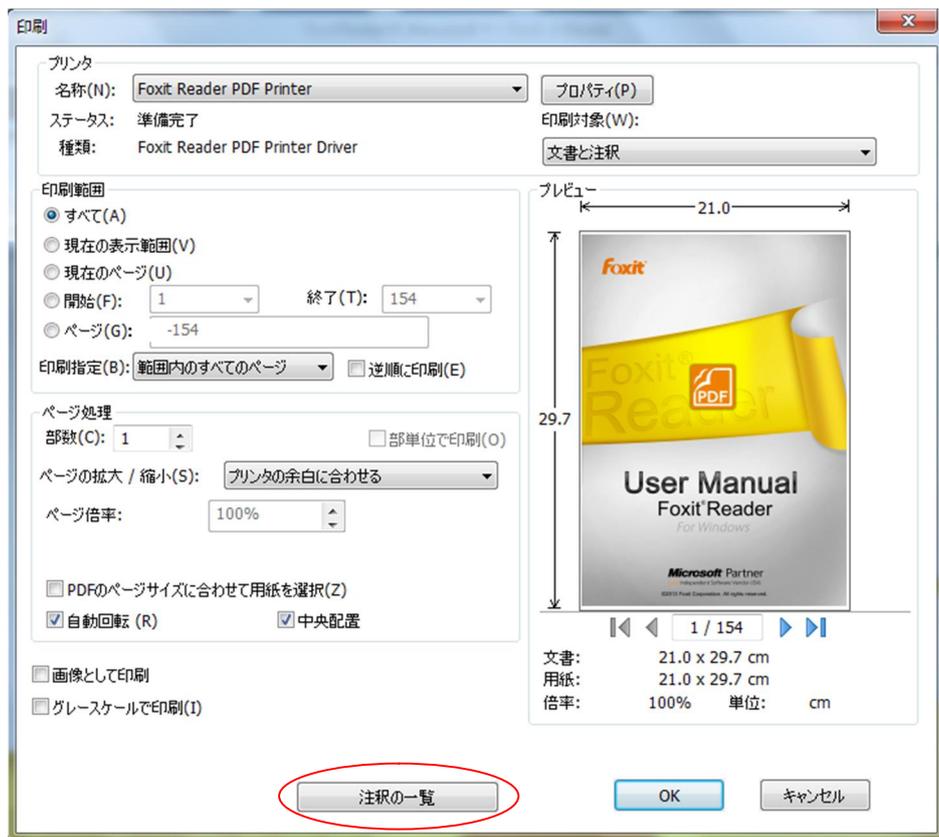
["注釈データの読み込みと書き出し"](#) を参照してください。

注釈の印刷

Foxit J-Readerはドキュメントを印刷する際、注釈の一覧を含めて印刷することができます。

印刷に注釈の一覧を含めるには、ファイルメニュー > 印刷 > [注釈の一覧] ボタンをクリックします。

印刷に注釈の一覧を含めるかを確認するダイアログが表示されます。[はい] をクリックすると注釈の一覧が印刷する内容として追加されるので、そのまま印刷操作を続行します。



注釈をつけた **PDF** ドキュメントの送信

Foxit J-Readerを使用すれば、簡単にレビューを共有することができます。ユーザは注釈を追加した **PDF** ドキュメントを別のレビューアーに送り、内容の確認や返答を求めることができます。

注釈を追加した**PDF**ファイルの送信方法は以下の通りです：

- 上書き保存ボタン  をクリックして、追加した注釈を保存します。
- 共有メニュー > 電子メール、と操作します。

ノート： 電子メールを送信する前にドキュメントを保存しなかった場合、**Foxit J-Reader**は送信前に保存するかどうかを確認するメッセージを表示します。

第6章 - フォーム

Foxit J-Readerはフォーム入力、フォームデザインをするのに大変有効です。詳細は以下をお読みください。

概要

フォームを持つファイルには2種類あります。一つは入力可能なフィールドを持ったPDFファイルです。このファイルは、他の機能を使うことなく、フォーム上のフィールドを直接クリックして入力することが出来ます。このようなフォームは、インタラクティブPDFフォームと呼ばれています。もう一方のファイルは、テキストと線だけで構成される通常のPDFファイルで、情報を入力するにはFoxit J-Readerのタイプライタ機能が必要です。このようなフォームは、ノンインタラクティブPDFフォームと呼ばれています。

フォームに関するナビゲーションや表示調整は、一般のPDFとまったく同じ方法でおこないます。

インタラクティブフォーム

インタラクティブフォームを持つPDFを開くと、Foxit J-ReaderのUIとPDFドキュメントの間に、ドキュメントメッセージバーが表示されます。メッセージバーを非表示にするには、右端の [閉じる] ボタン  をクリックして、メッセージバーを閉じてください。該当ドキュメントを再度開いたときにメッセージバーを表示したくない場合は、ファイルメニュー > 環境設定 > [フォーム] タブの [文書メッセージバーを常に非表示] オプションを選択、と操作してください。文書メッセージバーを表示する場合は、同じ操作を行います。



メッセージバー左側のメッセージ表示は、通常このドキュメントが入力可能なフォームを含むことをユーザに知らせます。メッセージバー右側には二つのボタンがあります。[フィールドをハイライト表示] のボタンは、入力の必要なフィールドで何も設定されていないものがあると、そのフォームフィールドの背景と外枠をハイライト表示します。この結果一目で入力の必要な部分を確認できます。クリックするとフィールドをハイライト表示し、また表示をキャンセルします。もう一つのボタンは [閉じる] ボタン  です。クリックするとメッセージバーを閉じます。

XFA (XML Forms Architecture) フォーム

Foxit J-Readerを使用すれば、通常のインタラクティブフォーム (AcroForm) への入力と同様、手のひらツール  で [XFA form](#) に入力することができます。

参照 [“フォームの設定”](#)

ノンインタラクティブフォーム

文書メッセージバーは表示されません。この種類のフォームは、テキストだけで構成されている通常のPDFドキュメントと同様の動作をし、情報を入力するにはタイプライタ機能を使う必要があります。

PDFフォームへの入力

PDFフォームオペレーション: Foxit J-Readerは、PDFフォームへの入力や印刷だけでなく、入力したフォームの保存や、フォームデータの読み込み/書き出しなど、高度なフォームの操作もサポートしています。

インタラクティブフォームへの入力

PDFドキュメントにインタラクティブフォームフィールドがある場合、手のひらツール  を使用して入力します。ポインタをインタラクティブフォームフィールド上に移動した時、ポインタのアイコンが以下のいずれかに変わります:

- ポインティングフィンガー  -- ポインタがボタン、ラジオボタン、チェックボックス、またはリスト中のアイテム上にある場合、この状態になります。
- 矢印  -- オプションリストの中からアイテムを選択できる場合にこの状態になります。
- アイビームアイコン  -- フォームフィールドにテキストを入力できる場合、この状態になります。

インタラクティブフォームに入力する場合は、以下のいずれかの操作を行います:

- 必要であれば、手のひらツール  を選択します。
- (オプション) フォームフィールドの存在をわかりやすくするため、文書メッセージ

バーの [フィールドをハイライト表示] オプションを選択してください。フォームフィールドの背景に色 (デフォルトは黄色) が付いて表示されます。

- 最初に入力するフィールドをクリックして、オプションの中から選択するか、ポインタがアイビーム  になって入力を開始できる位置にポインタを置きます。
- テキストフィールドを右クリックして [貼り付け] を選択するか、または別の操作を行うために [すべてを選択] を選択します。
- オプションの選択やテキストの入力が終わった後、以下のいずれかの操作を行います:
 - A. **Tab** キー、または **Shift + Tab** キーを押下して、該当するフィールドの操作を終了し、次または前のフォームフィールドに移動します。
 - B. 上下の矢印キーを操作して、アイテムリスト内の、前または次のオプションに移動します。
 - C. フォームへの入力データをリセットする場合、**ESC** キーを押下します。

ノート: 操作しているフィールドが 1 行のテキストボックスの場合、**Enter** キーを押下すると、タイピングを終了して該当フィールドの操作を終了します。テキストボックスの中で改行することは出来ません。一方、複数行入力可能なテキストボックスの場合、**Enter** キーを押下すると同じフィールドの中で改行します。また、チェックボックスを操作している場合、**Enter** キーまたは **Space** キーを押下することで、チェックボックスのオンとオフを切替えます。

- フォームフィールド入力の終了後は、以下のいずれかの操作を行ってください:
 - A. [送信] ボタンがあれば、それをクリックします。この操作により、フォームのデータは、**Web** 経由または会社内のイントラネットを経由してデータベースに送信されます。
 - B. リボンにある上書き保存アイコン  をクリック、またはファイルメニュー > 上書き保存、と操作します。
 - C. ファイルメニュー > 名前を付けて保存...、と操作し、保存先を指定します。

ノート: フォームの作成者が **Foxit J-Reader** のユーザに対して拡張した権限を与えている場合、[名前を付けて保存...]を行うと、フォームに入力した情報も保存されます。権限が与えられていない場合は、フォームの中が空白の状態です。

- フォームを印刷します。

特定のフォームフィールドをクリアする

フォームフィールドをクリックし、**Backspace** キーまたは **Delete** キーを使用してクリアします。

すべてのフォームフィールドのエントリーをクリアする

フォームメニュー > フォームをリセット、と操作します。

ブラウザ内のフォームをクリアする

以下のいずれかの操作を行います：

- フォームメニュー > フォームをリセット、と操作します。この操作は [元に戻す] できません。
- ブラウザを終了し、再起動します。

ノート: Web ブラウザの [リロード]、[リフレッシュ]、[Back (戻る)]、または [Go Back (戻る)] ボタンや、ほかのページへのリンクでは、フォームのクリアが完全にはできないことがあります。

長いフィールドへの入力

PDF フォームにはダイナミックテキストフィールドを含む場合があります。ダイナミックテキストフィールドは、入力した文字の表示サイズを、テキストフィールドに収まるサイズに変更します。入力したテキストが多くなり現在のサイズで表示できなくなると、表示されるテキストのサイズはより小さくなります。

テキストの入力を終了し、該当フォームフィールドがアクティブでなくなった時、テキストフィールドはより小さなサイズで入力したテキスト全体を表示します。

フォーム入力のスペルチェック

セキュリティ設定で許可されていれば、フォームフィールドやフォームデザイナの入力テキストに **Spell Checker** を利用できます。

Spell Checker がインストールされていれば、フォームフィールドに英文テキストを入力すると、スペルミスがあればハイライト表示され、波線で指摘されます。

入力テキストに **Spell Checker** を使用するには、以下の手順を実行します：

- スペルミスした単語の上で右クリックすると、変換候補リストが表示されます。
- 候補の一つを選択して正しい単語を入力し、波線が表示されないようにします。
- 変換候補に入力すべき単語が提示されない場合は、別の単語で再度、正しく入力してください。

ノート : Foxit J-Reader Plus には、**Spell Checker** がデフォルトでインストールされています。

ノンインタラクティブフォームへの入力

PDF フォームにノンインタラクティブフォームフィールドがある場合、タイプライタツールを使用して入力することが出来ます。ポインタがノンインタラクティブフォームフィールド上に移動しても、ポインタのアイコンは変化しません。

ノンインタラクティブ PDF フォームは、印刷して手書きで記入することができます。もしくは、タイプライタボタンをクリックしてフォーム上にテキストを入力し、保存または印刷して入力を完了します。

タイプライタを使用してノンインタラクティブフォームに入力する場合や、入力したテキストのスペルチェックを行う場合の詳細については、["タイプライタを使用する"](#)を参照してください。

フォームに注釈を追加する

PDF フォームの位置にも他の PDF のページと同様に、注釈を配置することが出来ます。ただし、作成者がユーザに権限を与えている場合に限りです。

PDF フォームに配置した注釈が送信データに含まれるかどうかは、送信する方法に依存します。例えば、Foxit J-Reader を利用して E-mail や Fax 用に印刷した場合は、注釈は出力結果には含まれず、完成した PDF として E-mail に添付する際には注釈が含まれると言う具合です。また、注釈だけを取り出して E-mail に添付することも出来ます。

参照 ["第五章 - 注釈"](#)

フォームデータの読み込みと書き出し

["注釈データの読み込みと書き出し"](#) を参照してください。

第 7 章 - 読み込みと書き出し

PDF のデータは FDF ファイルに対し、読み込み、書き出しを実行することが出来ます。FDF は、Forms Data Format の略で、インタラクティブフォームデータのためのファイル形式です。このファイル形式は、サーバへの送信、サーバからのレスポンスの受信、そしてインタラクティブフォームへの組み込みに使用されます。FDF ファイルは、フォームデータを独立した電子ファイルとして保存、伝送することができ、対応する PDF インタラクティブフォームへの再読み込みをするためにも使用できます。また、FDF は PDF ドキュメントから注釈を書き出し、別の PDF ドキュメントに適用するためのコンテナとして使用することも出来ます。そして、PDF ドキュメントを他の人に送る際に、追加した注釈やフォームデータを見られたくない場合、この機能を使用してすべてのデータを書き出しし、フォームをクリアして送ることが出来ます。この方法では、PDF ドキュメントに後から付け加えたデータはすべて削除することが出来ます。

読み込み、書き出し可能なデータには、注釈データとフォームデータの 2 種類があります。注釈データやフォームデータは、FDF ファイルにして顧客や友人などに送信することが出来ます。FDF は、PDF ドキュメントのあらゆるコンテンツを保存するだけでなく、各コンテンツの位置や状態を復元することが出来ます。

注釈データの読み込みと書き出し

この機能は、PDF ドキュメントのレビューに非常に有効です。PDF レビューの参加依頼のメールを受け取ると、通常は PDF ファイルが添付されているか、または PDF の URL が提供されています。しかし、代わりに FDF ファイルを添付したメールを受け取るかも知れません。ファイルを開くと FDF はレビューの状態を設定して、ブラウザの中に PDF を開きます。このとき、FDF ファイルから注釈データを読み込みする方法を知っておく必要があります。また同様に、注釈を書き出して、FDF ファイルとして別のレビュー参加者に送信してもかまいません。

注釈データの読み込み

以下のいずれかの操作を行います:

- Foxit J-Reader で直接 FDF ファイルを開くため、FDF ファイルをダブルクリックします。
- 注釈メニュー > 注釈の管理リボンより、読み込み  を選択 > 対象の FDF ファイルを参照、指定して [開く] をクリックします。読み込みが終了するとメッセージが表示され、注釈が正しく読み込まれたことが確認できます。

注釈データの書き出し

注釈データを書き出しするには、以下のいずれかの操作を行ってください;

- FDF ファイルとして書き出し
 - A. 注釈メニューより注釈の管理リボンにある、書き出し を選択します。
 - B. Windows 標準の [名前を付けて保存] ダイアログが開きますので、FDF ファイルを保存する場所 (例えば、マイドキュメント等) を選び、ファイル名を入力して、[保存] ボタンをクリックします。
 - C. データの書き出しに成功したという内容のメッセージが表示されます。

- 書き出して E-mail で送信
 - A. 注釈メニューより注釈の管理リボンにある、FDF を電子メールで送信 を選択します。
 - B. デフォルトの E-mail プログラムが起動し、FDF ファイルとして書き出しされた注釈データが自動的にメールに添付されます。
 - C. 送信先の E-mail アドレスとタイトルを入力しメールを送信します。
 - D. 注釈データだけが FDF ファイルとして送信されます。

ノート: 注釈のデータをそれぞれ出力するには、その PDF ドキュメントに注釈が付加されている必要があります。

フォームデータの読み込みと書き出し

フォームデータを読み込み、書き出しする方法は、注釈の読み込み、書き出しと似ています。しかしながら、この機能は PDF インタラクティブフォームだけの機能です。読み込み、書き出しのためのすべてのオプションは、一般的な PDF ドキュメントやノンインタラクティブフォームを開いている場合には無効になります。

フォームデータの読み込みと書き出しの方法は、[“注釈データの読み込みと書き出し”](#) を参照してください。

第 8 章 – PDF の編集

Foxit J-Reader は PDF ドキュメントに対する先進的な編集機能をいくつか備えています。しおりの作成、リンクの追加、ファイルの添付、画像の配置、マルチメディアの追加や再生、および JavaScript の実行などを、PDF ファイルで行うことができます。

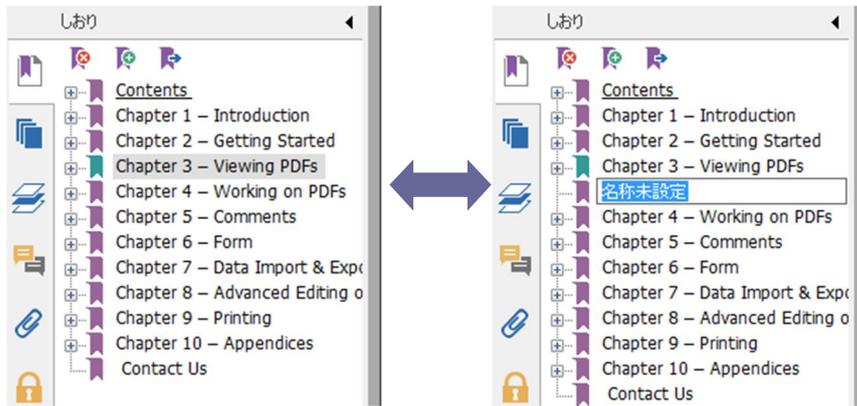
しおりの追加

しおりは、PDF ドキュメントを読みやすくするためのナビゲーションツールです。しおりは通常、PDF ドキュメント生成時に自動的に作成されます。PDF ドキュメントのしおりは、ドキュメント内の特定の場所へのインタラクティブなリンクを提供しており、ユーザは開きたいページのしおりをクリックするだけで、そのページを参照することができます。

しおりは、PDF ドキュメントの中の繰り返し参照したい場所にマークを付けるのに非常に有効な方法です。また、ユーザ独自のしおりの配置や、しおりの名称を設定することができます。Foxit J-Reader のしおり機能を使用すると、セキュリティ設定で許可されている場合、簡単にしおりの階層追加、編集、そして削除等を行うことができます。

しおりの追加

1. しおりからリンクしたいページを表示します。このとき、ズームインやズームアウトなど、ページの調整を設定することも可能で、しおりからジャンプする際に、設定した表示倍率等、調整後の状態に変更されます。
2. しおりを作成する際には、手のひらツール  を選択します：
 - 特定のページの任意の部分にしおりを設定する場合、しおりの対象の部分をウィンドウの中央に移動し、必要により画面の倍率等を調整します。
 - 選択した任意のテキストに対してしおりを設定する場合は、テキスト選択ツール  を使用します。テキストを選択して右クリックメニューより [しおり] を選択、または **Ctrl+B** を押下して設定します。選択したテキストが新しいしおりのラベルになります。
3. 新しいしおりを追加する位置の上のしおりを選択します。既存のしおりを選択しないで新しいしおりを追加すると、追加されたしおりはリストの最後に表示されます。



4. しおりパネルにあるしおりの追加アイコン をクリックするか、または、選択したしおり上で右クリックし、ポップアップメニューの [しおりを追加] を選択してください。
5. 追加したしおりの名称を編集して、**Enter** キーを押下します。

しおりの移動

移動したいしおりを選択し、以下のいずれかの操作を行います：

- 選択したしおりのアイコン をドラッグし、移動先でドロップします。この時、表示されたライン でしおりの移動先を確認してください。上のしおりと同じ階層に移動することも、上のしおりの一つ下の階層に移動する事も出来ます。
- 移動するしおりのアイコン 上で右クリックし、ポップアップメニューの [切り取り] を選択します。次に、移動先の上のしおりを右クリックし、ポップアップメニューの [選択したしおりの後に貼り付け] を選択すると、そのしおりと同じ階層の下に移動されます。

ノート： しおりを移動した場合、しおりのリンク先は変わらず、しおりだけが移動されます。

しおりの配置を編集

しおりの階層構造は全体のアウトライン、もしくはあるしおりを別のしおりの下に配置している階層状の構造と言えます。そしてこれは、PDF ファイル中のしおりの全体像を表示する効果的な方法でもあります。Foxit J-Reader では、しおりパネルの中のしおりアイコンをドラッグ&ドロップすることにより、多階層のしおりを定義することが出来ます。

しおりのネスト

ネストするしおりを選択し、以下のいずれかの操作を行います：

- 選択したしおりのアイコン をドラッグし、親となるしおりの下でドロップします。このとき、ラインアイコン で移動先を確認してください。ドロップする位置により、上のしおりと同じ階層に移動することもありますので注意してください。
- しおりのアイコン 上で右クリックし、ポップアップメニューの [切り取り] を選択します。次に、親となるしおりの上で右クリックし、ポップアップメニューの [選択したしおりの下に貼り付け] を選択します。このとき [選択したしおりの後に貼り付け] を選択すると、上のしおりは親の階層とならず、同じ階層となります。

ノート：しおりのリンク先は変わらず、しおりだけが移動され、ネストした状態になります。

しおりをネストした位置から移動する

移動したいしおりを選択して以下のいずれかの操作を行います：

- 移動するしおりのアイコン をドラッグし、親のしおりの隣でドロップします。このときラインアイコン で、移動先の位置を確認してください。
- 移動するしおりのアイコン 上で右クリックし、ポップアップメニューの [切り取り] を選択します。次に、親のしおりの上で右クリックし、ポップアップメニューの [選択したしおりの後に貼り付け] を選択します。

ノート：しおりのリンク先は変わらず、しおりの位置が移動されます。

しおりの展開と折りたたみ

- しおりアイコンの隣にあるプラスサイン (+) をクリックすると子階層のしおりがすべて表示されます。マイナスサイン(-) をクリックすると、しおりのリストをたたみます。
- PDF ドキュメントの開いているページに対するしおりを選択するには、ブックマークパネルの上部にある [選択したしおりを展開] ボタン をクリックします。

参照：[現在のしおりを展開する](#)

しおりの編集

Foxit J-Reader では、セキュリティの設定で許可されていれば、しおりの編集、変更、移動を簡単に行えます。

しおりのリネーム

しおりパネルの中の、リネームしたいしおりの上で、右クリックします。次に、ポップアップメニューの [しおり名を変更] を選択し、新しい名前を入力します。

しおりのリンク先変更

以下の操作を行います：

- PDF ドキュメントの中で、新しくしおりのリンク先に設定したい場所に移動します。
- (オプション) 必要に応じてドキュメント部分の拡大や縮小を設定します。
- しおりを右クリックし、ポップアップメニューの [移動先を設定] を選択します。

しおりのフォントスタイルを変更する

しおりを設定した文字を読みやすくするため、フォントスタイルやフォントカラーを変更することができます。

- しおりパネルの中で、フォントスタイルを変更するしお리를選び、右クリックして、ポップアップメニューの [プロパティ] を選択します。
- プロパティダイアログの中で、[表示方法] タブをクリックし、スタイルと色を選択します。

ノート： しおりのフォントスタイルを変更した後、そのしおりを右クリックし、ポップアップメニューから [現在の表示方法をデフォルトとして使用] を選択することにより、変更後の内容をしおりのデフォルト値に設定することができます。

しおりにアクションを追加

しおりはアクションを実行することも出来ます。例えば、ファイルを開く、メニューアイテムの実行、フォームを送信する等です。

1. しおりを右クリックし、ポップアップメニューの [プロパティ] を選択します。
2. しおりのプロパティダイアログの中で、[アクション] タブをクリックします。
3. [アクションを選択] コンボボックスのドロップダウンリストを開き、アクションを選択して [追加] ボタンをクリックします。その後以下の操作を行います：

- トリガを選択 - マウスボタンを放す等、アクションを開始するためのユーザのアクションを選択します。
- アクションを選択 - [ページビューに移動]、[ファイルを開く/実行する]、[Web リンクを開く]、[フィールドを表示/非表示]、[メニュー項目を実行]、[フォームを送信]、[フォームをリセット]、[フォームデータを読み込み]、そして[JavaScript を実行]の中から、イベント発生時のアクションを選択します。

A. ページビューに移動 - 特定のページにジャンプします。現在の PDF のページだけでなく、別の PDF のページも指定できます。また、現在のズーム設定の変更や、位置の指定もできます。特定のページへのジャンプを設定するには、[ページビューに移動] オプションを選択して [追加...] ボタンをクリックし、以下のいずれかの操作を行います：

- ☆ 現在のドキュメントでの位置の設定 - ドキュメントをスクロールして、ジャンプ先として設定したい位置に移動します。そして、表示されている [ページ移動] ダイアログの [この位置に設定] ボタンをクリックします。
- ☆ 別の PDF ドキュメントでの位置の設定 - ツールバーにある [開く] ボタン  をクリック > ジャンプ先に設定する PDF を選択 > ジャンプ先に設定するページまでスクロールし、ページ内のポジションを決定 > 表示されている [ページ移動] ダイアログの [この位置に設定] ボタンをクリックします。

ノート: 新しい PDF ドキュメントは、別のウィンドウではなく、現在のウィンドウの中に開きます。

- ☆ 表示の拡大率を変更する -- 現在のドキュメントまたは別のドキュメントをスクロールし > ジャンプ先に設定する位置に移動 > 移動先で拡大率を変更 > 表示されている [ページ移動] ダイアログの [この位置に設定] ボタンをクリックします。
- ☆ 操作を無効にするには、[ページ移動] ダイアログの [キャンセル] ボタンをクリックします。

B. ファイルを開く/実行する - 別のファイルのオープンを設定します。この設定は、以下の操作で行います：

- ☆ [ファイルを開く/実行する] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [開く] ダイアログでファイルを選択し [OK] をクリック、と操作します。

C. Web リンクを開く - Web リンクのオープンを設定します。操作は以下の通りです：

- ☆ [アクションを選択] ドロップダウンリストで [Web リンクを開く] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [URL の編集] ダイアログで設定する Web サイトの URL を入力し [OK] ボタンをクリックします。

D. フィールドを表示/非表示 - [アクションを選択] ドロップダウンリストで [フ

フィールドを表示/非表示] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [フィールドを表示/非表示] ダイアログで対象のフィールドと [表示] または [非表示] を選択して [OK] ボタンをクリック、と操作します。

- E. メニュー項目を実行 - [アクションを選択] ドロップダウンリストで [メニュー項目を実行] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [メニュー項目の選択] ダイアログで実行するメニュー項目を選び [OK] ボタンをクリック、と操作します。
- F. フォームを送信 - [アクションを選択] ドロップダウンリストで [フォームを送信] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [フォームを送信] ダイアログで、送信の方法、書き出しの形式、対象のフィールドを設定して [OK] ボタンをクリック、と操作します。
- G. フォームをリセット - [アクションを選択] ドロップダウンリストで [フォームをリセット] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [フォームをリセット] ダイアログでリセットするフィールドを選択して [OK] ボタンをクリック、と操作します。
- H. フォームデータを取り込む - [アクションを選択] ドロップダウンリストで [フォームデータを取り込む] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [ファイルを開く] ダイアログで読み込む FDF ファイルを選択し、[開く] ボタンをクリック、と操作します。
- I. JavaScript を実行 - [アクションを選択] ドロップダウンリストで [JavaScript を実行] を選択 > [追加...] ボタンをクリック > [JavaScript を編集] ダイアログで JavaScript を入力して [OK] ボタンをクリック、と操作します。

- アクション - 設定したアクションとトリガが表示されます。
- [上へ] ボタン、[下へ] ボタン - トリガの下に表示されているアクションの順序を変更します。(一つのトリガに対して複数のアクションを設定している場合だけ有効になります)
- [編集] ボタン - 選択したアクションのオプションを設定するダイアログが開きます。[アクション] リスト内のアクション名をダブルクリックしても、同じダイアログが開きます。
- [削除] ボタン - 選択したアクションを削除します。

しおりの削除

しおりを削除するには、以下の操作のいずれかを行ってください:

- 削除したいしおりを選択し、しおりパネルの上にある [削除] ボタン  をクリックします。
- 削除したいしおり上で右クリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

ノート: しおりを削除すると、下位のしおりも削除されます。

リンクの追加

長方形リンクを使用して、PDF ファイルの特定のページ、名前の付いている場所、外部のファイル、そして Web サイト等へのリンクを設定することができます。また、リンクを設定する際、境界の太さ、境界のスタイル、境界の色等、表示方法を変更することも出来ます。この機能は、読み手を関連する記事や、参照先、または外部の Web ページに導く手助けとなります。

長方形リンクの追加

[長方形リンク] を使用して、PDF に長方形のリンクを追加することができます。

リンクを追加するには以下の操作を行ってください：

- 編集メニューより、挿入リボンにあるリンクツール  を選択します。
- リンクを追加する位置にカーソルを移動し、マウスボタンをホールド、ドラッグして、四角形を描きます。

ヒント: Shift キーを押下しながらマウスボタンのホールド、ドラッグを行うと、正方形を描くことが出来ます。

- [リンクの作成] ダイアログが開きますので、ダイアログの中の [リンクの表示方法] と [リンクアクション] の内容を設定します。

➤ リンクの表示方法

- A. 太さ - 四角形の四つの辺の太さを表します。値が大きくなるほど辺は太くなります。0 から 12 までの範囲で指定可能で、デフォルト値は 1 です。
- B. スタイル - 四角形の境界のスタイルを表します。以下の三つのタイプのスタイルがあります：

実線: 実線で、くぼみはありません。

破線: 境界線が破線で描かれます。

下線: 下線部分以外は見えません。



実線



破線



下線

境界線のスタイル

- C. ハイライトのスタイル - リンクをクリックした時の効果です。以下の 4 種類の

効果があります:

なし: リンクの外観は変わりません。

反転: リンクの色が反対色に変わります。

アウトライン: リンクの枠の色が反対色に変わります。

プッシュ: c 四角形を浮き上がらせて表示します。



なし



反転



アウトライン



プッシュ

ハイライトのスタイル

- D. 色 - 四角形の境界線の色を表します。色のボタンをクリックして既存の色を選択するか、または [その他のカラー...] をクリックして任意の色を作成します。デフォルトの色は赤です。



色の選択

➤ リンクアクション

リンク先はあらゆる場所に設定できます。例えば、**Web** ページ、ファイル等です。ここでは **4** つの選択肢があります:

- A. ページビューに移動** - 特定のページへのリンクを示します。開いている **PDF** のページだけでなく、別の **PDF** のページへのリンクも設定できます。また、ズームの設定やポジションを変えることも出来ます。

ページにリンクするには、このオプションを選択し、[リンクの作成] ダイアログの [次へ...] ボタンをクリックして、以下のいずれかの操作を行います:

- ◇ 現在表示中の文書内でリンク先を設定 - ドキュメントをスクロールして、リンクを設定する場所に移動し、[ページ移動] ダイアログの [この位置に設定] ボタンをクリックします。
- ◇ 別の **PDF** ドキュメントのページをリンク先に設定 - ツールバーの [開く] ボ

タン をクリックし、リンク先に設定したい PDF ドキュメントを選択して、開いた PDF ドキュメントを目的の位置までスクロールします。次に、[ページ移動] ダイアログの [この位置に設定] ボタンをクリックします。

ノート: 新しく開く PDF ドキュメントは、同じウインドウ内に開く必要があります。別のウインドウで開いてはいけません。

- ☆ ビューの表示倍率変更 -- 現在のドキュメント、または別のドキュメント内でスクロール > リンク先に設定する位置に移動 > 移動した位置で表示倍率を変更 > [ページ移動] ダイアログの [この位置に設定] ボタンをクリック、と操作します。
- ☆ [ページ移動] ダイアログの [キャンセル] をクリックして、操作を中止します。

B. 名称を付けた位置に移動 - 現在のドキュメントの作成者が名前を付けた位置にリンクを設定します。

名称の付いた位置に移動するには、このオプションを選択し、[リンクの作成] ダイアログの [次へ...] ボタンをクリックします。次に、ポップアップしたリストの中から目的の位置を選択して **OK** をクリックします。

ノート: ドキュメントの作成者が名前の付いた場所を作成していない場合、『現在の文書には利用可能な名称の付いた位置がありません!...』、というメッセージが開きます。

C. ファイルを開く/実行する - リンクに関連付けた他のファイルを開きます。この設定は、以下の操作で行ってください:

- ☆ [リンクの作成] ダイアログの [ファイルを開く/実行する] を選択 > [次へ...] ボタンをクリック > [ファイルを開く] ダイアログで設定するファイルを選択して [開く] ボタンをクリック、と操作します。

D. Web ページを開く - Web ページのオープンに関連付けます。以下の手順で行います:

- ☆ [リンクの作成] ダイアログの [Web ページを開く] を選択 > [次へ...] ボタンをクリック > [URL の編集] ダイアログで、オープンする Web ページの URL を入力するか、ドロップダウンリストを開き、以前オープンした Web ページのリストから URL を選択、と操作します。

E. その他 (アクションプロパティページを使用) - リンクにアクションを追加します。詳細情報は、["しおりにアクションを追加"](#) を参照してください。

リンクの移動とリサイズ

作成したリンクは移動やリサイズが可能です。

- リンクツール、または、注釈選択ツール  を選択します。次に、対象のリンクをクリックして選択します。
- 以下のいずれかの操作をおこないます：
 - A. 移動するには、目的の場所までリンクをドラッグします。
 - B. リサイズは、リンクの周囲に表示されているハンドルをドラッグして調整します。

リンクの削除

- リンクツール、または、注釈選択ツール  を選択し、ポインタを対象のリンクの上に移動します。
- 削除するリンクを選択します。
- **Delete** キーを押下します。

ファイルを添付

PDF ファイルやその他の種類のファイルを PDF に添付することが出来ます。ファイルを添付した PDF ファイルを別の場所に移動すると、添付ファイルも一緒に移動します。また、添付ファイルは親ドキュメントからのリンクや親ドキュメントへのリンク、そして別の添付ファイルを含むこともあります。

ファイルの添付には二つの方法があります：一つはページに注釈としてファイルを添付する方法で、もうひとつはドキュメントへのファイルの添付です。注釈としてファイルを

添付すると、デフォルトの設定では、ファイル添付アイコン  がページ上に表示されます。そして、ファイル添付アイコンをクリックするまで、添付したファイルは見えなくなります。

注釈としてファイルを追加

以下のように操作します：

- 注釈メニューより、ピンリボンにあるファイルツール  を選択します。
- 注釈としてファイルを添付する場所にポインタを移動し、選択した場所をクリックし

ます。

- [開く] ダイアログで添付するファイルを選択し、[開く] ボタンをクリックします。

ノート: EXE ファイルなど特定の形式のファイルを添付しようとする時、Foxit J-Reader は、セキュリティ上の問題により、ファイルの添付が拒否されたことを示すメッセージを開きます。

- 設定した場所に、ファイル添付アイコン  が表示されます。

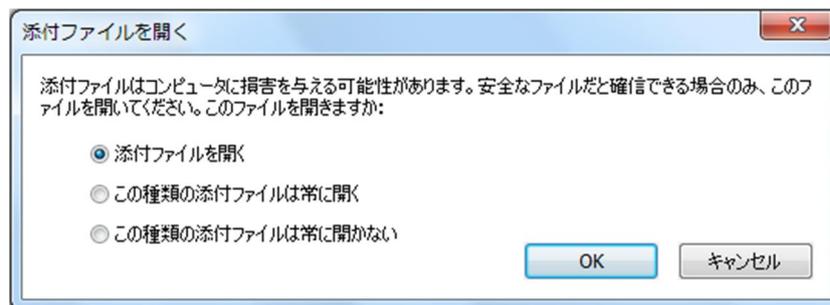
注釈として添付したファイルの操作

添付ファイルに対しては、ファイルを開く、説明を加える、そして移動や削除などの操作を行うことができます。

添付ファイルを開く

手のひらツール 、注釈選択ツール 、または注釈としてのファイル添付ボタン  を選択し、以下の操作をおこないます:

- ファイル添付アイコン  をダブルクリックします。
- [添付ファイルを開く] ダイアログを開き、オプションを選択して [OK] をクリックします。



【添付ファイルを開く】ダイアログボックス

- 添付ファイルを開く - 該当の添付ファイルを開きます。また次回以降、ファイル添付アイコンがダブルクリックされたときは常にこのダイアログを開きます。
- この種類の添付ファイルは常に開く - 該当の添付ファイルを開きます。また次回以降、ファイル添付アイコンがダブルクリックされたとき、同じ種類の添付ファイルであれば、ダイアログを表示せず自動的に開きます。
- この種類の添付ファイルは常に開かない - このタイプの添付ファイルのオープ

ンは禁止します。ファイル添付アイコンをダブルクリックした時、添付ファイルが同じタイプであればオープンせず、『セキュリティ上の問題により添付ファイルを開けない』というメッセージを開きます。

参照: [“セキュリティの設定”](#)

- PDF を保存します。

ファイル添付アイコンを移動する

手のひらツール 、注釈選択ツール 、または注釈としてのファイル添付ボタン  を選択し、ファイル添付アイコンをクリックして移動先までドラッグします。

注釈としての添付ファイルを削除する

手のひらツール 、注釈選択ツール 、または注釈としてのファイル添付ボタン  を選択し、以下のいずれかの操作を行います：

- ファイル添付アイコン  を右クリックし、ポップアップメニューの [削除] を選択します。
- ファイル添付アイコンをクリックして選択し、**Delete** キーを押下します。

注釈としての添付ファイルの他のオプション

注釈としての添付ファイルに対しても他のコメントと同じように、[ステータスを設定]、[チェックを付ける]、[返信]、そしてアイコンの変更等を行うことが出来ます。各操作については、[“第五章 - 注釈”](#) を参照してください。

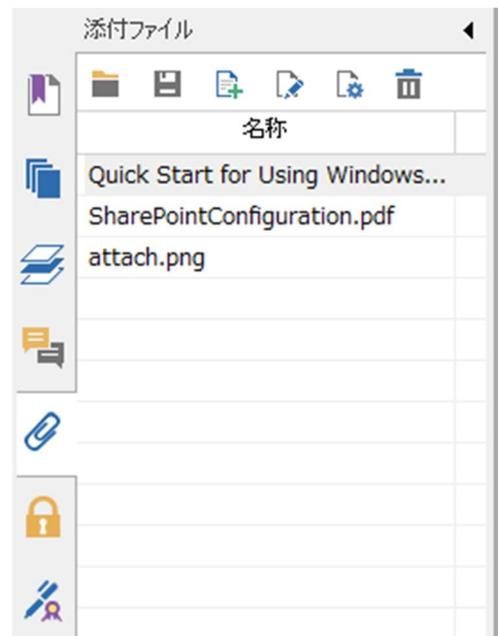
ファイルの追加

以下の通り操作します：

- 表示メニュー > ナビゲーションパネル > 添付ファイル、と操作して添付ファイルパネルを開き、アイコン  をクリックします。
- 添付するファイルを選択し、[開く] をクリックします。
- PDF を保存します。

添付ファイルの操作

添付ファイルに対して、開く、保存、削除、そして設定の変更を行うことができます。



添付ファイルパネル

添付ファイルパネルのなかには以下のようなオプションがあります：

添付ファイルを開く  - 選択した添付ファイルを開きます。

添付ファイルを保存  - 選択した添付ファイルを新しいファイルとして保存します。

ファイルを添付  - 開いている PDF ファイルに添付ファイルを追加します。

説明を編集  - 選択した添付ファイルの説明を編集します。

設定  - 添付ファイルを開くときのセキュリティ設定を変更します。詳しくは、["セキュリティの設定"](#) を参照してください。

添付ファイルを削除  - 選択した添付ファイルを削除します。

添付ファイルを開く

- 表示メニュー > ナビゲーションパネル > 添付ファイル、と操作して、添付ファイルパネルを開きます。
- 添付ファイルの一つを選択して、添付ファイルパネルの [開く] ボタン  をクリックします。

ノート: 一度に一つの添付ファイルが選択可能です。

添付ファイルの保存

このオプションを使用すると、添付ファイルを別のファイルとして保存できます。

- 表示メニュー > ナビゲーションパネル > 添付ファイル、と操作して添付ファイルパネルを開きます。
- 添付ファイルの一つを選び、添付ファイルパネルの [添付ファイルを保存] ボタンをクリックします。
- [名前を付けて保存] ダイアログで保存先を選択し、ファイル名を入力して [保存] ボタンをクリックします。

添付ファイルを削除する

- 表示メニュー > ナビゲーションパネル > 添付ファイル、と操作して、添付ファイルパネルを開きます。
- 添付ファイルの一つを選択し、添付ファイルパネルの [添付ファイルを削除] ボタンをクリックします。

セキュリティの設定

添付ファイルのセキュリティ設定を変更するには、表示メニュー > ナビゲーションパネル > 添付ファイル、と操作し、添付ファイルパネルを開きます。次に、添付ファイルの一つを選択して、添付ファイルパネルの [設定] ボタンをクリックし、以下のいずれかの操作を行います：

- セキュリティを設定する新しい拡張子を追加する場合は、[セキュリティ設定] ダイアログの [追加...] ボタンをクリックし、ファイルの拡張子を入力して [OK] をクリックします。
- 設定した拡張子を削除する場合は、表示されている拡張子を選択し、[削除] ボタンをクリックします。

画像を配置

PDF ドキュメントの任意の場所に四角形を設定し、画像を挿入することが出来ます。この機能は、ダイナミックに説明を追加する場合や、何か補足する情報を表示する場合に有効です。

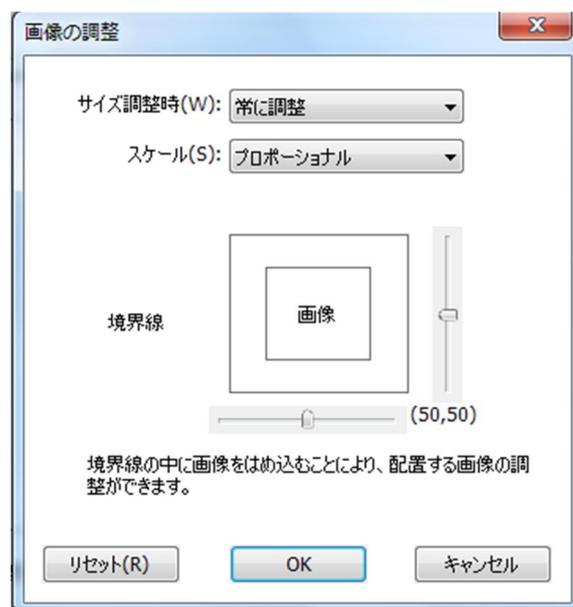
例えば、読んでいるセクションの記事に何か説明が必要なケースで、画像の挿入が最適な方法だと考えた場合などです。画像の配置は **Foxit J-Reader** の画像配置ツールで行います。

画像の追加

PDF への画像の追加は、画像ツール  で行います。PDF ドキュメントに画像を挿入した後、サイズや位置の調整、外観やその他設定の変更を行うことができます。

画像の追加は以下の操作で行ってください：

- ホームメニューより挿入リボンにある、画像ツール  を選択します。
- ドラッグして四角形を作成し、画像を追加するキャンバスを作成します。
- [画像を挿入] ダイアログで [参照] ボタンをクリックし、挿入する画像を選択して [OK] ボタンをクリックします。[場所] フィールドには画像の URL が表示されます。
- (オプション) 間違った画像を選択した場合は、[参照] ボタンを再度クリックし、正しい画像を選択します。
- [詳細設定...] ボタンをクリックして、画像の設定を編集します。



画像の調整ダイアログ

- A. サイズ調整時 - 画像サイズの変更方法を、以下の 4 つのオプションから選択します：
- a) 常に調整：画像の追加時に描いた四角形にフィットするサイズに設定します。
 - b) 大きすぎる場合：画像のサイズが四角形の枠に比べて大きい場合は、枠にフィットするように縮小し、それ以外の時はオリジナルのサイズで表示します。
 - c) 小さすぎる場合：画像のサイズが四角形の枠に比べて小さい場合は、枠にフィットするように拡大し、それ以外の時はオリジナルのサイズで表示します。
 - d) 調整しない：画像のサイズは変更せず、常にオリジナルのサイズで表示します。
- B. スケール - [ノンプロポーショナル]、または [プロポーショナル] から選択します。このオプションは [サイズ調整時] で、[調整しない] を選択した場合には無効です。

- a) ノンプロポーションアル: 四角形のサイズが変わった時、四角形にフィットするようにサイズを変更します。
 - b) プロポーションアル: 四角形のサイズが変わった時、画像の縦横の比率を維持しながらサイズを変更します。
- C. 境界線 - ドラッグしてスクロールバーを移動します。この操作で、四角形の中のイメージの位置を変更します。
- [画像の調整] ダイアログの [OK] ボタンをクリックし、変更結果を確認します。またここで [リセット] ボタンをクリックして、オリジナルの設定に戻すことも出来ます。
 - [回転] のオプションを選択し、画像の回転角度を設定できます。
 - [OK] をクリックします。

画像の移動とリサイズ

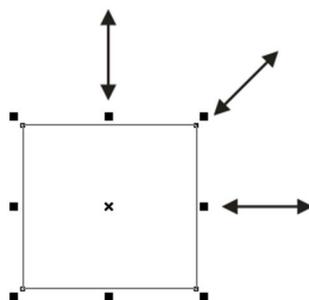
画像を挿入した後、移動やリサイズが出来ます。

画像の移動

- 注釈選択ツール 、または画像ツール  を選択して、ポインタを対象画像の上に移動します。
- 画像をクリックして、任意の位置にドラッグします。

画像のリサイズ

- 注釈選択ツール 、または画像ツール  を選択して、ポインタを対象画像の上に移動し、クリックします。
- カーソルをいずれかのポイント上に置くと、カーソルの形がリサイズ可能な方向を示す矢印に変わります。



画像のリサイズ

- カーソルを四角形の外に向けてドラッグすると四角形は大きくなり、内側に向けてドラッグすると四角形は小さくなります。

画像のプロパティ設定

- 画像をダブルクリックするか、または右クリックしてポップアップメニューの [プロパティ...] を選択します。
- [設定] タブについては、[“画像の追加”](#) を参照してください。
- [表示方法] タブについては以下のいずれかの操作を行ってください：

- A. 注釈を非表示 - このオプションを選択すると、挿入した画像を隠します。また、選択しない状態にすると PDF コンテンツ上に画像が表示されます。
- B. 境界線 - 四角形の境界線の幅、スタイル、そして色を変更します。

幅: 境界線なし、および境界線の太さを選択します。[境界線なし] を選択すると、[スタイル]、および [色] は設定できません。

スタイル: 境界線の種類を設定します。[実線] と [破線] から選択できます。

色: 境界線の色を変更します。[色] ボタンをクリックし、既存の色から選択するか、または [その他のカラー] をクリックして色を作成します。

- (オプション) [ロック] を選択して、設定した内容が誤って変更されるのを防ぎます。

画像の削除

- 注釈選択ツール 、または画像ツール  を選択して、ポインタを対象画像の上に移動します。
- 画像を右クリックして、ポップアップメニューの [削除] を選択します。

複数の画像に対する操作

複数の画像を選択

- 注釈選択ツール 、または画像ツール  を選択します。
- Shift キー、または Ctrl キーを押しながら、選択する画像をクリックします。

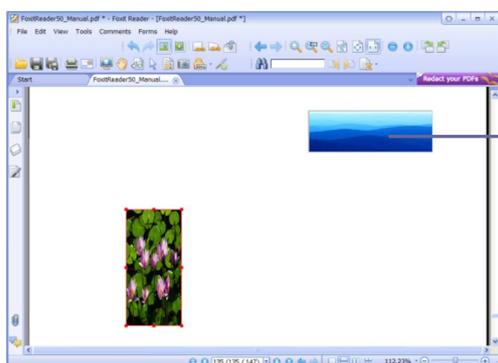
画像の整列

選択した画像を左、右、上、または下の各境界、または垂直軸、水平軸を基準として整列することが出来ます。一つの画像をアンカーイメージとして選択し、残りの画像はアンカーイメージの左端、右端、垂直方向の中心、もしくは上端、下端、水平方向の中心を基準として整列させます。

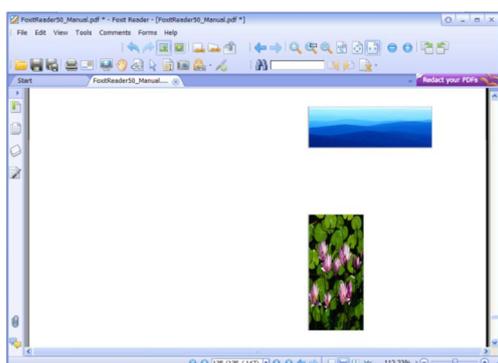
- 整列する画像を 2 個以上選択します。
- アンカーイメージを右クリックし、ポップアップメニューを以下のように選択します：
 - A. 垂直方向に整列するには、ポップアップメニューより、整列 > [左揃え]、[右揃え]、または [垂直] を選択します。[左揃え]、または [右揃え] の場合、画像の左端、または画像の右端を基準に垂直方向に整列されます。[垂直] を選択した場合、画像の中心線が、垂直軸上の同じ位置に移動します。
 - B. 水平方向に整列するには、ポップアップメニューより、整列 > [上揃え]、[下揃え]、または [水平] を選択します。[上揃え]、または [下揃え] の場合、画像の上端、または画像の下端を基準に水平方向に整列されます。[水平] を選択した場合、画像の中心が水平軸上の同じ位置に移動します。

ノート： 選択した画像を右クリック、もしくは **Ctrl+** クリックした時、赤くハイライト表示されますが、これはアンカーイメージを示しています。整列コマンドは、アンカーイメージ以外の画像を、アンカーイメージの端に合わせて整列するよう移動します。

整列の例:



A. A をアンカーイメージに設定
するとします。

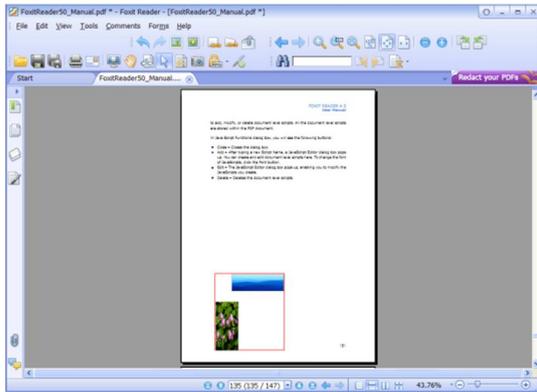


B. A. 2 つの画像を選択します >
A を右クリックして 整列 > 左揃え を選択すると、もう一つの画像が A の左端に揃えて移動します。

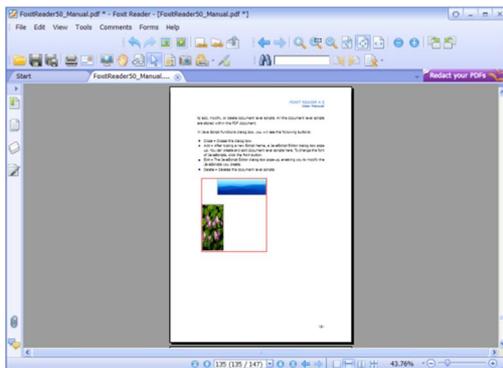
画像のセンタリング

この機能は、水平方向、垂直方向、または両方の方向に向かって、選択した画像を下の赤枠で示した領域のようにセンタリングします。

センタリングの例:



- A.** 2つの画像を選択します。
- 2つの画像を含んだ領域を赤い四角形で示しています。



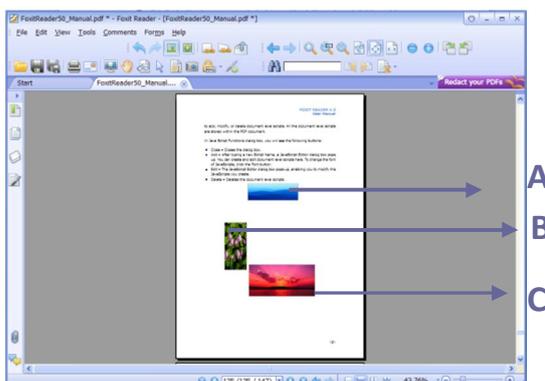
- B.** 画像の一つを右クリックして、中央 > 垂直、を選択します。
- 赤い四角形が垂直方向でセンタリングされます。

画像を等間隔に配置

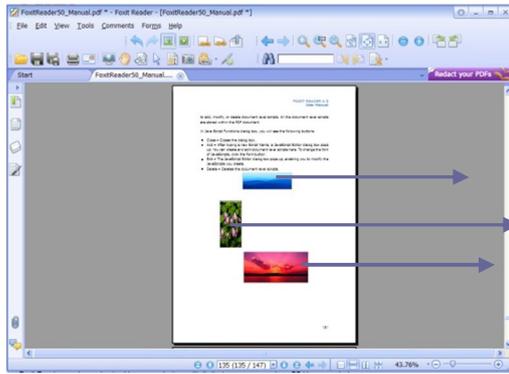
この機能は、3つ以上のイメージを選択した場合に有効です。

- 最上部の画像から最下部の画像までを等間隔に配置するには、選択した画像を右クリックし、ポップアップメニューから、分布 > 垂直、と操作します。
- 左端の画像から右端の画像まで等間隔に配置するには、選択した画像を右クリックし、ポップアップメニューから、分布 > 水平、と操作します。

画像を等間隔に配置の例:



- A.** A、B、Cの3つの画像を選択します。
- Aが最上部の画像、Cが最下の画像です。

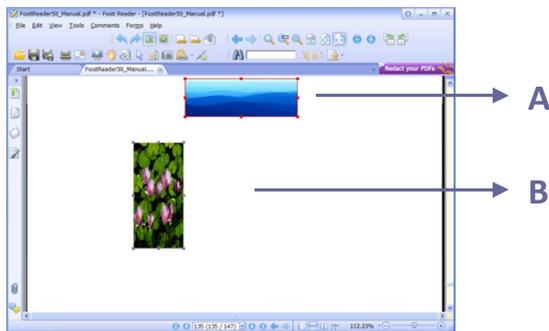


- B.** 画像の一つを右クリックして、
分布>垂直、を選択します。
BはAとCの間で均等に配置
されます。

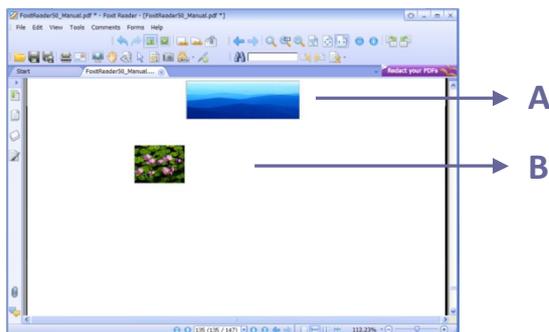
画像のリサイズ

複数の画像を同じ高さ、同じ幅、あるいは両方が同じ状態に調整することが出来ます。画像の一つをアンカーイメージとして選択し、他の画像の高さ、あるいは幅をアンカーイメージのサイズに統一します。

画像のリサイズの例:



- A.** 画像 A、B を選択します。
A をアンカーイメージに
設定するとします。



- B.** A を右クリックし、
サイズ>高さ、を選択します。
B の高さが A と等しくなります。

複数画像のプロパティ設定

- 複数の画像を選択 > 選択した画像の一つを右クリック > ポップアップメニューの [プロパティ...] を選択、と操作します。
- [画像のプロパティ] ダイアログの [表示方法] タブが開きます。詳細な説明は、["画像のプロパティ設定"](#) を参照してください。

マルチメディアの追加

Foxit J-Reader では、PDF ファイル上でのマルチメディアの再生だけでなく、PDF ファイルに対するマルチメディアファイルの貼り付けや貼り付けたマルチメディアの編集も可能です。Foxit J-Reader を使用すると、ムービーやサウンドを PDF ファイルに追加することができます。

Foxit J-Reader のビデオ、サウンドツールは、PDF ドキュメントにムービーやサウンドを追加し、PDF ファイルにおけるマルチメディアの体験を生み出します。ムービーやサウンドを PDF ファイルに追加することは、画像の配置と同じくらい簡単におこなうことができます。

"ムービー" とは、AVI、QuickTime、そして MPEG などの形式のファイルで、拡張子が、.avi、.wmv、.mov、.qt、.mpg、そして.mpeg のファイルです。Animated GIF ファイルの拡張子は.gif で、サウンドは midi、wav、そして mp3 形式のファイルを指します。

ユーザの環境設定が変化しても再生できるように、異なる演出のムービーを提供することができます。例えば、低速のインターネット回線を使用しているユーザのために、低解像度での演出を含める、というような設定が可能です。

ノート: 有効なメディアハンドラがないという意味のメッセージが表示された場合、PDF にクリップを追加する前に、適切なプレイヤーをインストールしなくてはなりません。例えば、PDF に MOV ファイルを組み込む場合は、QuickTime をインストールする必要があります。

ムービーやサウンドの追加

1. ホームメニューの挿入リボンにある、ビデオとサウンドツール  を選択します。
2. マウスボタンを押し、そのままドラッグしてムービーやサウンドを挿入するエリアを設定します。ムービーが再生されるエリアは、ムービーのフレーム内となります。
3. マルチメディアの追加ダイアログが開き、以下のようなオプションを設定できます：
 - **場所:** [参照] ボタンをクリックして挿入するムービーファイルを選択します。
 - **コンテンツの種類:** 挿入したメディアの形式が自動的に選択されます。しかし、任意のメディア形式を選択することもできます。ただ、メディア形式を変更した場合は、再生時に何か問題が発生するかもしれませんのでご注意ください。
 - **文書にコンテンツを埋め込み:** PDF ファイルにメディアファイルを取り込みます。このオプションは PDF ファイルのサイズを増やします。そしてデフォルトの状態では選択されていますが、選択解除した場合、別のコンピュータで PDF ファイルを開い

ても、ムービーを再生することはできません。

- ポスター画像の設定：ムービーを再生していない時に、再生エリアにポスター画像を表示することができます。[ポスター画像を使用しない]、または [ファイルからポスター画像を作成] の二つのオプションから選択できます。

プレイヤーの編集

ムービーやサウンドクリップを追加した後、プレイヤーの移動、リサイズ、そして削除が簡単に行えます。

- 注釈選択ツール 、またはビデオとサウンドツール  を選択し、対象のプレイヤーをクリックします。
- クリップの移動は、マウスの左ボタンを押したままクリップをドラッグし、移動先でドロップします。
- クリップのリサイズは、カーソルをクリップの任意のコーナーに移動し、ポインタがリサイズ可能な方向を示す矢印に変わった時に、クリックして好みのサイズになるまでドラッグします。**Shift** キーを押しながらドラッグすると、クリップの縦横の比率を維持したままリサイズできます。
- クリップを削除するには、そのクリップを選択して **Delete** キーを押下するか、またはクリップを右クリック > 削除、と操作します。
- 複数クリップを整列、センタリング、均等配置、サイズ調整するには、複数の画像に対する操作を参考にしてください。

マルチメディアのプロパティ設定

Foxit J-Reader は、ムービーのプレイヤーの表示方法の変更、ムービーを一度だけ再生するか、それとも繰り返して再生するのかといった再生方法の設定、そして代替の演出の作成等々、追加したマルチメディアファイルのプロパティを設定することができます。

マルチメディアのプロパティを設定するには、以下の操作を行ってください：

- ビデオとサウンドツール 、または注釈選択ツール  を選択します。
- プレイエリアをダブルクリックする、または右クリックしてポップアップメニュー [プロパティ...] を選択します。

[設定] タブや [表示方法] タブ等のある、[ビデオとサウンドのプロパティ] ダイアログが開きます。以下の二つのアイテムはすべてのタブに共通です：

- ロック - このオプションを選択すると、マルチメディアのすべてのプロパティに対する変更を禁止します。
- 閉じる - 現在のプロパティを適用して保存し、[ビデオとサウンドのプロパティ]

ダイアログを閉じます。

ノート: [ロック] オプションはどのタブで設定しても、設定したタブだけでなく、マルチメディアファイルに対するすべてのオプションをロックします。

1. [設定] タブ

プロパティダイアログの [設定] タブには以下のようなオプションがあります:

- **注釈のタイトル** -- ムービーやサウンドのタイトルを入力します。このタイトルは、再生するマルチメディアファイルを決定するものではありません。
- **代替テキスト** -- メディアファイルの説明等を入力します。
- **レンディション** - ユーザがそれぞれのシステムでムービーやサウンドを最適に再生できるよう、再生方法を変更することができます。

A. イベントのレンディション一覧 - [マウスボタンを放す] がデフォルトの設定となっていますが、異なるレンディションと異なるアクションを組み合わせる設定することができます。[マウスボタンを放す] とは、マウスボタンがクリックされてリリースされたときに再生が始まるということを指しています。

B. 追加 - 三つの方法があります:

ファイルを使用: [ファイルを開く] ダイアログで追加したいファイルをダブルクリックすると、[コンテンツの種類] が自動的に選択されます。

URL を使用: 追加するファイルの URL を入力し、[コンテンツの種類] を選択します。

既存のレンディションからコピー: コピーしたいレンディションを選択します。

C. 編集 - [編集] ボタンをクリックすると、[レンディションを設定] ダイアログが開きます。このダイアログでは、別のレンディションと区別するため、再生する場所やその他の設定を行うことができます。

メディアの設定 - ムービーやサウンドクリップのための一般的なプロパティ設定を行います:

- **レンディション名:** レンディションにつける名前を入力します。この名前は、[ビデオとサウンドのプロパティ] ダイアログのレンディションリストに表示されます。(この名前は、再生するメディアファイルの名前を決めるわけではありません。)
- **メディアクリップの場所:** 再生するメディアファイルの場所を設定します。直接入力もできますし、[参照...] ボタンをクリックして選択することもできます。
- **コンテンツの種類:** メディアクリップの場所を指定すると自動的に選択されます。変更することは可能ですが、変更によりメディアの再生に問題が発生する可能性があります。
- **文書にコンテンツを埋め込み:** PDF ファイルにメディアファイルを組み込みます。こ

の設定により PDF ファイルのサイズが大きくなります。この設定は、デフォルトでは選択された状態になっています。選択解除すると、別のコンピュータで該当 PDF ファイルを開いた場合、メディアは再生できません。

- **レンディションの代替テキスト:** レンディションの説明を入力します。
- **一時ファイルを許可:** メディアプレイヤーに対して一時ファイルの使用を許可するか、それとも許可しないかを設定します。メディアプレイヤーの中には、ムービーやサウンドクリップを再生する際に一時ファイルを使用するものがあります。ドキュメント内のメディアコンテンツを簡単にコピーできないようにする場合、一時ファイルの生成を禁止することができます。しかしその設定によって、一時ファイルの使用を必要とするメディアプレイヤーでのムービー再生を禁止することになります。

再生設定 - このタブではムービーやサウンドクリップをどのように再生するかを設定します。

- **開いたプレイヤーの保持:** ムービーやサウンドクリップの再生が終了した際にプレイヤーを閉じるか、それとも開いたままにするのか、いずれかを設定します。
- **ボリューム:** ムービーを再生する際の音量を設定します。
- **プレイヤーのコントロールを表示:** 再生を行う際、メディアプレイヤーのコントロールバーをプレイヤーの下に表示します。ユーザは、停止、一時停止、再生など、メディアプレイヤーの提供する機能を使用することができます。
- **リピート:** 二回以上任意の回数繰り返し、または継続して繰り返し、を設定することができます。
- **プレイヤリスト:** [追加] ボタンをクリックしてプレイヤーと、ムービーやサウンドクリップを再生する際に、[必須]、[優先]、または [許可しない] のいずれかの設定を行います。プレイヤーの名称とステータスを選択しますが、複数のプレイヤーに対して [必須] と設定しても、一つのプレイヤーだけが再生に使用されます。プレイヤーのステータスを [優先] に設定すると、推奨でないプレイヤーよりも優先的に使用されますが、[必須] より優先されることはありません。プレイヤーのステータスを [許可しない] に設定すると、そのプレイヤーは再生には使用されません。

追加/編集/削除ボタン: プレイヤリストに新しいプレイヤーを追加できます。また同様に、プレイヤリスト内の選択したプレイヤーを編集、削除できます。

再生場所 - ムービーやサウンドクリップを PDF ページの中で再生するのか、再生中も表示しないのか (サウンドクリップの場合は推奨)、フローティングウィンドウを開いて再生するのか、それともフルスクリーンで再生するのか設定します。なお、[フローティングウィンドウの設定] は、[再生場所] で [フローティングウィンドウに再生] を選択しないと有効になりません。

- **再生場所:** ムービーやサウンドクリップを再生する場所を選択します。
- **背景色:** メディアプレイヤーの背景色を設定します。
- **タイトルバーを表示:** フローティングウィンドウでメディアを再生する際、ウィンドウのタイトルバーを表示するか、表示しないかを選択します。
- **ウィンドウを閉じるボタンを表示:** フローティングウィンドウの右上に、閉じるボタンを表示するか、それとも表示しないかを選択します。
- **タイトルテキスト:** メディアのタイトルを設定します。このタイトルは、フローティ

ングウィンドウで再生する場合に、タイトルバーに表示されます。

- **リサイズ:** フローティングウィンドウのリサイズを許可するか、それとも禁止するかを設定します。選択肢は次の三つがあります: すなわち [ユーザにウィンドウサイズの変更を許可しない]、[ユーザにウィンドウサイズの変更を許可するが、元に縦横比は維持]、そして [ユーザにウィンドウサイズの変更を許可] です。
- **ウィンドウの位置:** ドキュメントウィンドウ、アプリケーションウィンドウ、バーチャルデスクトップ、またはモニタに対してどの位置にフローティングウィンドウを開くのかを設定します。
- **幅/高さ:** フローティングウィンドウの幅と高さを設定します。
- **ウィンドウが映らない場合:** フローティングウィンドウがスクリーンに表示されていない場合の動きを、次の選択肢から選びます。選択肢は [常時再生]、[最前面で再生]、そして [再生しない] の三つです。

2. [表示方法] タブ

プロパティダイアログの [表示方法] タブでは、以下の設定が可能です:

- **注釈を非表示** - 貼り付けたメディアファイルを見えなくする場合にチェックします。また、PDF ファイルのコンテンツの上にメディアファイルを重ねて配置する場合はこのオプションのチェックをはずします。
- **境界線** - メディアファイル周囲の境界線について、幅、スタイル、および色を設定します。
 - A. 幅 - 境界線なし、または境界線の幅を選択します。
 - B. スタイル - 境界線のスタイルを選択します。実線と破線が選択可能です。
 - C. 色 - 境界線の色を変更します。[色] ボタンをクリックして、既存の色から任意のものを選択するか、[その他のカラー] をクリックして任意の色を作成します。
 - D. ポスター画像の変更 - ポスター画像を使用しないか、メディアファイルのためのポスターを設定するか選択します。

3. [アクション] タブ

["しおりにアクションを追加"](#) を参照してください。

第九章 – 印刷

印刷とは、テキストや画像をプリンタに出力して再現するプロセスです。役に立つ記事を見つけた時や PDF フォームをデザインした時、インクジェットプリンタやレーザープリンタに送って任意のサイズで印刷する必要が生じるかも知れません。このセクションでは、目的の印刷結果を得るための、印刷ダイアログボックスでのオプションの設定方法を知ることが出来ます。

PDF ドキュメントの印刷方法

1. プリンタが正常にインストールされていることを確認してください。
2. ツールバーの印刷ボタン  をクリックする、またはファイルメニューより印刷を選択してください。
3. 出力するプリンタやプロッタを選択し、印刷範囲、印刷する部数、その他のオプションを設定します。
4. [OK] をクリックして印刷します。

ページの一部を印刷する

ページの一部を印刷する場合は、スナップショットツール  を使用します。

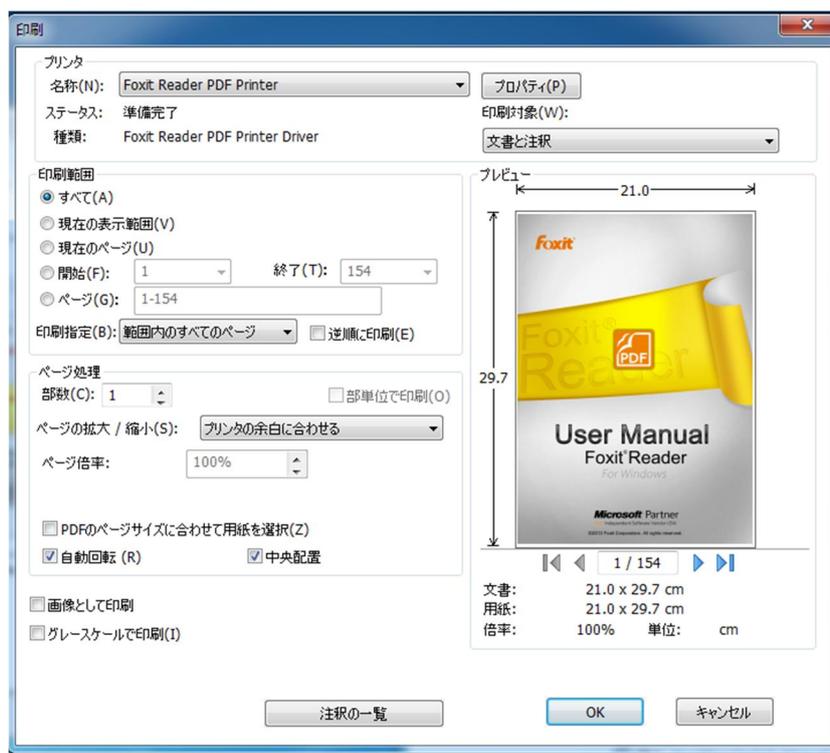
- ホームメニューより、ツールリボンにあるスナップショットツール  を選択します。
- ドラッグして印刷するエリアを選択します。
- 選択したエリアで右クリックし、ポップアップメニューの [印刷...] を選択して、印刷ダイアログを操作します。

印刷ダイアログ

印刷ダイアログは、ドキュメントを印刷する際の最後のステップです。印刷ダイアログでは、使用するプリンタと用紙を選択できます。プリンタを変更すると、用紙の設定に影響する場合があります。例えば、新しく選択したプリンタは異なる用紙のサイズを使用するかもしれません。

印刷ダイアログでは、印刷部数や用紙サイズや用紙の向きなどの印刷オプション変更することが出来ます。

印刷ダイアログを開くには、ファイルメニュー > 印刷...、と操作するか、タブ上を右クリックして、[現在のタブを印刷] を選択します。



印刷ダイアログ

- 名称 - インストールされているプリンタのリストから、使用するプリンタを選択します。[プロパティ] ボタンをクリックして、プリンタのプロパティダイアログを開くと、プリンタ固有のオプションを設定できます。

- 印刷範囲 - このオプションの設定により PDF ドキュメントの異なる部分を印刷することが出来ます。すべてのページを印刷するか、特定のページを印刷するか設定することが出来ます。

すべて - PDF ドキュメントのすべてのページを印刷します。

現在の表示範囲 - 現在表示しているエリアを印刷します。表示しているエリア内のテキスト、コメント、イメージ、テーブル、あるいはそれらの組み合わせすべてが印刷対象です。

現在のページ - 現在表示しているページを印刷します。

開始/終了 - PDF ドキュメント内の印刷するページの範囲を指定します。ページの番号は直接数値を入力するか、ドロップダウンリストから選択します。

ページ - PDF ドキュメント内で連続していないページをまとめて印刷できます。

1,3,7-10 のような設定が可能です。

- 印刷指定 - 連続しないページを印刷するためのオプションです。

範囲内のすべてのページ - 指定された範囲にあるすべてのページを印刷します。

奇数ページのみ - 指定された範囲にある奇数ページだけを印刷します。

偶数ページのみ - 指定された範囲にある偶数ページだけを印刷します。

ノート: この機能は、両面に印刷する場合に特に有効です。

- 逆順に印刷 - ページの逆順に印刷します。印刷するページの範囲を指定すると、入力したページ順の逆順に印刷されます。例えば、印刷範囲を 5 ページから 30 ページまでとして、このオプションを同時に設定すると、30 ページを先頭に 5 ページまで印刷されます。
- 部数 - 印刷する部数を設定します。
- 部単位で印刷 - 複数部印刷する時、番号順や論理的な順番などに組み合わせて出力します。このオプションは、1 部だけ印刷する場合は無効です。
- ページの拡大/縮小 - 印刷時の拡大縮小やその割合を、なし、プリンタの余白に合わせる、プリンタの余白を縮小、1 枚に複数ページを印刷、カスタムスケール、大きなページを分割、小冊子から選択します。大きなページを分割では、用紙より大きなサイズのページを分割して印刷できます。小冊子では、PDF を小冊子になるように設定して印刷します。
- PDF のページサイズに合わせて用紙を選択 - 印刷時に PDF のページサイズに合わせて自動で用紙を選択します。
- 自動回転 - PDF ドキュメントの方向を、1 ページあたりのページ数に合わせて、自動的に最適な向きに回転します。
- 中央配置 - 用紙の中央に配置して印刷します。
- 印刷対象 - PDF ドキュメントだけを印刷するのか、注釈だけを印刷するか、それとも両方を印刷するか指定します。
文書 - 注釈を除き、PDF ドキュメントだけを印刷します。
文書と注釈 - PDF ドキュメントの内容と注釈を印刷します。
注釈 - 注釈だけを印刷します。

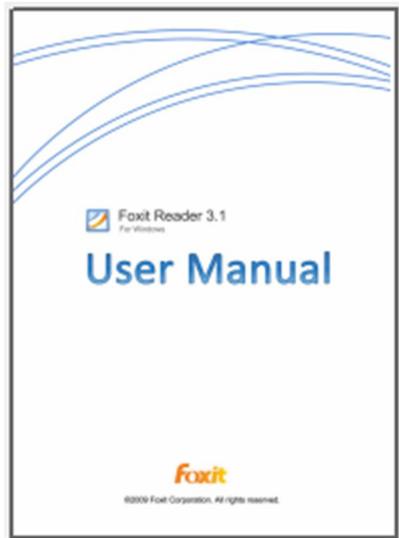
- プレビュー - Foxit J-Reader は印刷ダイアログ内に瞬時にプレビューを表示します。

ページ倍率を変更することで、ズームツールやナビゲーションツールのように、印刷ダイアログ上に表示される各ページを、任意の拡大率でプレビューすることが出来ます。文書のサイズと用紙サイズがプレビューの下に表示されます。

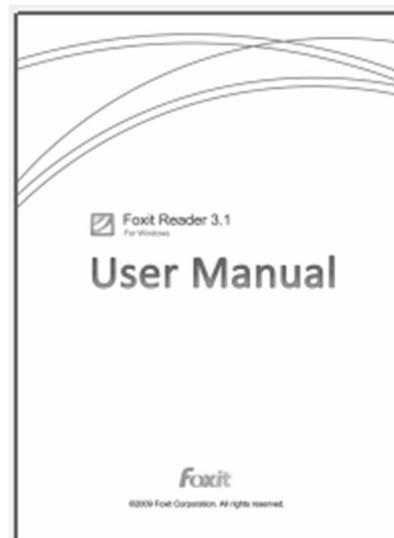
ヒント: ページの寸法の単位を変更する場合は、ファイルメニュー > 環境設定 > 文書、と操作して、単位を変更してください。

- 画像として印刷 - 画像として PDF ドキュメントを印刷します。
- グレースケールで印刷 - カラーイメージ、テキスト、その他オブジェクトなど、すべてグレースケールで印刷します。

例えば、RGB や CMYK イメージだけの PDF は、特にサイズが大きくなりますが、これらの PDF ドキュメントをグレースケールに変換すると、ファイルサイズが小さくなり印刷のスピードが速くなります。



通常の印刷



グレースケールでの印刷

第十章 - 付録

この章ではキーボードショートカット、コマンドラインなど、ユーザマニュアルを補足する情報を集めています。

キーボードショートカット

Foxit J-Reader で PDF 文書内をナビゲーションする際に、スピードアップのためのショートカットキーは多くありますが、ここではその中の重要なものをいくつか紹介します:

ファイル

アクション	ショートカット
ファイルを開く	Ctrl + O
ファイルを閉じる	Ctrl + W, or Ctrl + F4
名前を付けて保存	Ctrl + Shift + S
すべて閉じる	Ctrl + Shift + W
印刷	Ctrl + P
Foxit J-Reader を終了	Ctrl + Q
上書き保存	Ctrl + S

表示

アクション	ショートカット
フルスクリーン	F11
ズームイン	Ctrl + Num +
ズームアウト	Ctrl + Num -
倍率指定	Ctrl + M
100%表示	Ctrl + 1
全体を表示	Ctrl + 0
幅に合わせる	Ctrl + 2
描画領域の幅に合わせる	Ctrl + 3

右 90° 回転	Ctrl + Shift + Plus
左 90° 回転	Ctrl + Shift + Minus
ツールバーをリセット	Alt + F8
ツールバーを非表示	F8
自動スクロール	Ctrl + Shift + H
自動スクロールの停止	ESC
ナビゲーションペインの表示/非表示	F4
メニューバーの表示/非表示	F9
タブの切替え	Ctrl + Tab

編集

アクション	ショートカット
コピー	Ctrl + C、または Ctrl + Insert
テキスト検索	Ctrl + F
次を検索	F3
前を検索	Shift + F3
環境設定	Ctrl + K
元に戻す	Ctrl + Z
やり直し	Ctrl + Shift + Z

テキスト選択ツール

アクション	ショートカット
コピー	Ctrl + C
すべてを選択	Ctrl + A
しおりの追加	Ctrl + B

ツール

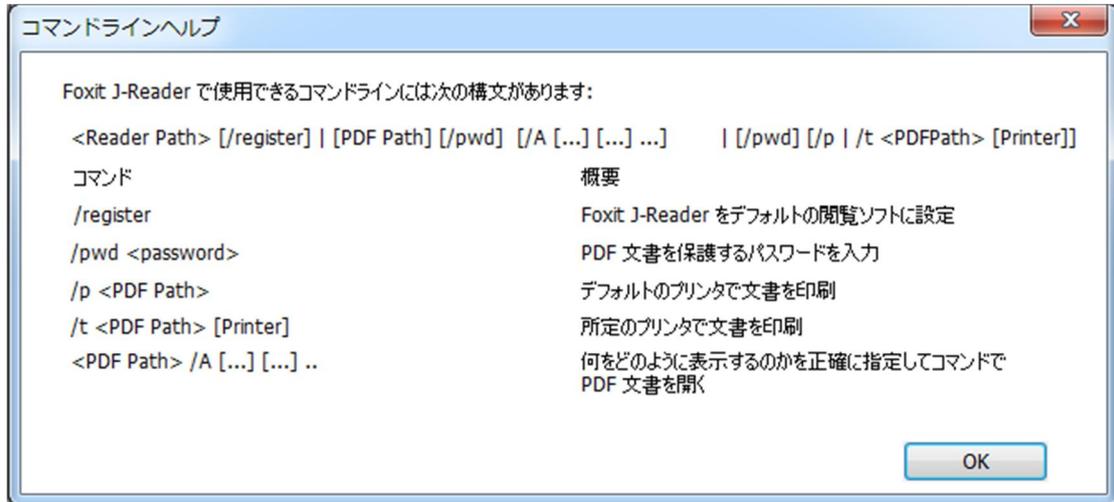
アクション	ショートカット
手のひらツール	Alt + 3
テキスト選択ツール	Alt + 6
スナップショット	Alt + 7
フルスクリーンモードの終了	ESC, F11
テキストビューワの起動	Ctrl + 6

ドキュメント

アクション	ショートカット
前のページ	Ctrl + Page Up
次のページ	Ctrl + Page Down
最初のページ	Ctrl + Home
最後のページ	Ctrl + End
ページ移動	Ctrl + G
すべてを選択	Ctrl + A
Page Down	Space
Page Up	Shift + Space

コマンドライン

Foxit J-Reader はコマンドラインで PDF を操作するためのパラメータを定義しています。Foxit J-Reader で使用できるコマンドラインを確認するにはヘルプメニューより、コマンドラインヘルプを選択してください。



コマンド	実行結果
nameddest=destination	指定のしおりを開いてハイライト表示。
page=pagenum	指定のページに戻る。
zoom=scale	PDF をズーム。
pagemode=bookmarks	ナビゲーションペインのしおりパネルを開く。
pagemode=thumbs	ナビゲーションペインのサムネールパネルを開く。
pagemode=layers	ナビゲーションペインのレイヤパネルを開く。
pagemode=none (default)	ナビゲーションペインのすべてのパネルを閉じる。
fdf="fdf path"	FDF ファイルを開く。
toolbar=1 0	ツールバーの表示/非表示。
statusbar=1 0	ステータスバーの表示/非表示。
navpanes=1 0	ナビゲーションパネルの表示/非表示。

お問い合わせ

フリーのソフトウェアである **Foxit J-Reader**、およびそのコンポーネントにつきましては、サポートをおこなっておりません。ユーザー様ご自身の責任でご利用をお願い致します。

また、ソリューションおよびシステムへの組み込み用途には、原則としてご利用いただけません。その場合には、用途に応じて **Foxit PhantomPDF** や **PDF SDK** をお奨めいたします。下記までご相談ください。

株式会社 **FoxitJapan**

- **Office Address:**
〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-20 汐留ビルディング 3F
- **Website:**
<http://www.foxit.co.jp/>
- **E-mail:**
fj@foxitsoftware.com